

# 活用ガイド

Windows 8.1 Pro Update 64ビット (Windows 10 Proライセンスからのダウングレード)

■ <b>はじめに</b> ..... 4	■ <b>トラブル解決Q&amp;A</b> ..... 243
本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 <b>最初にご覧ください。</b>	本機をお使いになっているときのトラブル事例や解決法について記載しています。
■ <b>本機の機能</b> ..... 26	本マニュアルに記載していないトラブル事例や解決法については、121wareの「サービス&サポート」をご覧ください。
本機の各部の名称やインターフェイスについて記載しています。	
■ <b>便利な機能とアプリケーション</b> ..... 201	■ <b>仕様一覧 (タイプ別仕様詳細)</b> ..... 285
本機にインストール、または添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。	Webにて、仕様の詳細情報を公開しています (インターネットへの接続環境が必要です)。

# 目次

<b>はじめに</b> .....	4	<b>液晶ディスプレイ</b> .....	81
はじめに.....	5	使用上の注意.....	82
本マニュアルの表記について.....	6	画面表示の調整.....	83
タッチキーボードについて.....	8	画面の回転.....	85
「ユーザー アカウント制御」について.....	9	表示できる解像度と表示色.....	87
基本操作.....	10	ディスプレイストレッチ機能.....	88
サポート技術情報について.....	12	<b>外部ディスプレイ</b> .....	89
ご注意.....	13	使用上の注意.....	90
<b>Windows 8.1の画面操作について</b> .....	15	外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色.....	91
チャーム (チャーム バー).....	16	microHDMIコネクタ/HDMIコネクタ.....	92
アプリ バー、ナビゲーション バー.....	18	外部ディスプレイ接続時の表示機能.....	94
画面やアプリを切り替える.....	20	表示先、表示機能の設定.....	95
2つのアプリを並べて表示する.....	23	ディスプレイに合わせた設定.....	98
アプリを終了する.....	24	<b>Webカメラ</b> .....	100
<b>本機の機能</b> .....	26	Webカメラについて.....	101
<b>各部の名称</b> .....	27	<b>内蔵フラッシュメモリ</b> .....	102
各部の名称と説明.....	28	使用上の注意.....	103
<b>電源</b> .....	33	<b>microSDメモリーカードスロット</b> .....	104
電源の入れ方と切り方.....	34	使用上の注意.....	105
電源の状態.....	36	セットのしかた/取り出し方.....	107
スリープ状態/休止状態使用上の注意.....	37	<b>サウンド機能</b> .....	109
スリープ状態.....	39	音量の調節.....	110
休止状態.....	41	マイクの設定.....	112
電源の設定.....	42	<b>LAN機能</b> .....	113
電源の自動操作.....	45	本機を安全にネットワークに接続するために.....	114
<b>省電力機能</b> .....	46	使用上の注意.....	116
省電力機能について.....	47	LANへの接続.....	117
<b>バッテリー</b> .....	48	LAN機能の設定.....	120
バッテリー (二次電池) について.....	49	ネットワークブート機能 (PXE機能).....	122
使用上の注意.....	50	<b>無線LAN機能</b> .....	123
バッテリーの充電.....	51	概要.....	124
バッテリーの使い方と設定.....	52	本機を安全にネットワークに接続するために.....	126
バッテリー診断ツール.....	54	無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関 するご注意.....	128
<b>タッチパネル</b> .....	56	使用上の注意.....	130
使用上の注意.....	57	無線LAN機能のオン/オフ.....	132
タッチパネルでの操作方法.....	58	無線LANの設定と接続.....	134
タッチパネルの設定.....	60	無線LANに関する用語一覧.....	140
タッチパネルでの文字入力.....	62	<b>モバイルブロードバンド</b> .....	143
デジタイザーペンについて.....	63	概要.....	144
<b>キーボード</b> .....	67	使用上の注意.....	145
各部の名称と役割.....	68	モバイルブロードバンドを使用する準備.....	147
キーの名称.....	73	モバイルブロードバンドのオン/オフ.....	151
キーの使い方.....	75	接続とセキュリティ.....	153
キーボードの設定.....	77	<b>USBコネクタ</b> .....	158
<b>マウス</b> .....	78	使用上の注意.....	159
マウスを使用する.....	79		

USB機器の取り付け／取り外し. . . . .	161	<b>タッチパネル.</b> . . . . .	249
<b>Bluetooth機能.</b> . . . . .	162	タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある. . . . .	250
概要. . . . .	163	<b>表示.</b> . . . . .	251
セキュリティに関するご注意. . . . .	165	外部ディスプレイで画面が流れるように表示される. . . . .	252
使用上の注意. . . . .	166	デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう	253
Bluetooth機能の設定と接続. . . . .	168	<b>LAN機能.</b> . . . . .	254
Bluetooth機能のオン／オフ. . . . .	172	ネットワークブートができない. . . . .	255
<b>拡張クレードル.</b> . . . . .	174	動作が不安定になった. . . . .	256
使用上の注意. . . . .	175	<b>無線LAN機能.</b> . . . . .	257
各部の名称と役割. . . . .	176	「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. . . . .	258
拡張クレードルの取り付けと取り外し. . . . .	178	<b>サウンド.</b> . . . . .	259
<b>セキュリティ機能.</b> . . . . .	181	HDMI接続した機器から音声が出力されない. . . . .	260
セキュリティ機能について. . . . .	182	<b>印刷.</b> . . . . .	262
スーパーバイザパスワード. . . . .	183	PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. . . . .	263
I/O制限. . . . .	184	<b>内蔵フラッシュメモリ.</b> . . . . .	264
指紋認証機能. . . . .	185	領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. . . . .	265
盗難防止用ロック. . . . .	189	<b>周辺機器.</b> . . . . .	266
DEP (Data Execution Prevention) 機能. . . . .	190	はじめに確認してください. . . . .	267
暗号化ファイルシステム (EFS) . . . . .	191	<b>Bluetooth機能.</b> . . . . .	268
ウイルス検出・駆除. . . . .	192	はじめに確認してください. . . . .	269
NFCポート. . . . .	193	<b>NFCポート.</b> . . . . .	271
DeviceLock Lite. . . . .	197	NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない. . . . .	272
<b>マネジメント機能.</b> . . . . .	198	<b>アプリケーション.</b> . . . . .	273
マネジメント機能について. . . . .	199	はじめに確認してください. . . . .	274
ネットワークブート機能 (PXE機能) . . . . .	200	アプリケーションをインストールできない. . . . .	275
<b>便利な機能とアプリケーション.</b> . . . . .	201	アプリケーションを強制的に終了させたい. . . . .	276
アプリケーションの種類と機能. . . . .	202	アプリケーションが本機で使用できるか知りたい. . . . .	277
アプリケーションのインストール/アンインストールについて. . . . .	204	使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい. . . . .	278
Office Home & Business 2016. . . . .	208	Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい. . . . .	279
Office Home & Business Premium. . . . .	211	<b>再セットアップ.</b> . . . . .	280
Access Connections. . . . .	214	「再セットアップをすることはできません。」と表示される. . . . .	281
DeviceLock Lite. . . . .	219	再セットアップが終了しない. . . . .	282
Acrobat Reader DC. . . . .	221	<b>その他.</b> . . . . .	283
画面表示設定切替ツール. . . . .	224	クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった. . . . .	284
mazec for Windows日本語版. . . . .	227	<b>仕様一覧 (タイプ別仕様詳細)</b> . . . . .	285
フリック入力補助ツール. . . . .	229	仕様一覧 (タイプ別仕様詳細) . . . . .	286
拡張ディスプレイ操作ツール. . . . .	231		
ペンバッテリー残量通知ツール. . . . .	234		
マカフィー リブセーフ. . . . .	236		
OneNote. . . . .	241		
<b>トラブル解決Q&amp;A.</b> . . . . .	243		
<b>電源.</b> . . . . .	244		
「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された. . . . .	245		
ネットワークブートができない. . . . .	246		
<b>バッテリー.</b> . . . . .	247		
タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない. . . . .	248		

# はじめに

---

[010000-28]

▶ はじめに.....	5
▶ 本マニュアルの表記について.....	6
▶ タッチキーボードについて.....	8
▶ 「ユーザー アカウント制御」について.....	9
▶ 基本操作.....	10
▶ サポート技術情報について.....	12
▶ ご注意.....	13
▶ Windows 8.1の画面操作について.....	15

# はじめに

---

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、サポートに関する情報、トラブル発生時などの対応方法を記載したQ&Aなど、本機を利用する上での情報が記載されています。本マニュアルに記載していないトラブル発生時などの対応方法については、121wareの「サービス&サポート」をご覧ください。

<http://121ware.com/support/>

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、お客様がコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

# 本マニュアルの表記について

[010003-28]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

## ■ 本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
 <b>チェック</b>	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 <b>メモ</b>	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 <b>参照</b>	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

## ■ 本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
<b>Windows、Windows 8.1、Windows 8.1 Pro、Windows 8.1 Pro 64ビット</b>	Windows 8.1 Pro Update 64ビット (Windows 10 Proライセンスからのダウンロード)
<b>Internet Explorer、Internet Explorer 11</b>	Internet Explorer 11
<b>Microsoft IME</b>	Microsoft® IME 2012
<b>Windows Media Player</b>	Microsoft® Windows Media® Player 12
<b>Office Home &amp; Business 2016</b>	Microsoft Office Home & Business 2016
<b>Office Home &amp; Business Premium</b>	Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス
<b>Acrobat Reader DC</b>	Adobe® Acrobat® Reader® DC
<b>mazec for Windows</b>	mazec for Business Windows

## ■ 本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
<b>本機、本体</b>	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
<b>モバイルブロードバンドモデル</b>	LTE通信に対応したモバイルブロードバンドが搭載されているモデルを指します。

ワイヤレス機能	無線LAN機能、Bluetooth機能、モバイルブロードバンドを指します。ご購入時に選択したモデルによって異なります。
NFC対応モデル	「NFCポート」が搭載されているモデルを指します。
内蔵指紋センサ（ライン型）モデル	内蔵指紋センサ（ライン型）が搭載されているモデルを指します。
Office Home & Business 2016モデル	Office Home & Business 2016があらかじめインストールされているモデルを指します。
Office Home & Business Premiumモデル	Office Home & Business Premiumがあらかじめインストールされているモデルを指します。
SDカード、SDメモリーカード	「microSDメモリーカード」、「microSDHCメモリーカード」、「microSDXCメモリーカード」を指します。特定のSDカードを指す場合、個別に記載します。
BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「System Setup」または「Setup」と表示されます。
「コントロールパネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」	「コントロールパネル」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」を順にクリックする操作を指します。
チャームバー	チャームの載った右端から表示されるバーを指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】 + 【Y】と表記してある場合、タッチキーボードでは【Ctrl】をクリックし、続けて【Y】をクリックすることを指します。 デタッチャブルキーボードでは【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

## ■ 本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

# タッチキーボードについて

---

[010002-08]

次の方法でタッチキーボードを表示できます。

## ■ タッチキーボードを表示する

**1** チャームバーを表示し、「設定」をクリック

---

**2**  をクリック

---

**3** 「タッチ キーボードと手書きパネル」をクリック

タッチキーボードが表示されます。

---

# 「ユーザー アカウント制御」について

---

[010005-08]

アプリケーションを表示したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



## チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

▶ アプリ画面の開き方. . . . .	10
▶ コントロール パネルの開き方. . . . .	10
▶ デバイス マネージャの開き方. . . . .	10

## アプリ画面の開き方

メールやフォトなどのアプリを使用するときは、はじめにアプリ画面を表示します。

### 1 スタート画面を上をスライド、またはスタート画面にあるをタップ

アプリ画面が表示されます。



#### メモ

デスクトップ画面からは、「スタート」ボタン () をタップしてスタート画面を表示させてから、上の操作を行ってください。



#### 参照

##### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

## コントロール パネルの開き方

コントロール パネルは、Windowsの各機能や画面の表示のしかた、アプリケーションのインストール/アンインストールなど、さまざまな設定ができます。

### 1 スタート画面から「デスクトップ」をクリック

### 2 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

### 3 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

## デバイス マネージャの開き方

デバイス マネージャは、本機を構成している部品やディスプレイなどの周辺機器が正常に認識されていることを確認したり、ドライバの更新をしたりすることができます。

**1** スタート画面から「デスクトップ」をクリック

---

**2** デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をクリック

---

**3** 「コントロール パネル」をクリック

コントロール パネルが表示されます。

---

**4** 「システムとセキュリティ」をクリック

---

**5** 「システム」をクリック

---

**6** 「デバイス マネージャー」をクリック

「デバイス マネージャー」が表示されます。

---

# サポート技術情報について

---

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。  
サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート  
<http://support.microsoft.com/>



## チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

# ご注意

[010004-28]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。  
サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

<http://121ware.com/navigate/rescue/ultracare/jpn/index.html>

7. 本機の内蔵フラッシュメモリにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付の「再セットアップ用メディア」は、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows® programのテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のもので、お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。（ただし、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

## ■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC\*<sup>1</sup> will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC\*<sup>1</sup> does not provide maintenance service\*<sup>1</sup> or technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

\*1:NEC Personal Computers, Ltd.

\* \* \*

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、Intel、Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィーは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

DeviceLockおよびDeviceLockロゴは、DeviceLock, Inc.の登録商標です。

Access Connectionsは、米国とその他の国々のいずれかまたはその両方におけるLenovoの商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

# Windows 8.1の画面操作について

---

[010100-08]

Windows 8.1のスタート画面やアプリの画面での基本操作などを紹介します。

➤ チャーム (チャーム バー) .....	16
➤ アプリ バー、ナビゲーション バー .....	18
➤ 画面やアプリを切り替える .....	20
➤ 2つのアプリを並べて表示する .....	23
➤ アプリを終了する .....	24

# チャーム (チャーム バー)

[010101-28]

チャーム バーは、よく使う機能を集めたメニューです。表示しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。

## チャーム バーを表示する

### タッチ操作の場合

チャーム バーを表示するには、画面の右端から、左にスワイプします。



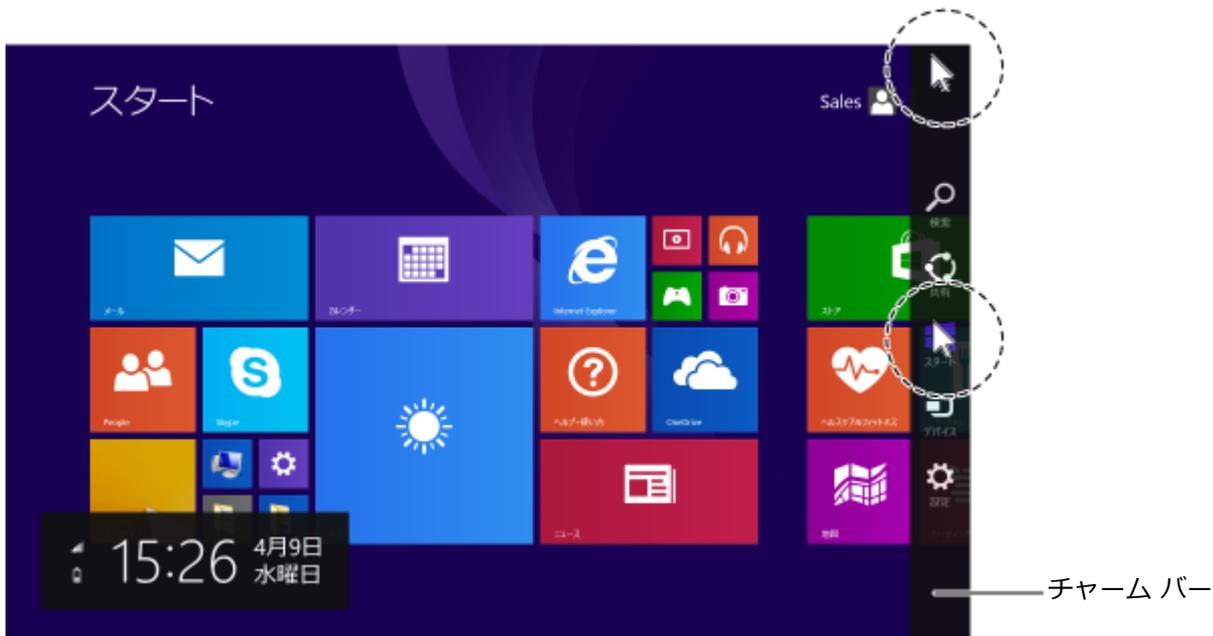
#### 参照

##### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

### マウス操作の場合

チャーム バーを表示するには、右上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。



 **メモ**

チャーム バーを表示すると、画面の左下に次の情報も表示されます。

- 時間・日付
- ネットワーク状態（電波強度など）
- バッテリーの残量（バッテリー使用時）

## チャーム バーのアイコン

アイコン	説明
	検索とアプリの表示に使います。検索対象はアプリによって変わります。
	ファイルや情報を他のアプリで利用するときに使います。
	スタート画面を表示します。
	他の機器にデータを送ります。印刷するときなどに使います。
	表示しているアプリの設定を行います。スタート画面では「Windows 全般の設定」ができます。

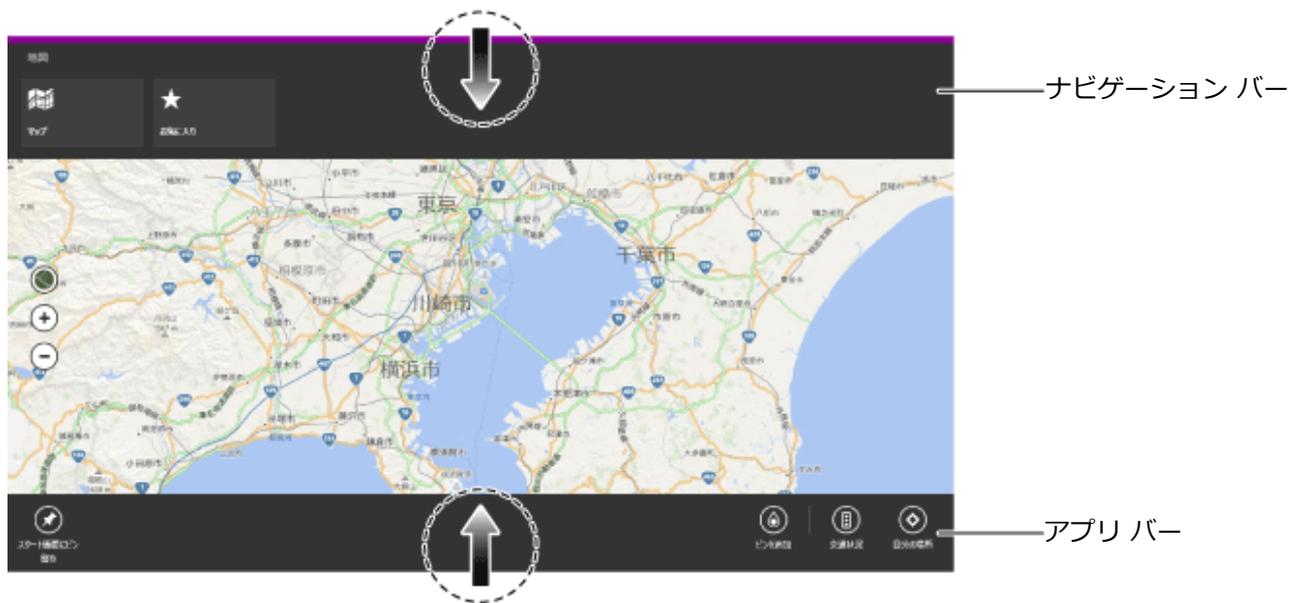
# アプリバー、ナビゲーションバー

[010102-28]

アプリバーとナビゲーションバーは、表示しているアプリに対してさまざまな操作を行うためのバーです。アプリバーは画面下側に、ナビゲーションバーは画面上側に表示され、それぞれが表示されるかどうかはアプリによって異なります。表示されるメニューや機能はアプリの状況により変化します。

## タッチ操作の場合

アプリバーやナビゲーションバーを表示するには、アプリの画面の上端または下端から内側へスワイプします。



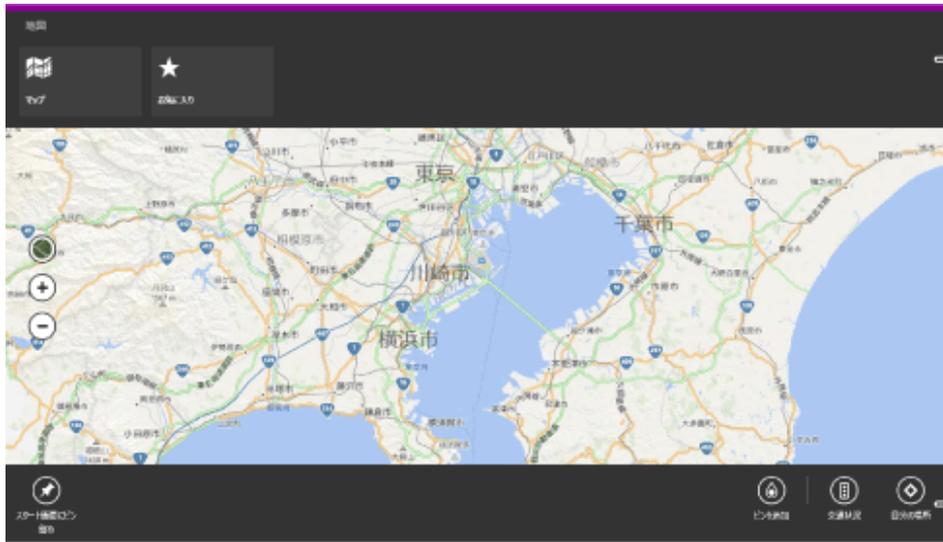
### 参照

#### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

## マウス操作の場合

アプリバーやナビゲーションバーを表示するには、アプリの画面の任意の位置でマウスを右クリックします。



ナビゲーションバー

アプリバー

# 画面やアプリを切り替える

[010103-28]

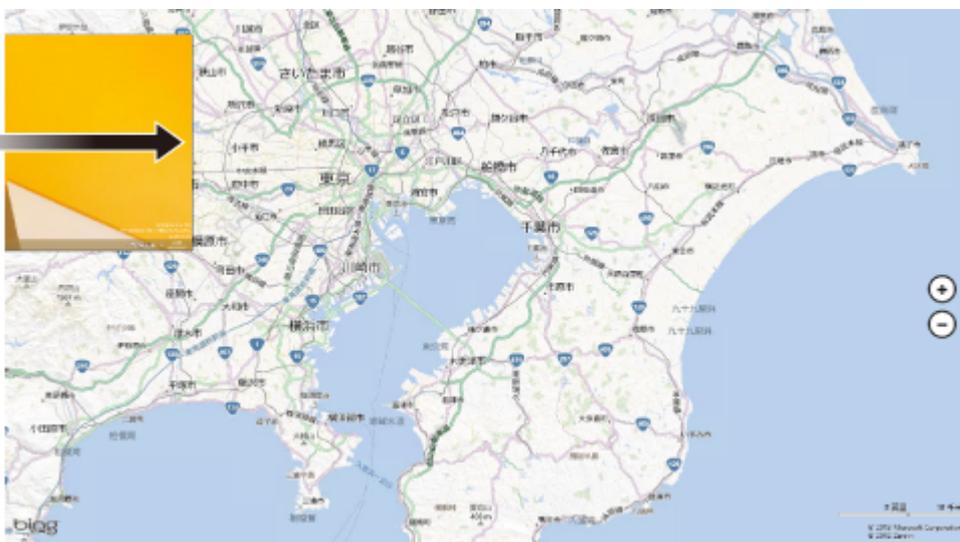
Windows 8.1では、いろいろなアプリを切り換えて使うことができます。  
ここでは画面やアプリの切り換えの主な方法を紹介します。

## 最近使用したアプリを順番に切り替える

二つのアプリを切り替えるときに便利です。

### タッチ操作の場合

画面の左端から右へスワイプします。スワイプするたびにアプリが順番に切り換わります。



#### 参照

#### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

### マウス操作の場合

左上の隅にマウスポインタを合わせてクリックします。クリックするたびにアプリが順番に切り換わります。



## 最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ

二つ以上のアプリを使用していて、特定のアプリに切り替えたいときに便利です。

### タッチ操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、画面の左端から右へスライドし、一旦指をとめ、そのまま画面から離さずに左端へ戻します。

最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



### 参照

#### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

## マウス操作の場合

最近使用したアプリの一覧を表示するには、左上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かします。  
最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



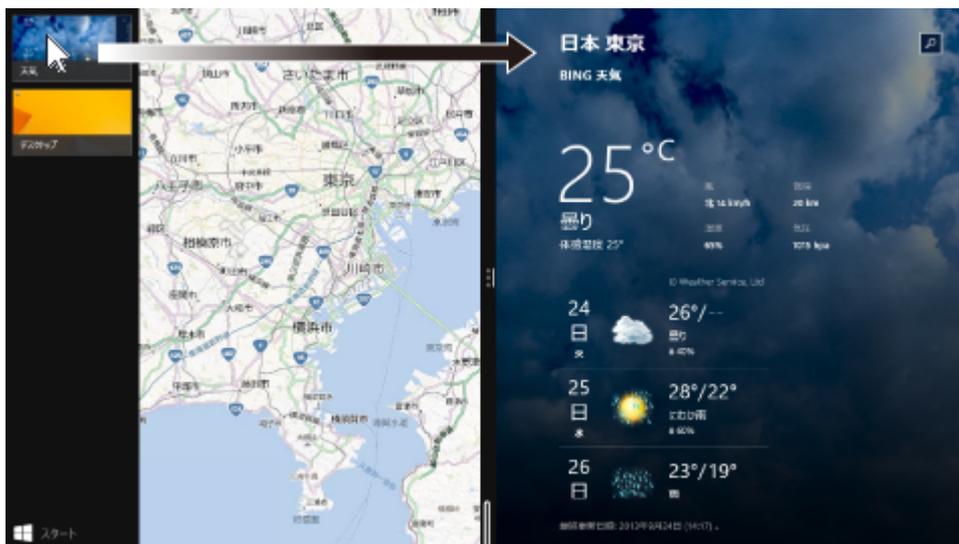
## 2つのアプリを並べて表示する

[010104-28]

2つのアプリを、画面の左右に並べて表示できます。これを「スナップする」といいます。境界線をスライド（またはドラッグ）すると、画面の分割位置を変えるなどの調整ができます。

### 2つの画面にする

2つの画面にするには、アプリのサムネイルを画面の左に表示（「最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ (P. 21)」）してから、アプリのサムネイルを目的の位置までドラッグまたはスライドし、区切り線が表示されたら指を離します。



区切り線



#### メモ

- 2つのアプリを並べて表示をやめたいときは、各アプリを終了します。
- スナップできるアプリの最大数は、ディスプレイのサイズと画面の解像度によって異なります。



#### 参照

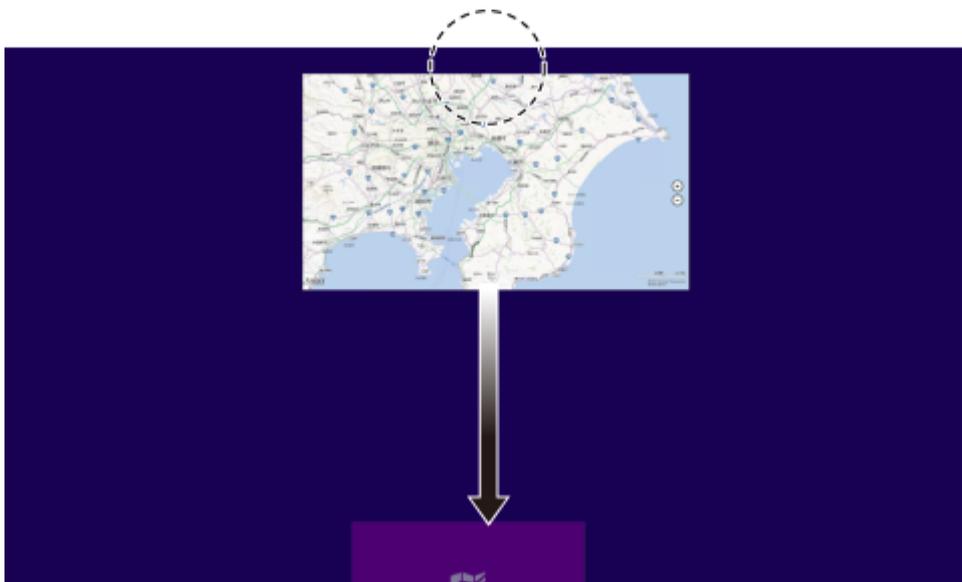
- **アプリの終了について**  
「アプリを終了する (P. 24)」
- **タッチパネルの操作について**  
「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

# アプリを終了する

[010105-28]

## タッチ操作の場合

アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグまたはスライドします。画面の下半分が下端にかくれたら、2秒間そのままにします。小さな画像が回転したら指を離します。



### メモ

画面の下端で2秒間待たずに、枠外までスライド（またはドラッグ）すると、アプリをサスペンド（一時停止）できます。



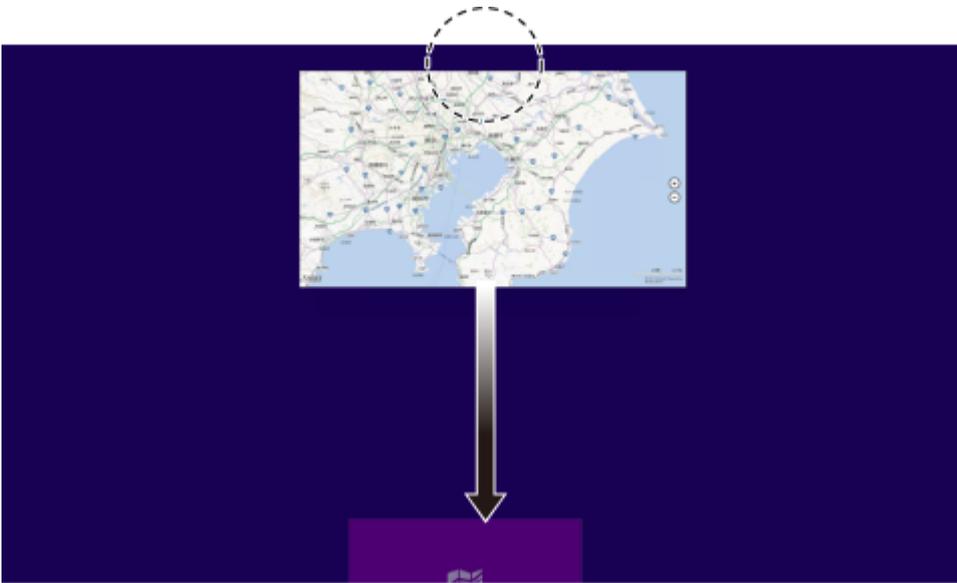
### 参照

#### タッチパネルの操作について

「本機の機能」 - 「タッチパネル」 - 「タッチパネルでの操作方法 (P. 58)」

## マウス操作の場合

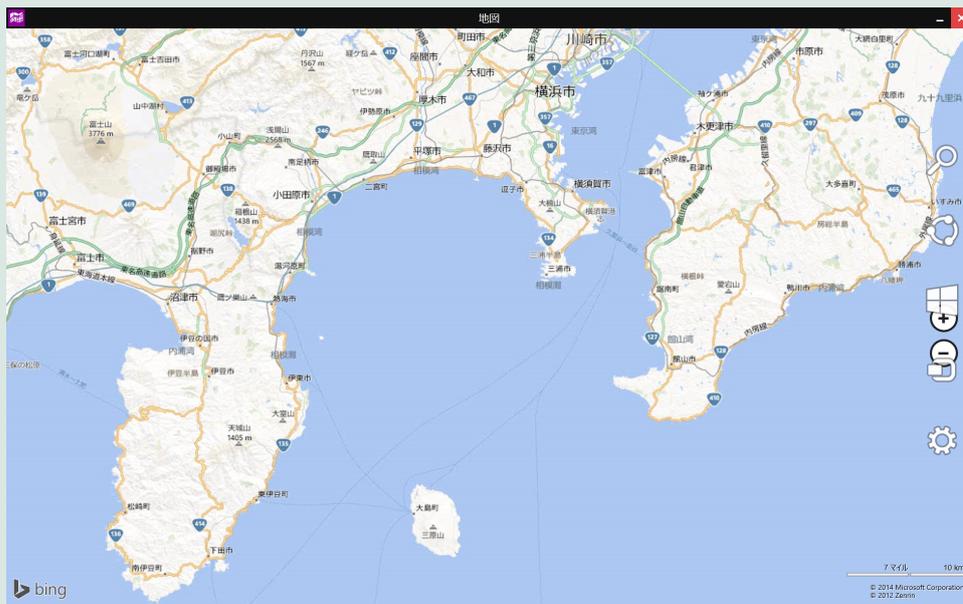
アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグします。画面の下半分が下端にかくれたら、2秒間そのままにします。小さな画像が回転したらマウスから指を離します。



## メモ

アプリをサスペンド（一時停止）したい場合は、次のいずれかの方法があります。

- 画面の下端で2秒間待たずに、枠外までドラッグする。
- 画面の右上へマウスポインタを移動し、が表示されたらクリックする。



各部の名称	27
電源	33
省電力機能	46
バッテリー	48
タッチパネル	56
キーボード	67
マウス	78
液晶ディスプレイ	81
外部ディスプレイ	89
Webカメラ	100
内蔵フラッシュメモリ	102
microSDメモリーカードスロット	104
サウンド機能	109
LAN機能	113
無線LAN機能	123
モバイルブロードバンド	143
USBコネクタ	158
Bluetooth機能	162
拡張クレードル	174
セキュリティ機能	181
マネジメント機能	198

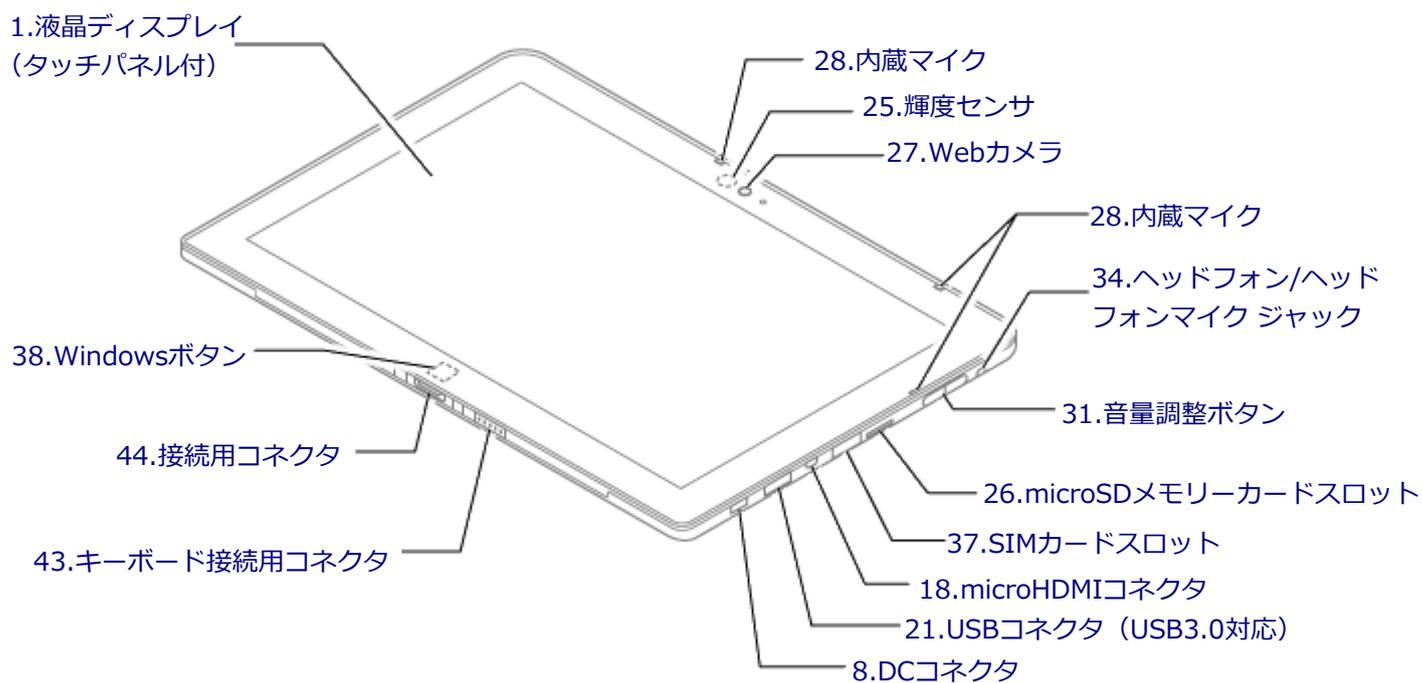
各部の名称と説明..... 28

# 各部の名称と説明

[020101-28]

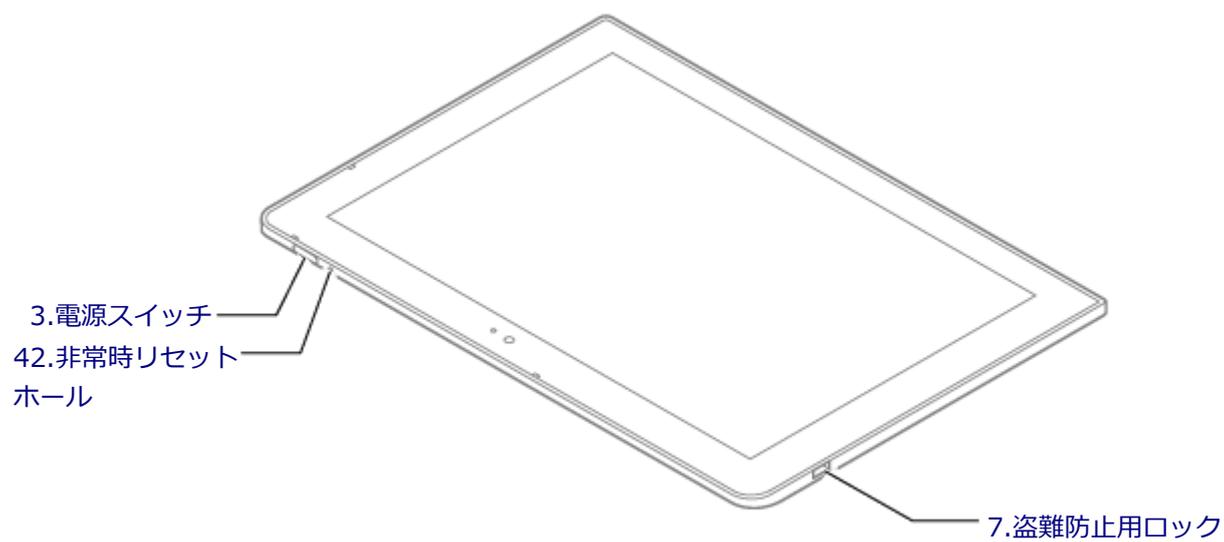
## 各部の名称

### 本体前面／右側面

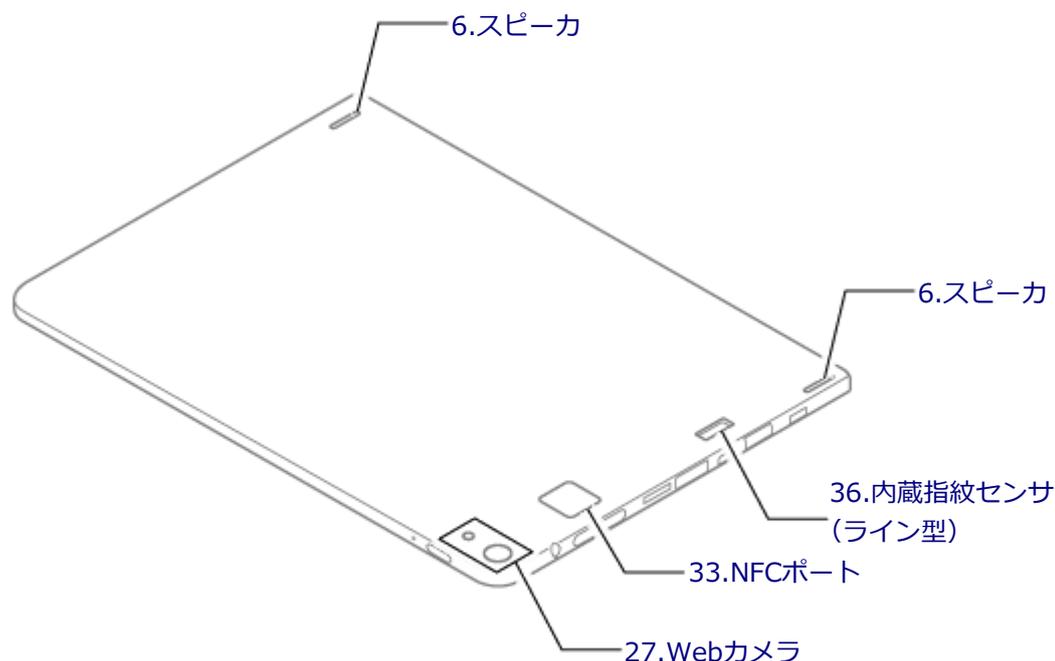


## 左側面

---



## 本体背面



## 各部の説明

### 1.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

本機のディスプレイです。タッチパネルが搭載され、Windowsの操作をデジタイザペンや指で行うことができます。

→「液晶ディスプレイ (P. 81)」

→「タッチパネル (P. 56)」

### 3.電源スイッチ

電源のオン/オフや電源状態の変更などで使用するスイッチです。

→「電源 (P. 33)」

### 6.スピーカ

内蔵のステレオスピーカです。

→「サウンド機能 (P. 109)」

### 7.盗難防止用ロック (K)

別売のセキュリティケーブルを取り付けることができます。

→「セキュリティ機能 (P. 181)」

## 8.DCコネクタ (DC)

添付のACアダプタを接続するための端子です。

## 18.microHDMIコネクタ (HDMI)

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。

→「外部ディスプレイ (P. 89)」

## 21.USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS)

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 158)」

## 25.輝度センサ

輝度の自動調整機能を使用するときに、周辺の明るさを検知するためのセンサです。

→「液晶ディスプレイ (P. 81)」

## 26.microSDメモリーカードスロット (SD)

SDメモリーカードを読み書きするためのスロットです。

→「microSDメモリーカードスロット (P. 104)」

## 27.Webカメラ

テレビ電話をするときなどに使用します。Webカメラ使用時は、Webカメラ横のランプが点灯します。本体背面にあるWebカメラには、フラッシュがついています。

→「Webカメラ (P. 100)」

## 28.内蔵マイク

テレビ電話をするときなどに使用するマイクです。



### チェック

このマイクを使用して録音している場合、録音している音を同時にスピーカなどで再生することはできません。

## 31.音量調整ボタン

内蔵スピーカや、ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック (本機または拡張クレードル) から出力される音量を調節するためのボタンです。+を押すと音量が大きくなり、-を押すと音量が小さくなります。

→「サウンド機能 (P. 109)」

## 33.NFCポート (NFC対応モデルのみ) (NFC)

NFC機能に対応したカードや機器と、データのやり取りをするためのポートです。

→「NFCポート (P. 193)」

## 34.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック

ヘッドフォンやスマートフォン用ヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）、または外付けスピーカやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。

→「サウンド機能 (P. 109)」



### チェック

入力機能としてはスマートフォン用ヘッドフォンマイク（4極ミニプラグ）のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

## 36.内蔵指紋センサ（ライン型）（内蔵指紋センサ（ライン型）モデルのみ）

指紋認証機能で使用する内蔵指紋センサ（ライン型）です。

→「指紋認証機能 (P. 185)」

## 37.SIMカードスロット（モバイルブロードバンドモデルのみ） SIM

microSIMカードを取り付けるためのスロットです。

→「モバイルブロードバンド (P. 143)」

## 38.Windowsボタン

Windows使用時にタップすると、キーボードで  を押したときと同様に、スタート画面を表示します。

## 42.非常時リセットホール

本機が応答しなくなり、電源スイッチを押し続けても電源を入/切できない場合に使用します。太さ1.3mm程の針金を押し込むと、本機をリセットできます。

## 43.キーボード接続用コネクタ

デタッチャブルキーボードを接続するためのコネクタです。

→「キーボード (P. 67)」

## 44.接続用コネクタ

拡張クレードルの接続用コネクタと接続します。

本機の電源の入れ方と切り方、スリープ状態や休止状態などについて説明しています。

▶ 電源の入れ方と切り方.....	34
▶ 電源の状態.....	36
▶ スリープ状態／休止状態使用上の注意.....	37
▶ スリープ状態.....	39
▶ 休止状態.....	41
▶ 電源の設定.....	42
▶ 電源の自動操作.....	45

# 電源の入れ方と切り方

[020301-28]

## 電源を入れる

電源を入れる際は、次の手順に従って正しく電源を入れてください。



### チェック

- いったん電源を切った後で、電源を入れなおす場合は、電源を切ってから5秒以上間隔を空けて電源を入れてください。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

## 1 周辺機器の電源を入れる

## 2 本機の電源スイッチを押す

## 電源を切る

電源を切る際は、次の手順に従って正しく電源を切ってください。



### チェック

- Windowsやアプリケーションの表示中は、本機の電源を切らないでください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

## 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

## 2 スタート画面でをクリック

## 3 「シャットダウン」をクリック

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。



### チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。

## 4 本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

## 「高速スタートアップ」について

---

「高速スタートアップ」とは、電源の切れた状態からすばやく起動するための機能です。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。

### ◆「高速スタートアップ」の機能を無効にする

周辺機器の取り付け／取り外しをする際は、次の手順で「高速スタートアップ」の機能を無効にし、シャットダウンしてから行ってください。

チェックを外さずに周辺機器の取り付け／取り外しを行った場合、周辺機器を認識しないことがあります。

**1** 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

---

**2** 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

---

**3** 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリック

---

**4** 「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする(推奨)」のチェックを外す

---

**5** 「変更の保存」 ボタンをクリック

---

# 電源の状態

[020302-28]

本機の電源の状態には次のように「電源が入っている状態」「スリープ状態」「休止状態」「電源が切れている状態」の4つの状態があります。

- **電源が入っている状態**

通常、本機を使用している状態です。

- **スリープ状態**

作業中のメモリの状態を保持したまま、内蔵フラッシュメモリやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、メモリの状態を保持しているため、すぐに作業を再開できます。

- **休止状態**

メモリの情報をすべて内蔵フラッシュメモリに保存してから、本機の電源が切れた状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元します。

工場出荷時の電源プランでは、バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になった場合に、休止状態へ移行します。

- **電源が切れている状態**

本機の電源を完全に切った状態です。



**参照**

**電源プランについて**

「バッテリー」の「[バッテリーの使い方と設定 \(P. 52\)](#)」

## スリープ状態または休止状態を使用する場合の注意

- 本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがありますので、次のような場合は、スリープ状態または休止状態にしないでください。
  - プリンタへ出力中
  - 通信を行うアプリケーションを実行中
  - LANまたは無線LANを使用して、ファイルコピーなどの通信動作中
  - 音声または動画の再生中
  - 内蔵フラッシュメモリにアクセス中
  - 「システムのプロパティ」画面を表示中
  - Windowsの起動／終了処理中
  - スリープ状態または休止状態に対応していないUSB機器などの周辺機器やアプリケーションを使用中
- スリープ状態のときに次のことが起きると、作業中のデータが失われますので、ご注意ください。
  - バッテリーのみで使用している状態で、バッテリーが切れた
  - バッテリー駆動に十分なバッテリー残量が無いときに、停電やACアダプタが抜けるなどの理由で、バッテリーのみで使用している状態になった
  - 電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切った
- スリープ状態または休止状態への移行、復帰などの電源状態の変更は、5秒以上の間隔をあけてから行ってください。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめ、お使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 通信を行うアプリケーションを使用中の場合は、通信を行うアプリケーションを終了させてから、休止状態にしてください。通信状態のまま休止状態にすると、強制的に通信が切断されることがあります。
- バッテリーのみで使用する場合は、あらかじめバッテリーの残量を確認しておいてください。また、バッテリー残量が少なくなってきた場合の本機の動作について設定しておくこともできます。



### 参照

#### バッテリーについて

「バッテリー」の「バッテリーの使い方と設定 (P. 52)」

- スリープ状態または休止状態への移行中は、microSDメモリーカードなどの各種メモリーカードの入れ替えなどを行わないでください。データが正しく保存されないことがあります。
- スリープ状態または休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しなどの機器構成の変更を行うと、正常に復帰できなくなることがあります。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を外してください。USB機器を接続した状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- スリープ状態時や休止状態時、スリープ状態や休止状態への移行中、スリープ状態や休止状態からの復帰中は、USB機器を抜き差ししないでください。

- 「電源オプション」で各設定を変更する場合は、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。
- スリープ状態または休止状態から復帰したときに、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイが逆になったり、外部ディスプレイの設定情報を読み込めない場合があります。外部ディスプレイを再設定してください。
- スリープ状態または休止状態からの復帰を行った場合、本体は復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合は、タッチパネルを操作するかキーボードのキーを押すことによってディスプレイが正しく表示されます。
- 次のような場合には、復帰が正しく実行されなかったことを表しています。
  - アプリケーションが動作しない
  - スリープ状態または休止状態にする前の内容を復元できない
  - キーボード、電源スイッチを操作しても復帰しない

このような状態になるアプリケーションを使用しているときは、スリープ状態または休止状態にしないでください。電源スイッチを押しても復帰できなかったときは、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。「スライドして PC をシャットダウンします」が表示されます。下にスライドすると電源が強制的に切れます。

この場合、BIOSセットアップユーティリティの内容が、工場出荷時の状態に戻っていることがあります。必要な場合は再度設定してください。



#### 参照

#### **BIOSセットアップユーティリティについて**

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」

# スリープ状態

[020304-28]

作業中のメモリの内容を保持したまま、内蔵フラッシュメモリやディスプレイを省電力状態にして消費電力を抑えている状態です。メモリには電力が供給され、内容が保持されているので、すぐに作業を再開できます。



## チェック

- スリープ状態への移行およびスリープ状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔を空けて行ってください。
- 本機を長時間使用しない場合は電源を切るか、ACアダプタを接続したうえでスリープ状態にしてください。バッテリーのみで長時間スリープ状態にしておくと、バッテリー残量がなくなることがあります。
- スリープ状態でバッテリーの残量がなくなると、作成中のデータが失われたり、データが壊れたりすることがあります。

## スリープ状態にする

工場出荷時の設定で、電源が入っている状態から手動でスリープ状態にするには、次の方法があります。

### 「電源」からスリープ状態にする

**1** チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

**2**  をクリック

**3** 「スリープ」をクリック

Windowsが終了し、スリープ状態になります。Windowsの終了処理中は電源スイッチを押さないでください。

### 電源スイッチを押す



## チェック

電源スイッチでスリープ状態にする場合は、電源スイッチを4秒以上押さないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、「スライドして PC をシャットダウンします」が表示されます。下にスライドすると強制的に電源が切れて、保存していないデータは失われてしまいます。

## スリープ状態から復帰する

スリープ状態から手動で電源が入っている状態に復帰するためには、次の方法があります。



### チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。
- スリープ状態で長時間経過した場合やバッテリー残量が少なくなった場合、自動的に本機が休止状態になっている場合があります。その場合は、電源スイッチで復帰させてください。
- 本機では電源オプションの「復帰時のパスワードを必要とする」の設定内容に関わらず、復帰時にロック画面が表示されます。

## 電源スイッチを押す



### チェック

電源スイッチを押して復帰する場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。電源スイッチを4秒以上押し続けると、「スライドして PC をシャットダウンします」が表示されます。下にスライドすると強制的に電源が切れ、保存していないデータが失われます。

## デタッチャブルキーボードやUSBマウスを操作する

設定を行うことで、デタッチャブルキーボードやUSBマウス接続時、それらのキーやボタンを操作することでスリープ状態から復帰できます。



### チェック

デタッチャブルキーボードやUSBマウス操作でスリープ状態から復帰できない場合は、他の方法でスリープ状態から復帰を行ってください。

## Windowsボタンを押す

# 休止状態

[020305-28]

メモリの情報をすべて内蔵フラッシュメモリに保存し、本機の電源を切った状態です。もう一度電源を入れると、休止状態にしたときと同じ状態に復元しますので、本機での作業を長時間中断する場合、消費電力を抑えるのに有効です。



## チェック

休止状態への移行および休止状態からの復帰は、状態の変更が完了してから5秒以上の間隔をあけて行ってください。

## 休止状態にする

バッテリー残量が、電源プランで設定した「バッテリー切れのレベル」以下になると、自動的に休止状態へ移行します。この設定は変更することができます。



## 参照

### 電源プランについて

「バッテリー」の「バッテリーの使い方と設定 (P. 52)」

## 休止状態から復帰する

休止状態から手動で電源が入っている状態に復帰するには、電源スイッチを押してください。



## チェック

- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

# 電源の設定

[020306-28]

電源の設定は、Windowsの「電源オプション」で行います。

「電源オプション」では、あらかじめ設定されている電源プランから使用するプランを選択するほか、新規のプランを作成することができます。

また、プランごとに電源の状態を変更する操作の設定や、電源の状態が変更されるまでの時間を設定することができます。

## 電源プランの選択

設定されている電源プランから選択する場合は、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル (P. 10)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- 3 表示されているプランから使用したいプランを選択する
- 4  ボタンをクリック

以上で電源プランの選択は完了です。

## 電源プランの設定の変更

すでに登録されている電源プランの設定を変更する場合は、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル (P. 10)」を表示する
- 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック
- 3 設定を変更したいプランの「プラン設定の変更」をクリック
- 4 表示された画面で設定を行う

電源の種類ごとに設定できます。

項目	説明
コンピューターをスリープ状態にする	指定した時間、何も入力がない場合、本機がスリープ状態になります。
プランの明るさを調整	ディスプレイの輝度を設定します。



#### メモ

- 「詳細な電源設定の変更」をクリックすると、電源プランごとに詳細な設定が行えます。
- 「このプランの既定の設定を復元」を選択すると、設定値が既定の値に戻ります。

## 5 「変更の保存」 ボタンをクリック

以上で電源プランの設定の変更は完了です。

## 電源プランの作成

新規の電源プランを作成する場合は、次の手順で行います。

### 1 「コントロール パネル (P. 10)」 を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」 をクリックし、「電源オプション」 をクリック

### 3 左のメニューから「電源プランの作成」 をクリック

### 4 表示される電源プランから作成したいプランに近いプランを選択する

### 5 「プラン名」 欄に作成する電源プラン名を入力し、「次へ」 ボタンをクリック

### 6 表示される画面で設定を行う

### 7 「作成」 ボタンをクリック

以上で電源プランの作成は完了です。

作成した電源プランは、「[電源プランの選択 \(P. 42\)](#)」 の手順で選択できます。

## 電源の状態を変更する操作の設定

電源スイッチを押す操作により移行する電源の状態を変更する場合は、次の手順で行います。



#### チェック

この手順で設定を行った場合、現在登録されているすべての電源プランの設定が変更されます。電源プランごとに設定を行いたい場合は、それぞれの電源プランの設定画面の「詳細な電源設定の変更」から行ってください。

### 1 「コントロール パネル (P. 10)」 を表示する

## 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」の「電源ボタンの動作の変更」をクリック

## 3 「電源とスリープ ボタンおよびカバーの設定」欄で、動作を設定する

- 電源スイッチを押すことで移行する電源の状態を設定する場合  
「電源ボタンを押したときの動作」欄で設定します。



### チェック

工場出荷時の設定は次のようになっています。

- 「電源ボタンを押したときの動作」：「スリープ状態」
- 「スリープ ボタンを押したときの動作」：「スリープ状態」
- 「カバーを閉じたときの動作」：「スリープ状態」

## 4 「変更の保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

# 電源の自動操作

[020307-28]

タイマによって、自動的に電源の操作を行うことができます。



## チェック

タイマの自動操作によるスリープ状態からの復帰を行った場合、本体はスリープ状態から復帰しているのに、ディスプレイには何も表示されない状態になることがあります。この場合、タッチパネルなどのポインティングデバイス进行操作するかデタッチャブルキーボードのキーを押すことによってディスプレイが表示されま

す。

## タイマ機能（電源オプション）

設定した時間を経過しても、タッチパネルやキーボードからの入力や内蔵フラッシュメモリへのアクセスなどがない場合、自動的にディスプレイの電源を切ることができます。

工場出荷時は次のように設定されています。

使用している電源	電源プランの名称	コンピューターをスリープ状態にする
AC電源	バランス	約10分
バッテリー		約4分



## メモ

工場出荷時は、省電力のためスリープ状態になるように設定してあります。

本機の省電力機能について説明しています。

- ▶ 省電力機能について.....47

# 省電力機能について

---

[020401-28]

Windowsには、一定時間本機を使用していない場合などに電源の状態を変更し、消費電力を抑えるように設定できる電源管理機能があります。



参照

**Windowsの電源管理機能について**

「[電源 \(P. 33\)](#)」

本機のバッテリー（二次電池）の使い方やバッテリー診断などについて説明しています。

▶ バッテリー（二次電池）について.....	49
▶ 使用上の注意.....	50
▶ バッテリーの充電.....	51
▶ バッテリーの使い方と設定.....	52
▶ バッテリー診断ツール.....	54

# バッテリー（二次電池）について

---

[020501-28]

- 本機はリチウムポリマー電池を内蔵しています。バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- バッテリーについてはJEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「PC用バッテリー関連Q&A集」（<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムポリマー電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



## 使用上の注意

[020502-28]

- 内蔵フラッシュメモリなどへの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、内蔵フラッシュメモリなどのデータが失われたり、壊れたりすることがあります。
- 充電を行う際にはできるだけ満充電するようにしてください。バッテリー残量が少ない場合などに少量の充放電を何度も繰り返して本機を使用すると、バッテリー残量に誤差が生じることがあります。
- 本機を長期間使用しない場合は、バッテリー残量を50%程度にして、涼しいところに保管しておくことでバッテリーの寿命を長くすることができます。
- バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、スリープ状態や休止状態を利用したり、本機の省電力機能を使用してください。



### 参照

- **スリープ状態／休止状態について**  
「電源 (P. 33)」
- **省電力機能について**  
「省電力機能 (P. 46)」

- バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2～3か月に一度は充電することをおすすめします。

# バッテリーの充電

[020504-28]



## チェック

購入直後や長時間放置したバッテリーでは、バッテリー駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリー残量が正しく表示されないことなどがあります。必ず満充電してから使用してください。

## バッテリーの充電のしかた

本機にACアダプタを取り付け、ACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。また、拡張クレードルがある場合、拡張クレードルにACアダプタを取り付けてACコンセントに接続した状態で、本機を拡張クレードルに接続すると、自動的にバッテリーの充電が始まります。本機の電源を入れて使用していても充電されます。



## メモ

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。また、高温になると充電が中断されることがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

バッテリーの充電時間については、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>



## 参照

**拡張クレードルの接続について**  
「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

# バッテリーの使い方と設定

[020505-28]

## バッテリー残量の確認

バッテリー残量は次の方法で確認できます。

### タスク バーの通知領域で確認する

タスク バーの通知領域の  または  をクリックすると、現在のバッテリー残量が表示されます。

## バッテリー残量による動作の設定

バッテリー残量が一定の値以下になったときに通知したり、自動的にスリープ状態や休止状態になるように設定できます。



### チェック

- 工場出荷時の状態では、バッテリー残量が6%以下になったときに通知し、4%以下になったときに再度通知し、自動的に休止状態になるように設定されています。
- バッテリー残量による動作は、電源プランごとに設定します。

バッテリー残量による動作の設定を変更するには、次の手順で行います。

### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

### 2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「電源オプション」をクリック

### 3 設定を変更したい電源プランの「プラン設定の変更」をクリック

### 4 「詳細な電源設定の変更」をクリック

### 5 「バッテリー」をダブルクリック

### 6 「バッテリー」以下に表示される項目で設定を行う

設定可能な項目は次の通りです。

項目	説明
バッテリー切れの動作	バッテリー残量が「バッテリー切れのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
低残量バッテリーのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「低残量バッテリーの動作」を開始します。

バッテリー切れのレベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、「バッテリー切れの動作」を開始します。
低残量バッテリーの通知	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに通知するかどうかを設定します。
低残量バッテリーの動作	バッテリー残量が「低残量バッテリーのレベル」以下になったときに行う動作を設定します。
省電源移行バッテリー レベル	バッテリー残量がここで設定した値以下になると、Windowsが省電源モードで動作するようになります。

## 7 「OK」 ボタンをクリック

以上で設定の変更は完了です。

## ■ バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなった場合は、状況に応じて次の操作を行ってください。

### ACコンセントから電源を供給できる場合

ACアダプタを接続して、ACコンセントから電源を供給してください。バッテリーの充電が始まります。また、バッテリーを充電しながら本機を使用できます。

### ACコンセントが使えない場合

本機を休止状態にするか、使用中のアプリケーションを終了して本機の電源を切ってください。

バッテリー残量が少ない状態で、ACコンセントから電源を供給しないまま本機を使用していると、バッテリー残量に応じて電源プランで設定されている動作が実行されます。

### 拡張クレードルがある場合

拡張クレードルにACアダプタを取り付けてACコンセントに接続した状態で、本機を拡張クレードルに接続すると、バッテリーの充電が始まります。また、バッテリーを充電しながら本機を使用できます。



#### 参照

#### 拡張クレードルについて

「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

# バッテリー診断ツール

[020507-28]

「バッテリー診断ツール」を使用することで、バッテリー性能診断ができます。

## ■ 使用上の注意

### Windowsアップグレード後の注意

お使いのWindowsのアップグレード（例：Windows 10へのアップグレード）を行うと、正常に動作しない場合があります。

下記の手順に従い、設定を更新してください。

**1** 「スタート」ボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、「すべてのアプリ」をクリック

**2** 「Windows システム ツール」をクリック

**3** 「ファイル名を指定して実行」をクリック

**4** 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥Program Files¥NECBatt¥instnbnw.exe

**5** Windowsを再起動する

## ■ バッテリー診断ツールの表示

バッテリー診断ツールの表示は次の手順で行います。

**1** アプリ画面 (P. 10)を開き、アプリの一覧で「バッテリー診断ツール」をクリック

## ■ バッテリー性能診断を実行する

「バッテリー診断ツール」を起動すると、自動的に診断結果が画面に表示されます。



### チェック

- 「バッテリー状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリーの交換をおすすめします。
- 「バッテリー状態」に「警告」と表示された場合、バッテリーを交換してください。また、バッテリーへの充電は、安全のため行えなくなります。
- バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。

## バッテリー診断ツールのアンインストール

バッテリー診断ツールのアンインストールは、次の手順で行います。



### チェック

アンインストールは管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック
- 3 「バッテリー診断ツール」を選択し、「アンインストール」をクリック
- 4 「バッテリー診断ツール をアンインストールしますか？」と表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

以上でバッテリー診断ツールのアンインストールは完了です。

## バッテリー診断ツールの再インストール

アンインストールした「バッテリー診断ツール」を再インストールする場合は、次の手順で行います。

- 1 アプリ画面 (P. 10)を開き、アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック  
C:¥MAVP¥Nxsetup.exe
- 3 「バッテリー診断ツール」を選択し、「インストール」をクリック  
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。
- 4 「バッテリー診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「バッテリー診断ツール - スケジューラ (Process Id: XXXX)」をクリックし、「継続」ボタンをクリック
- 5 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック
- 6 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック  
Windowsが自動的に再起動します。

以上でバッテリー診断ツールの再インストールは完了です。

本機のタッチパネル機能について説明しています。

› 使用上の注意. . . . .	57
› タッチパネルでの操作方法. . . . .	58
› タッチパネルの設定. . . . .	60
› タッチパネルでの文字入力. . . . .	62
› デジタイザーペンについて. . . . .	63

## 使用上の注意

---

[023001-28]

- 必要以上に強い力でタッチしないでください。故障の原因になります。
- 画面上に物を置くなど、長時間同じ位置に重量負荷をかけないようにしてください。画面がたわみ、故障の原因になります。
- 汚れた指でタッチしないでください。画面に汚れが付着して見にくくなる可能性があります。
- タッチパネル面は強化ガラスでできています。万が一強化ガラスが割れた場合は指で触れたりせずに修理を依頼してください。
- タッチパネルの表面にフィルムなどを貼らないでください。また、汚れや水滴が付着した場合は柔らかい布で取り除いてください。タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 指の状態（乾燥している、汗や水で濡れているなど）によっては、タッチ操作が正常に行えなくなる可能性があります。
- 他の電気機器から離してお使いください。そばに置いて使用していると、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。
- ACアダプタは、他の電気機器と同じACコンセントに接続しないでください。他の電気機器からノイズを受けて、タッチパネルの動作が不安定になることがあります。  
やむなく同じコンセントに接続していて、他の電気機器にアース線がある場合は、必ずアース線を接続してください。

# タッチパネルでの操作方法

[023002-28]

本機のタッチパネルでの操作と対応するマウス操作について説明します。



## メモ

- 操作をするときは指先で触れるようにし、また、2本の指で操作する場合は、1本目の指で画面に触れてから、2本目の指の操作を行ってください。
- 添付のデジタイザーペンを使ってもタッチパネルの操作ができます。



## 参照

### デジタイザーペンの使い方

「デジタイザーペンについて (P. 63)」

操作名	操作イメージ	説明	同じ動作をするマウス操作
タップ		画面上の対象に指1本で軽く触れ、指を離します。 アイコンや項目の選択や、ボタンを押すときに使用します。	クリック
長押し (プレス アンド ホールド)		指1本で画面上の対象に触れ続け、四角が表示された後に指を離します。 右クリックメニューが表示されます。	右クリック
ダブル タップ		画面上の対象を指で2回連続でタップします。 ダブルクリックと同様に、フォルダを開いたり、プログラムを実行するときに使用します。	ダブル クリック
ドラッグ		画面上の対象に触れ、指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。 アイコンの移動や範囲選択などで使用します。	ドラッグ

<p>スライド (パン)</p>		<p>指を画面上に軽くタッチした状態で動かします。 画面に表示しきれない大きなページや画像データを動かし、隠れていた部分を表示することができます。</p>	<p>スクロール</p>
<p>スワイプ (フリック)</p>		<p>画面に触れ、指を払うように動かします。 指を動かした方向に表示内容がスクロールさせたり、ページをめくることができます。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>-</p>
<p>ピンチ/ ストレッチ (ズーム)</p>		<p>ピンチによる縮小をする場合は、指1本で画面に触れたまま、別のもう1本の指で画面に触れ、2本の指先でつまむように動かします。 ストレッチによる拡大をする場合は、逆に2本の指先を開くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>【Ctrl】 + スクロールホイール</p>
<p>回転</p>		<p>指1本で画面に触れたまま、もう1本の指で画面に触れ、最初に触れた指を中心にして円を描くように動かします。 アプリケーションが対応している場合のみ有効です。</p>	<p>-</p>

# タッチパネルの設定

[023004-28]

## 操作や表示などの設定

ダブルタップなどの操作に関する設定や、タッチパネル操作時の表示、画面の回転などについて設定できます。

### ダブルタップなどの操作に関する設定をする

#### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

#### 2 「ハードウェアとサウンド」→「ペンとタッチ」をクリック

#### 3 次のタブで設定を行う

- 「ペンのオプション」タブ  
ペンによるダブルタップや長押しの設定ができます。
- 「フリック」タブ  
ペンによるフリック操作に割り当てる機能や、フリック操作時の感度を設定できます。
- 「タッチ」タブ  
タッチによるダブルタップや長押しの設定ができます。

#### 4 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

### タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする

#### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

#### 2 「ハードウェアとサウンド」→「タブレット PC 設定」をクリック

#### 3 次のタブで設定を行う

- 「画面」タブ  
画面の回転についての設定などができます。



#### チェック

「調整」をクリックしてタッチする位置の調整をしないでください。調整をすると、タッチの反応位置がずれてしまうことがあります。  
調整してしまった場合は、「画面」タブの「リセット」をタップして、ご購入時の設定に戻してください。

- 「その他」タブ  
きき手などの設定ができます。
- 

## 4 「OK」 ボタンをクリック

---

以上で設定は完了です。

# タッチパネルでの文字入力

---

[023003-28]

デタッチャブルキーボードを接続せず、タッチパネルで文字を入力する場合は、タッチキーボードを使用します。



**参照**

**タッチキーボードについて**

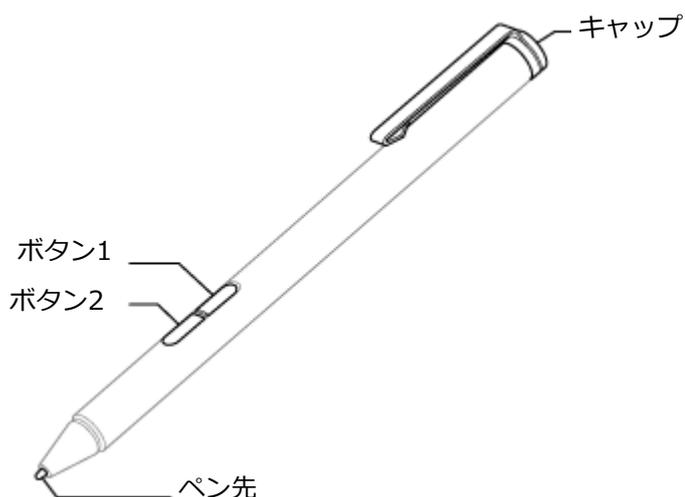
「タッチキーボードについて (P. 8)」

# デジタイザーペンについて

[023005-28]

本機に添付されている専用のデジタイザーペンを使っても、タッチパネルの操作ができます。

## 各部の名称



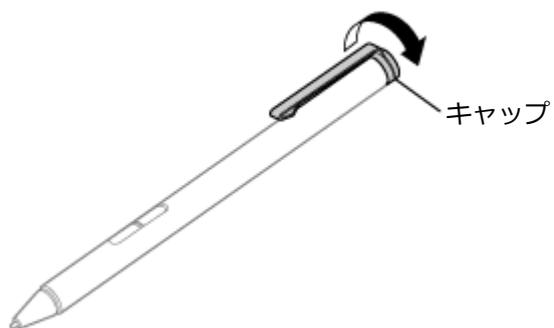
名称	説明	同じ動作をするマウス操作
ペン先	文字を書くときや、アイコンや項目の選択、ボタンを押すときに使用します。	クリック
ボタン1	ボタン1を押しながらペン先をタッチパネルに触れ、すぐに離すと、右クリックメニューが表示されます。	右クリック
ボタン2	消しゴムとして使用します。 ボタン2を押しながら消去したい文字や線に触れると、消去されます。※1	-
キャップ	電池交換の際に取り外します。	-

※1 : 削除機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

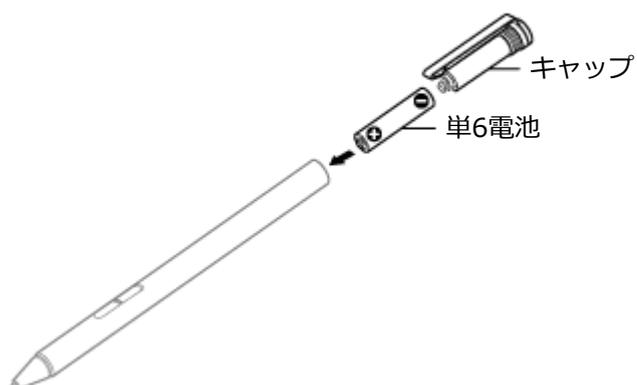
## 電池の交換

デジタイザーペンでの入力が正しく行えなくなったり、反応が悪くなったりした場合は、新しい電池と交換してください。

### 1 デジタイザーペンのキャップを外し、電池を取り出す



## 2 電池の+、-の向きを確認し、新しい単6電池をセットする

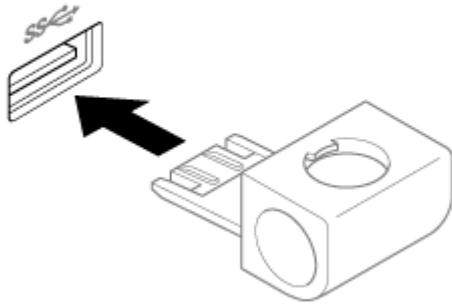


## 3 デジタイザーペンにキャップを取り付ける

### ■ ペンホルダーの使用

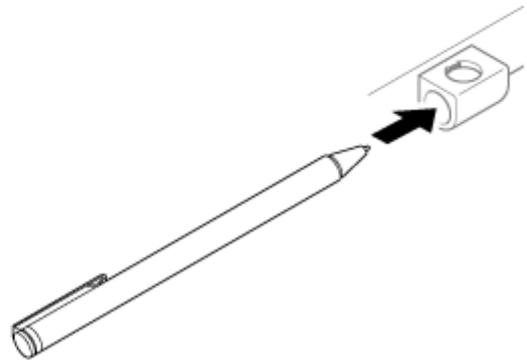
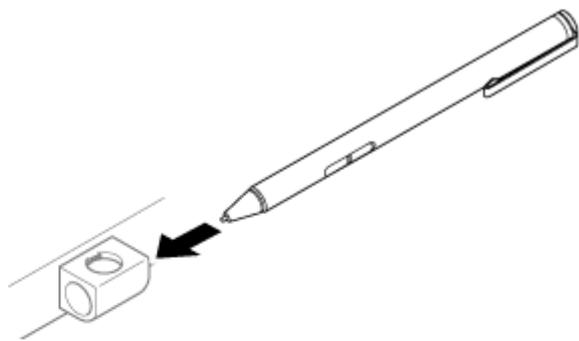
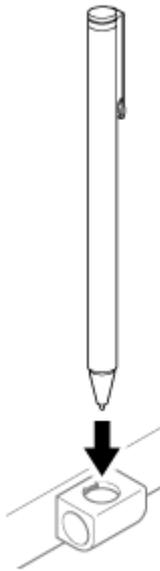
デジタイザーペンを使わないときにペンホルダーにセットできます。

### 1 ペンホルダーをUSBコネクタに取り付ける



## 2 デジタイザーペンをペンホルダーに差し込む

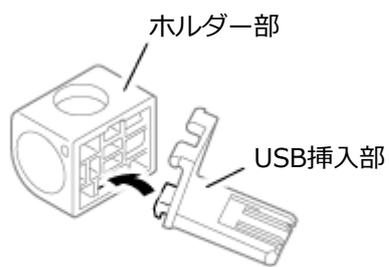
デジタイザーペンはペンホルダーの3箇所差し込めます。



## ■ ペンホルダーの組み立て

ペンホルダーが外れた場合は、以下の手順の通りに組み立ててください。

### 1 USB挿入部の下部をホルダー部の下部の溝に差し込む



---

**2** USB挿入部の上部をホルダー部の上部の溝に差し込む



デタッチャブルキーボードの各部の名称や、キーの使い方について説明しています。デタッチャブルキーボードをお使いの場合のみご覧ください。

各部の名称と役割.....	68
キーの名称.....	73
キーの使い方.....	75
キーボードの設定.....	77

# 各部の名称と役割

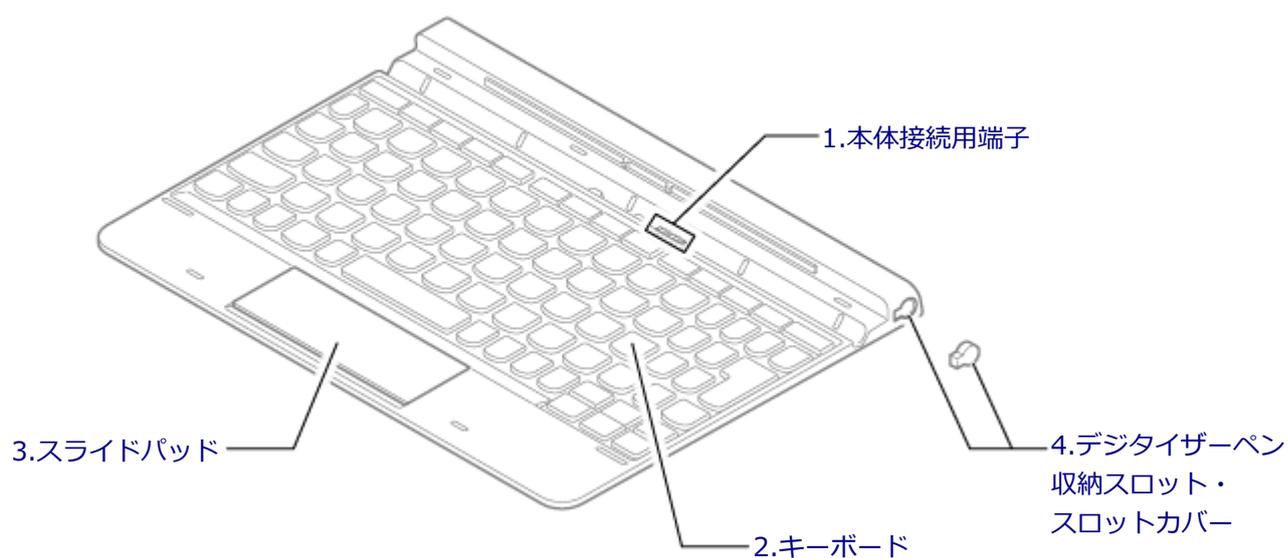
[020606-28]



## チェック

デタッチャブルキーボードは購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます (PC-VP-KB33)。

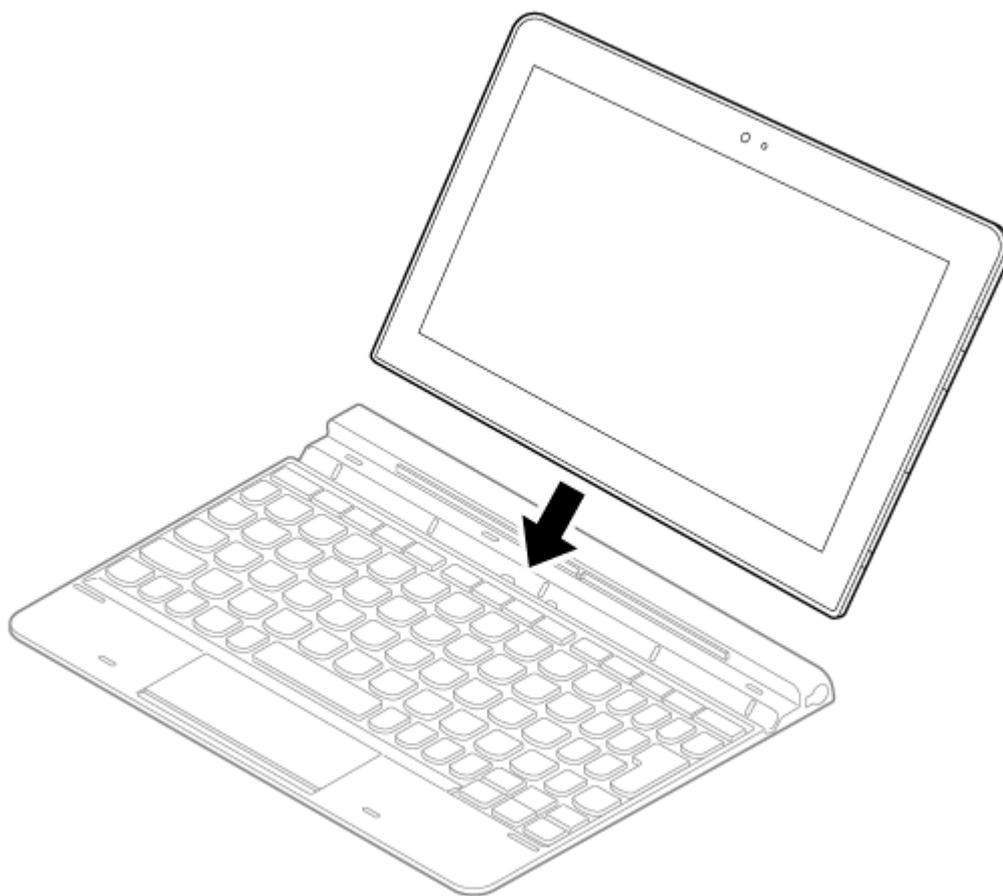
## 各部の名称



## 各部の説明

### 1. 本体接続用端子

本体と接続するための端子です。本体のキーボード接続用コネクタをセットしてください。



### チェック

- セットするときは、必要以上の力を加えないでください。破損する恐れがあります。
- 水平な場所に設置してご使用ください。

## 2. キーボード

文字の入力や画面の操作をします。

→「キーの名称 (P. 73)」「キーの使い方 (P. 75)」

## 3. スライドパッド

タップ・ダブルタップ・ドラッグの操作を、この部分でも行うことができます。

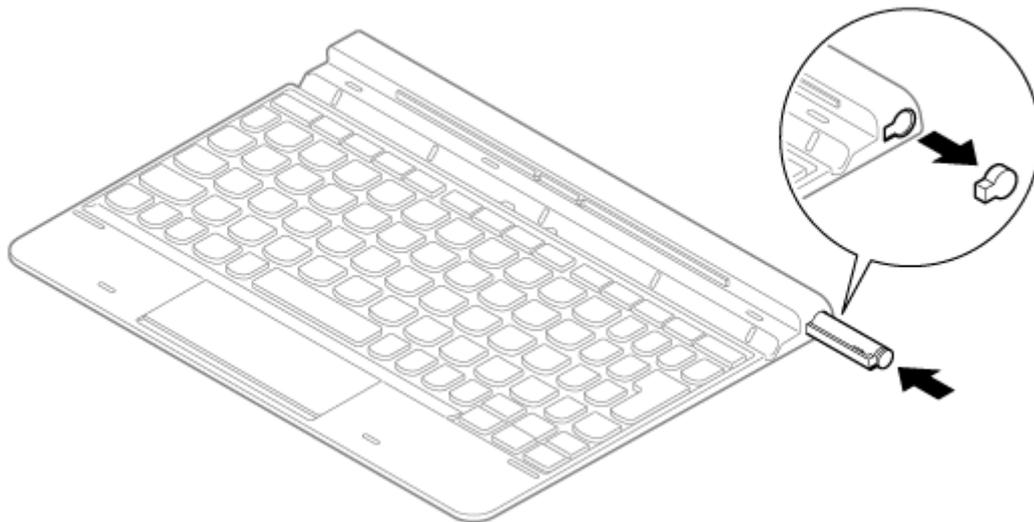
また、スライドパッドの右下部分を押し込んですぐに離すと、右クリックと同じ操作になります。

## 4. デジタイザーペン収納スロット・スロットカバー

デジタイザーペンを収納することができます。

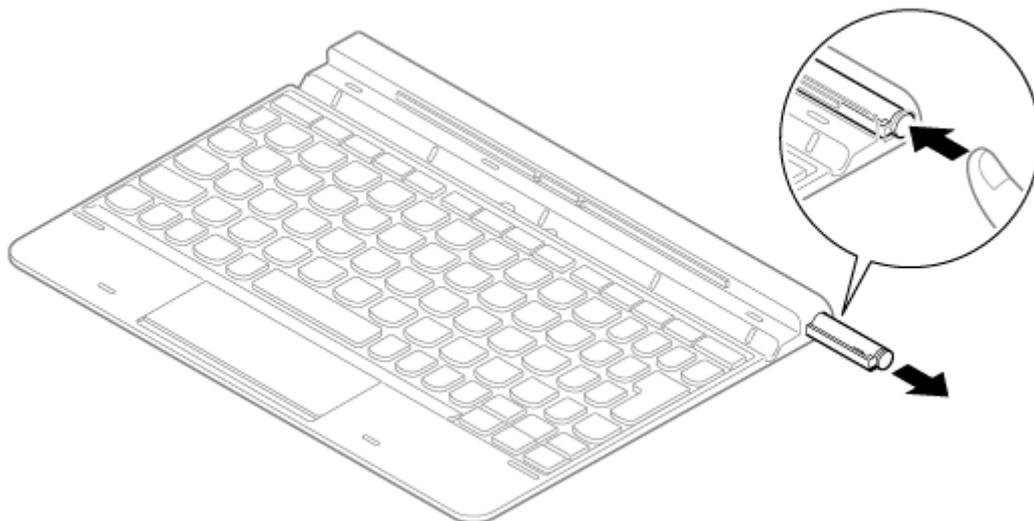
### デジタイザーペンを収納するときは

スロットカバーを外し、デジタイザーペンをカチッと音がするまで押し込みます。



### デジタイザーペンを取り出すときは

デジタイザーペンを押し込み、カチッと音がしたら引き出します。



#### チェック

スロットカバーはなくさないようにしてください。また、デジタイザーペンを収納していないときは、スロットカバーを取り付けておいてください。

#### 使用上の注意

- 水平な場所に設置してご使用ください。
- 本体をキーボードにセットして使用する場合、デジタイザーペン操作時以上の力を加えないでください。

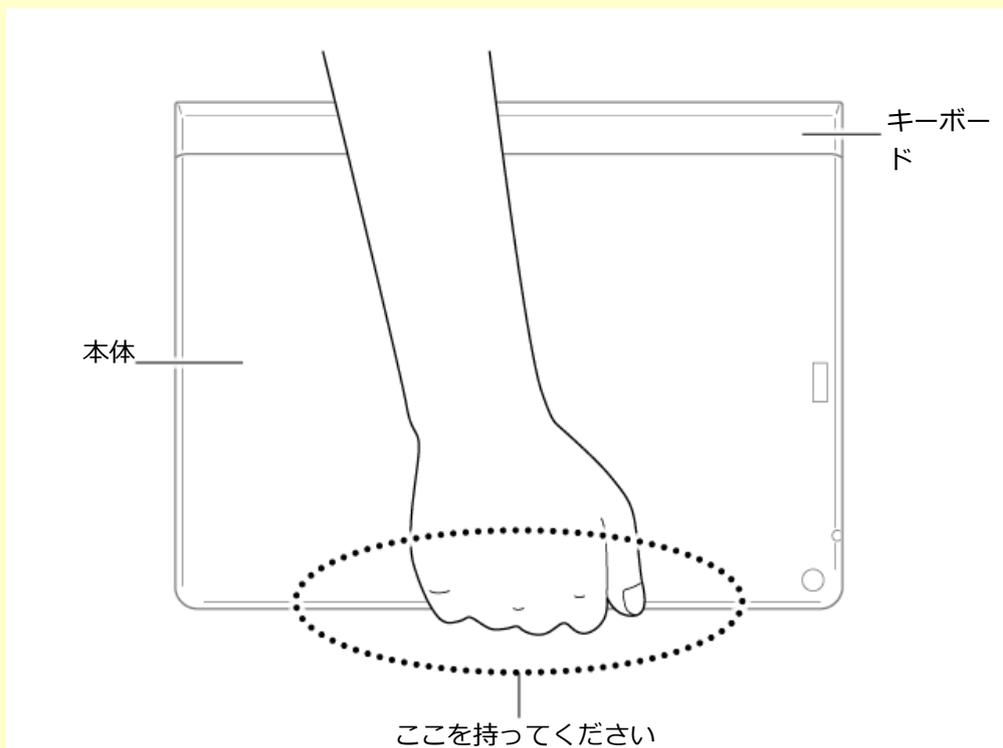
#### デタッチャブルキーボードの収納

キーボードを使わないときや持ち運ぶときなど、本体の液晶ディスプレイを重ねて取り付けることで、コンパクトに収納することができます。



## チェック

本体にキーボードを取り付けて持ち運ぶ際には、必ず下図の点線部を持ってください。点線部以外を持つと、持ち運ぶ際に本体とキーボードが外れる場合があります。

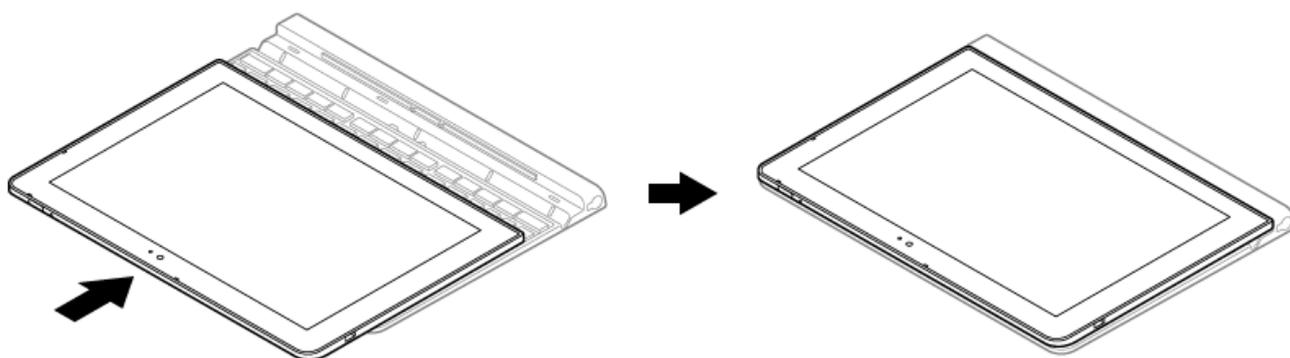


## 1

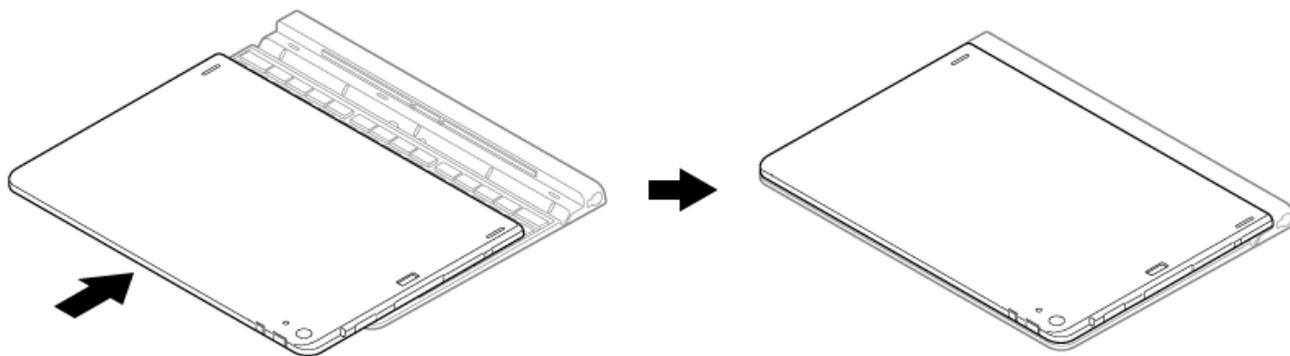
### 本体をデタッチャブルキーボードに重ね、突き当たるまでまっすぐスライドする

本体とキーボードが磁石で固定されます。

- 液晶ディスプレイを外側にする場合

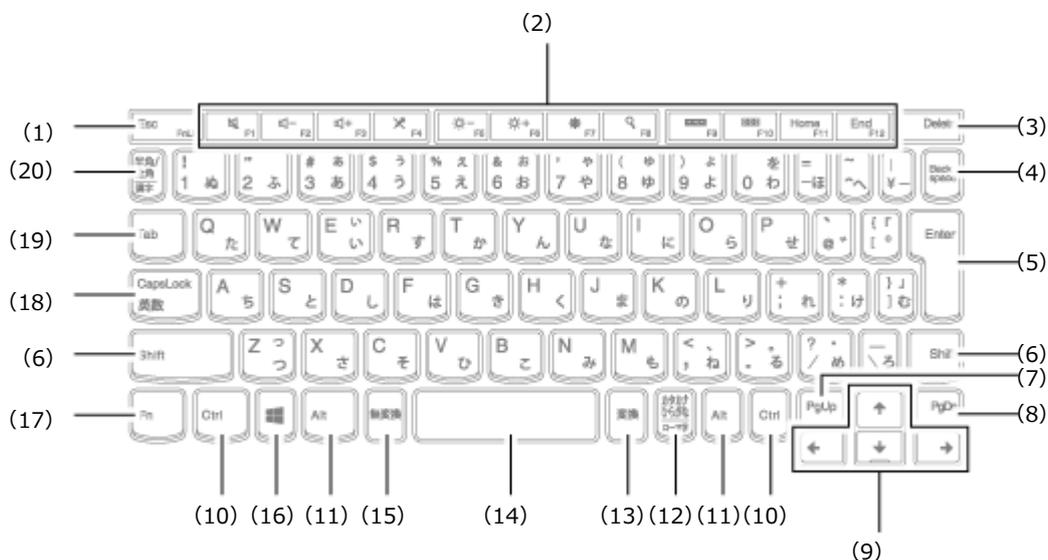


- 液晶ディスプレイを内側にする場合



# キーの名称

[020603-28]



番号	マニュアルでの表記	名称
(1)	【Esc】	エスケープキー
(2)	【F1】～【F12】	ファンクションキー
(3)	【Delete】	デリートキー
(4)	【Back space】	バックスペースキー
(5)	【Enter】	エンターキー（リターンキー）
(6)	【Shift】	シフトキー
(7)	【PgUp】	ページアップキー
(8)	【PgDn】	ページダウンキー
(9)	【↑】【↓】【→】【←】	カーソルキー
(10)	【Ctrl】	コントロールキー
(11)	【Alt】	オルトキー
(12)	【カタカナ ひらがな】	かなキー
(13)	【変換】	変換キー
(14)	スペースキー	スペースキー
(15)	【無変換】	無変換キー
(16)	【  】	Windowsキー

(17)	【Fn】	エフエヌキー
(18)	【CapsLock】	キャップスロックキー
(19)	【Tab】	タブキー
(20)	【半角/全角】	半角/全角キー

## 日本語入力のオン/オフ

本機は、工場出荷時、日本語入力システムとしてMicrosoft IMEが設定されています。  
工場出荷時の状態で日本語入力のオン/オフを切り替えるには【半角/全角】または【Caps Lock】を押してください。

## ホットキー機能

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、パソコンの設定を変更したり、キーの役割を変えることができます。これをホットキー機能といいます。

キー操作	機能	説明
【Fn】 + 【F1】	音声のオン/オフ(ミュート機能) (  )	音声のオン/オフを切り替えます。 スピーカーがオフの場合、キー右上のランプが点灯します。
【Fn】 + 【F2】	音量を下げる (  )	スピーカーの音量を下げます。
【Fn】 + 【F3】	音量を上げる (  )	スピーカーの音量を上げます。
【Fn】 + 【F4】	マイクのオン/オフ (  )	マイクのオン/オフを切り替えます。 マイクがオフの場合、キー右上のランプが点灯します。
【Fn】 + 【F5】	輝度を下げる (  )	液晶ディスプレイの輝度が下がります (11段階)。
【Fn】 + 【F6】	輝度を上げる (  )	液晶ディスプレイの輝度が上がります (11段階)。
【Fn】 + 【F7】	チャームバーの「設定」 (  )	チャームバーの「設定」を開きます。
【Fn】 + 【F8】	チャームバーの「検索」 (  )	チャームバーの「検索」を開きます。
【Fn】 + 【F9】	使用中アプリの一覧 (  )	現在使用しているアプリの一覧を開きます。
【Fn】 + 【F10】	アプリ画面 (  )	アプリ画面を開きます。
【Fn】 + 【F11】	Home	【Home】として機能します。
【Fn】 + 【F12】	End	【End】として機能します。



## メモ

- ご購入時の状態では、Fnキー右上のランプが点灯しています。その状態で、ファンクションキーを押すと【F1】から【F12】として使用できます。ホットキー機能として使用するには、【Fn】を押しながらファンクションキーを押します。
- 【Fn】とファンクションキーの組み合わせを逆転することができます。【Fn】を押しながら【Esc】を押すと、【Fn】キー右上のランプが消灯し、液晶ディスプレイ下部に  が表示されます。この状態でファンクションキーを押すと、ホットキー機能を使用できます。
- 【F1】から【F12】として使用するには、【Fn】を押してファンクションキーを押します。元に戻すには、【Fn】を押しながら【Esc】を押します。【Fn】キー右上のランプが点灯し、液晶ディスプレイ下部に  が表示されます。
- 【Fn】を押しながら【8】を押すと、スライドパッドのオン/オフを切り替えられます。

## 【Fn】 / 【Caps Lock】 / マイクのディスプレイ表示設定

【Fn】 / 【Caps Lock】 / マイクの状態を、インジケータで表示することができます。インジケータの表示を設定するには、次の手順で行います。

**1** 「コントロールパネル (P. 10)」を表示する

**2** 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

**3** 「詳細設定」をクリック

**4** 「画面構成」タブで設定を行う

**5** 「OK」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

# キーボードの設定

---

[020605-28]

Windowsでキーボードをより使いやすく設定することができます。



**参照**

**キーボードの設定について**  
Windowsのヘルプ

本機でマウスを使用する場合の設定について説明しています。

▶ マウスを使用する.....	79
-----------------	----

# マウスを使用する

[020902-28]

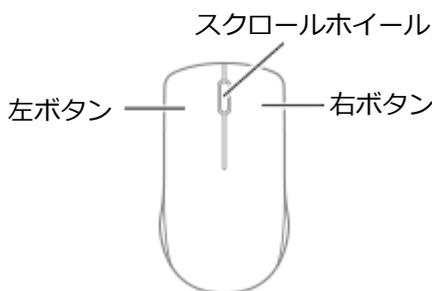
本機では、USB接続のマウスを使用することができます。

添付または別売の当社製USBマウスを使用する場合は、特に設定を行う必要はありません。そのままUSBコネクタに接続してください。

他社製のUSBマウスを使用する場合は、設定が必要になる場合がありますので、お使いのマウスのマニュアルなどをご覧ください。

購入時に、マウスを選択した場合に添付されるマウスを例として説明します。

## USB光センサーマウス



### チェック

USB光センサーマウスは、マウス底面に光源があり、それをセンサーで検知することでマウスの動きを判断しています。次のような表面では正しく動作しない（操作どおりにマウスポインタが動かない）場合があります。

- 反射しやすいもの（鏡、ガラスなど）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるもの（透明、半透明な素材を含む）



### 参照

マウスの使い方  
Windowsのヘルプ

## スクロールホイールの使い方



### チェック

スクロールホイールの機能に対応していないアプリケーションでは使用できません。

### ● 垂直スクロール機能

スクロールホイールを奥または手前方向に回転させることで、画面を上下にスクロールさせることができます。

- **オートスクロール機能**

スクロールホイールをクリックしたり、押し続けるとスクロールアイコンが表示されます。

その状態で、三角マークの方向にマウスを動かして、画面を上下、または左右にスクロールさせることができます。

スクロールホイールを再度クリックしたり、指を離すとスクロールアイコンが消えます。

# 液晶ディスプレイ

---

[021100-28]

本機の液晶ディスプレイの表示の調整や表示できる解像度と表示色、表示に関する機能の設定などについて説明しています。

▶ 使用上の注意. . . . .	82
▶ 画面表示の調整. . . . .	83
▶ 画面の回転. . . . .	85
▶ 表示できる解像度と表示色. . . . .	87
▶ ディスプレーストレッチ機能. . . . .	88

## 使用上の注意

---

[021101-28]

- 液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、色調のズレなど個体差が発生する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
- OpenGLのアプリケーションを使用した場合、アプリケーションによっては、画面が表示されない、または画面の表示が乱れることがあります。
- Windowsの状態によっては、スクリーンセーバー動作時に液晶ディスプレイの電源がオフにならない場合があります。
- 各種ベンチマークが正常に実行できない場合があります。
- 画面回転時にスリープ状態や休止状態にしたり、再起動や電源を切るなどの操作を行わないでください。
- 動画の再生中は、画面を回転させないでください。
- 動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、表示色、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 動画を再生するアプリケーションによっては、画質が低下する場合があります。

## 輝度を調整する

### 「Windows モビリティ センター」で調整する

「Windows モビリティ センター」で輝度を調整できます。輝度は0から100の数値で調整することができます。輝度の調整は次の手順で行います。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「Windows モビリティ センター」をクリック
- 3 「ディスプレイの明るさ」欄のつまみで調整する

### キーボードで調整する

デタッチャブルキーボードでも、一時的に輝度を調整できます。

機能	キー操作	説明
輝度を下げる (☀️-)	【Fn】 + 【F5】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
輝度を上げる (☀️+)	【Fn】 + 【F6】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。

### 輝度の自動調整

本機には、輝度センサーで感知した周囲の明るさに応じて画面の輝度を自動で調整する機能があります。輝度の自動調整を有効にする場合は、次のいずれかの手順で設定を行います。

- バッテリー駆動時と電源接続時の自動輝度調整を別々で設定する場合

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」をクリック
- 3 「プラン設定の変更」をクリック
- 4 「詳細な電源設定の変更」をクリック

「電源オプション」画面が表示されます。

## 5 「ディスプレイ」 → 「自動輝度調整を有効にする」をダブルクリック

## 6 「バッテリー駆動」または、「電源に接続」をクリック

- **バッテリー駆動**  
バッテリー電源で動作しているときの自動輝度調整を有効または無効にします。
- **電源に接続**  
電源に接続しているときの自動輝度調整を有効または無効にします。

## 7 プルダウンメニューを表示し、「オン」を選択する

自動輝度を無効にする場合は「オフ」を選択します。

## 8 「適用」ボタンをクリック

## 9 「OK」ボタンをクリック

- バッテリー駆動時と電源接続時の自動輝度調整を同時に設定する場合

## 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

## 2 「PC 設定の変更」をクリック

## 3 「PC とデバイス」をクリック

## 4 「電源とスリープ」の「明るさ」の「画面の明るさを自動的に調整する」を、「オン」にする

自動輝度を無効にする場合は、「オフ」を選択します。



### チェック

輝度の自動調整を使用するときは、輝度センサをふさぐなどして周辺光をさえぎらないようにしてください。



### 参照

#### 輝度センサの位置について

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」

## 画面を回転させる

本機の向きを感知して画面の表示方向を切り替える自動回転機能により、自動で画面が回転します。



### チェック

工場出荷時の設定では、画面の自動回転機能は有効に設定されています。

## 自動回転機能を一時的に停止（ロック）する

自動回転機能を一時的に停止（ロック）することができます。



### チェック

自動回転機能は、チャームバーの「ディスプレイ」より確認できます。

チャームバーのアイコン	状態
 ディスプレイ	自動回転機能：オン。自動回転機能が動作しています。
 ディスプレイ	自動回転機能：オフ。自動回転機能が停止しています。

### ●自動回転機能を一時的に停止する

1 チャームバーを表示し、「設定」をクリック

2  をクリック

3  をクリック

自動画面回転機能が一時的に停止します。

### ●自動回転機能の一時停止を解除する

1 チャームバーを表示し、「設定」をクリック

2



をクリック

---

3



をクリック

自動画面回転機能が動作します。

---

# 表示できる解像度と表示色

---

[021103-28]

本製品で使用できる液晶ディスプレイの解像度や表示色については、タイプ別仕様詳細に記載しております。  
電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>



## チェック

設定により、タイプ別仕様詳細に記載されていない解像度を選択することができる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ず記載されている解像度で使用してください。



## 参照

外部ディスプレイ使用時の解像度と表示色、機能、設定について  
「外部ディスプレイ (P. 89)」

# ディスプレイストレッチ機能

[021104-28]

ディスプレイストレッチ機能とは、液晶ディスプレイの解像度よりもWindowsの解像度設定が低い場合に、液晶ディスプレイに画面イメージを拡大して表示する機能です。

ディスプレイストレッチ機能を使う場合は次の手順で行います。



## チェック

ディスプレイストレッチ機能を使用して拡大表示を行っている場合、表示される文字などの線の太さが不均一になることがあります。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 「詳細設定」をクリック
- 4 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ディスプレイ」をクリック
- 6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「一般設定」をクリック
- 7 「ディスプレイの選択」欄で「内蔵ディスプレイ」を選択する
- 8 「スケーリング」欄で「ディスプレイ・スケーリングを保持する」を選択する
- 9 「適用」ボタンをクリック  
設定の保存を確認するメッセージが表示されます。
- 10 「はい」ボタンをクリック
- 11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる
- 12 「OK」ボタンをクリック

設定が有効になり、ディスプレイストレッチ機能が使用できます。

# 外部ディスプレイ

---

[021200-28]

外部ディスプレイで表示可能な解像度や表示色、画面の表示先の切り替えなどについて説明しています。

▶ 使用上の注意. . . . .	90
▶ 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色. . . . .	91
▶ microHDMIコネクタ/HDMIコネクタ. . . . .	92
▶ 外部ディスプレイ接続時の表示機能. . . . .	94
▶ 表示先、表示機能の設定. . . . .	95
▶ ディスプレイに合わせた設定. . . . .	98

## 使用上の注意

[021201-28]

- 動画の再生中は、休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 解像度、または画面の出力先の変更を行う場合は、動画や音楽を再生するアプリケーションを表示したまま行わないでください。
- 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示を行っている場合、オーバーレイを使用して再生する動画は、プライマリ側のディスプレイにのみ表示されます。
- デュアルディスプレイ機能使用時に動画を再生し、表示が乱れた場合、デュアルディスプレイ機能を使用せずに本機の液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみで動画の再生をしてください。
- 外部ディスプレイに表示している状態で、本機の液晶ディスプレイを近づけると、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

### microHDMIコネクタ/HDMIコネクタ使用時の注意

- すべてのHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビでの動作確認はしておりません。そのため、HDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビによっては正しく表示されない場合があります。
- HDMIケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。
- 本機の電源が入っている状態、スリープ状態、および休止状態のときは、microHDMIコネクタ/HDMIコネクタへのHDMIケーブルの取り付け、取り外しを行わないでください。
- 著作権保護されたコンテンツなどは出力されない場合があります。
- HDMIディスプレイ接続時、リフレッシュレートが30Hz（インターレース）に設定されていると、本機の操作中にちらつく場合があります。その場合はリフレッシュレートを60Hz（プログレッシブ）に変更してください。
- 使用環境によっては、60Hz（プログレッシブ）に変更するか解像度を低くしないと描画性能が上がらない場合があります。
- HDMIディスプレイのタイプによっては、解像度を変更しないと、60Hz（プログレッシブ）に変更できない場合があります。

# 外部ディスプレイ接続時の解像度と表示色

[021202-28]

本製品で使用できる外部ディスプレイの解像度や表示色については、タイプ別仕様詳細に記載しております。  
電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>



## チェック

- 外部ディスプレイをご使用の際は、外部ディスプレイのマニュアルで、対応している走査周波数や解像度を確認してください。
- 初回接続時の外部ディスプレイやテレビは、本機の液晶ディスプレイとのクローンモードに設定されます。
- 設定により、マニュアルに記載されていない解像度や周波数を選択できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。必ずマニュアルに記載されている解像度や周波数で使用してください。
- 外部ディスプレイによっては、特定の解像度やリフレッシュレートに設定できないことがあります。

# microHDMIコネクタ／HDMIコネクタ

[021204-28]

- ▶ microHDMIコネクタ／HDMIコネクタへの接続. . . . . 92
- ▶ microHDMIコネクタ／HDMIコネクタ使用時の音声出力について. . . . . 92



## チェック

拡張クレードルに接続している場合、本機のmicroHDMIコネクタからの出力はできなくなります。



## メモ

HDMIコネクタは、本機を拡張クレードルに接続時のみ使用できます。



## 参照

### 拡張クレードルについて

「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

## microHDMIコネクタ／HDMIコネクタへの接続

### 1 本機と接続する外部ディスプレイやテレビの電源を切る

### 2 HDMIケーブルで、microHDMIコネクタ／HDMIコネクタとHDMI規格に対応した外部ディスプレイやテレビなどを接続する



#### 参照

- microHDMIコネクタの位置について  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」
- HDMIコネクタの位置について  
「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

### 3 外部ディスプレイやテレビと、本機の電源を入れる

詳しくは外部ディスプレイやテレビのマニュアルをご覧ください。

以上で外部ディスプレイの接続は完了です。

## microHDMIコネクタ／HDMIコネクタ使用時の音声出力について

microHDMIコネクタ／HDMIコネクタに映像を出力すると、接続したHDMI機器が音声出力に対応している場合には音声を出力することができます。

自動で切り替わる場合もありますが、自動的に音声切り替わらない場合は、次の手順で設定を行ってください。

**1** サウンドデバイスを使用しているすべてのソフトを終了する

**2** 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

**3** 「ハードウェアとサウンド」をクリック

**4** 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

**5** 「再生」タブをクリック

**6** 「Intel SST Audio Device (WDM)」を選択して、「既定値に設定」ボタンをクリック



**チェック**

接続したHDMI機器によっては、「Intel SST Audio Device (WDM)」が付加された複数のデバイスが表示される場合があります。手順7の設定後も本機から音声が出力されてしまうときは、別の「Intel SST Audio Device (WDM)」が付加されたデバイスを選択してください。

**7** 「OK」ボタンをクリック

音声はHDMI経由で出力されるようになります。



**チェック**

microHDMIコネクタ/HDMIコネクタに映像を出力しているときに音声が出力されなくなった場合は、本機を再起動すると改善されることがあります。

# 外部ディスプレイ接続時の表示機能

[021205-28]

外部ディスプレイを接続して使用する場合、本機の液晶ディスプレイ、または接続した外部ディスプレイのみに表示する他、次の表示機能が使用できます。

## デュアルディスプレイ

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイを使用して、ひとつの画面として表示できる機能です。液晶ディスプレイと外部ディスプレイを続き画面として利用できるため、表示できる範囲が広がります。

## クローンモード

本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイで同時表示を行います。表示される内容は同じものですが、選択した解像度によっては本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイが異なる表示状態になる場合があります。



### チェック

接続している外部ディスプレイやプロジェクタによっては、これらの機能の選択時に、画面の解像度が変更される場合があります。その場合は、解像度を設定しなおしてください。



### 参照

**表示先や表示機能の設定について**  
「表示先、表示機能の設定 (P. 95)」

# 表示先、表示機能の設定

[021206-28]

外部ディスプレイなどを接続した場合、次の方法で表示先、表示機能の設定ができます。



## チェック

動画再生のソフトウェアを表示中は、設定の変更を行わないでください。設定の変更を行った場合は、動画再生のソフトウェアを再起動してください。

## 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で設定する



## チェック

- 「拡張デスクトップ」から「クローン・ディスプレイ」へ、または「クローン・ディスプレイ」から「拡張デスクトップ」へ、設定を直接変更できない場合があります。その場合は、一度「シングル・ディスプレイ」に変更してから、「拡張デスクトップ」または「クローン・ディスプレイ」への変更を行ってください。
- デュアルディスプレイ機能は、2つの画面の表示方向が「横（0度）」の場合のみ使用可能です。
- デュアルディスプレイ機能使用時、本機の操作にはUSBマウスが必要です。
- デュアルディスプレイ機能を使用中は、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの交換はできません。一度、本機の液晶ディスプレイのみの表示などに設定を変更してから、プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを設定しなおしてください。

### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

### 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック

### 3 「詳細設定」をクリック

### 4 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」タブをクリックし、「グラフィックス・プロパティ」ボタンをクリック

### 5 「ディスプレイ」をクリック

### 6 左上の「ディスプレイ」をクリックし、表示されたメニューから「マルチ・ディスプレイ」をクリック

### 7 「ディスプレイ・モードの選択」欄で表示したい設定を選択する

選択できる表示先、表示機能の設定は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
----	---------------

シングル・ディスプレイ	「アクティブ・ディスプレイの選択」で選択した1つのディスプレイのみに表示
クローン・ディスプレイ	クローンモード
拡張デスクトップ	デュアルディスプレイ

## 8 「アクティブ・ディスプレイの選択」欄で、使用するディスプレイを選択する

一覧には「内蔵ディスプレイ」「PCモニター」などが表示されます。



### メモ

- 「シングル・ディスプレイ」を選択した場合、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄には、1つのみディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「クローン・ディスプレイ」「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「アクティブ・ディスプレイの選択」欄に、複数のディスプレイを設定できる欄が表示されます。
- 「拡張デスクトップ」を選択した場合は、「ディスプレイの配置」でディスプレイアイコンをドラッグして、位置を調整することが可能です。

## 9 「適用」ボタンをクリック

設定の保存を確認するメッセージが表示されます。

## 10 「はい」ボタンをクリック

## 11 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」を閉じる

## 12 「OK」ボタンをクリック

以上で表示先、表示機能の設定は完了です。

## キーボードで設定を切り替える（デタッチャブルキーボード使用時のみ）

本機では、キーボードで表示先や表示機能の設定を切り替えることができます。設定を切り替えるには、次の方法があります。

### + **[P]** を押す

 + **[P]** を押すと、選択できる表示先、表示機能が画面上に表示されます。**[P]**、**[↑]**、**[↓]** を使って画面の出力先を変更し、**[Enter]** を押すごとに、表示先、表示機能が切り替わります。選択できる表示先、表示機能は次の通りです。

項目	設定される表示先、表示機能
PC 画面のみ／切断	本機の液晶ディスプレイ

複製	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのクローンモード
拡張	本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイでのデュアルディスプレイ
セカンド スクリーンのみ	外部ディスプレイ

# ディスプレイに合わせた設定

[021208-28]

外部ディスプレイ使用時に、表示が適切でない場合やプラグ&プレイに対応していないディスプレイを使用しているときは、次の操作を行ってください。



## チェック

プラグ&プレイに対応したディスプレイを使用しても、ディスプレイの情報が反映されない場合があります。その場合も、次の操作を行ってください。

## お使いのディスプレイにドライバが用意されている場合

ディスプレイのマニュアルをご覧ください。ドライバのインストールを行ってください。

## お使いのディスプレイにドライバが用意されていない場合

次の手順で設定を行ってください。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」の「画面の解像度の調整」をクリック
- 3 外部ディスプレイのモニタアイコンをクリックし、「詳細設定」をクリック
- 4 「モニター」タブをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック
- 5 「ドライバー」タブをクリックし、「ドライバーの更新」ボタンをクリック  
「ドライバー ソフトウェアの更新」が表示されます。
- 6 「コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します」をクリック
- 7 「コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します」をクリック
- 8 「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外す
- 9 「製造元」と「モデル」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」欄で「(標準モニターの種類)」を選択し、「モデル」欄で接続したディスプレイに対応した解像度を選択してください。

**10** 「閉じる」 ボタンをクリック

---

**11** 「閉じる」 ボタンをクリック

---

**12** 「OK」 ボタンをクリック

---

**13** 「OK」 ボタンをクリック

---

以上でディスプレイの設定は完了です。

本機のWebカメラについて説明しています。

▶ Webカメラについて.....	101
-------------------	-----

# Webカメラについて

---

[023602-28]

本機のWebカメラでは、動画・静止面の撮影や、Windowsの「カメラ」アプリとの連携を行えます。



## 参照

### Webカメラの位置について

「各部の名称」 - 「各部の名称と説明 (P. 28)」

## ■ 使用上の注意

本機の画面回転機能で画面の表示方向を切り替えた場合、ご利用になるWebカメラ用ソフトウェアによっては、表示されるWebカメラの映像が正常な方向に回転しない場合があります。

そのような場合には、本体前面のWindowsボタンが画面の下側に見える状態に戻してご使用ください。

# 内蔵フラッシュメモリ

---

[021400-28]

本機の内蔵フラッシュメモリの使用上の注意について説明しています。

▶ 使用上の注意.....	103
---------------	-----

## 使用上の注意

---

[021401-28]

内蔵フラッシュメモリは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- 内蔵フラッシュメモリのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
  - 高熱
  - 落雷
- 内蔵フラッシュメモリが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- 内蔵フラッシュメモリの領域の作成や削除、フォーマットは「コンピューターの管理」の「ディスクの管理」から行います。
- 本機の内蔵フラッシュメモリには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されます。この領域には、システム復旧時に必要なデータなどが格納されています。この領域にあるデータは削除しないでください。
- 64GBの内蔵フラッシュメモリが搭載されているモデルをお使いの場合、大量の写真データや動画などの非常に大きな容量のファイルの保存先には、USBメモリーやmicroSDカードを指定することをおすすめします。内蔵フラッシュメモリの空き容量が少なくなると、動作の不具合などが起きる可能性があります。

# microSDメモリーカードスロット

---

[022700-28]

microSDメモリーカードスロットの使用上の注意や使い方などについて説明しています。

- ▶ 使用上の注意..... 105
- ▶ セットのしかた／取り出し方..... 107

## 使用上の注意

[022701-28]

- Windows上でmicroSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグを行わないでください。各メモリーカード対応機器との互換性や性能などで問題が生じる場合があります。
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所ではmicroSDメモリーカードを使わないでください。
- microSDメモリーカードの取り扱いについては、それぞれのmicroSDメモリーカード製品に添付のマニュアルや取扱説明などの指示に従ってください。
- 本機やmicroSDメモリーカードの不具合により、音楽データの録音ができなかったり、データの破損、消去が起きた場合、データの内容の補償はいたしかねます。
- お客様が画像、音楽、データなどを記録（録画・録音などを含む）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 大切なファイルはコピーして、バックアップを取ることをおすすめします。
- 本機の内蔵フラッシュメモリ以外からmicroSDメモリーカードにデータを保存する場合は、一度、本機の内蔵フラッシュメモリにデータを保存し、そこからmicroSDメモリーカードにデータを保存してください。
- データの保存中にスリープ/休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- 本機がスリープ/休止状態にあるときは、メモリーカードを抜き挿ししないでください。また、スリープ/休止状態から復帰する際は、Windowsのサインイン画面またはデスクトップが表示されるまでメモリーカードを抜き挿ししないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になる場合があります。
- すべてのmicroSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- さまざまな規格のメディアがありますので、本機のmicroSDメモリーカードスロットで使えるメディアかどうかや、メディアの使用方法をお確かめになり、お使いください。
- メモリーカードの端子面が汚れていると、メモリーカードを認識しなかったり、データの読み込み、書き出しができないことがあります。端子面が汚れた場合は、メモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードにデータを保存中、または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。

### microSDメモリーカードを使用するときの注意

- microSDメモリーカードは、標準フォーマットとして、それぞれ「microSDメモリーカード」規格、「microSDHCメモリーカード」規格、「microSDXCメモリーカード」規格に準拠したフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。フォーマットが必要な場合は、デジタルカメラなどのmicroSDメモリーカード対応機器か、SD規格対応フォーマット機能を搭載したアプリなどでフォーマットを行ってください。デジタルカメラなどでのフォーマット方法については、ご使用の機器などに添付のマニュアルをご覧ください。
- 本機では、2Gバイトまでの「microSDメモリーカード」、32Gバイトまでの「microSDHCメモリーカード」および128Gバイトまでの「microSDXCメモリーカード」で動作確認を行っています。2Gバイトを超える容量の「microSDメモリーカード」、32Gバイトを超える容量の「microSDHCメモリーカード」および128Gバイトを超える容量の「microSDXCメモリーカード」での動作は保証しておりません。
- 本機では、「マルチメディアカード（MMC）」には対応していません。
- 本機は、SDIOには対応していません。
- 裏面に通電性（電気を通す性質）がある金属が使用されているmicroSDメモリーカードや変換アダプタは使用しないでください。本機内部のコネクタと接触し本機やメモリーカードの故障の原因になる場合がありますので、ご注意ください。

## microSDメモリーカードスロットを制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、microSDメモリーカードスロットの有効／無効を設定して、使用を制限することができます。

また、添付のDeviceLockで、microSDメモリーカードスロットへの読み込みや書き込みを制限することができます。



### 参照

- **I/O制限について**  
「セキュリティ機能」の「[I/O制限 \(P. 184\)](#)」
- **DeviceLockについて**  
「セキュリティ機能」の「[DeviceLock Lite \(P. 197\)](#)」

## セットのしかた

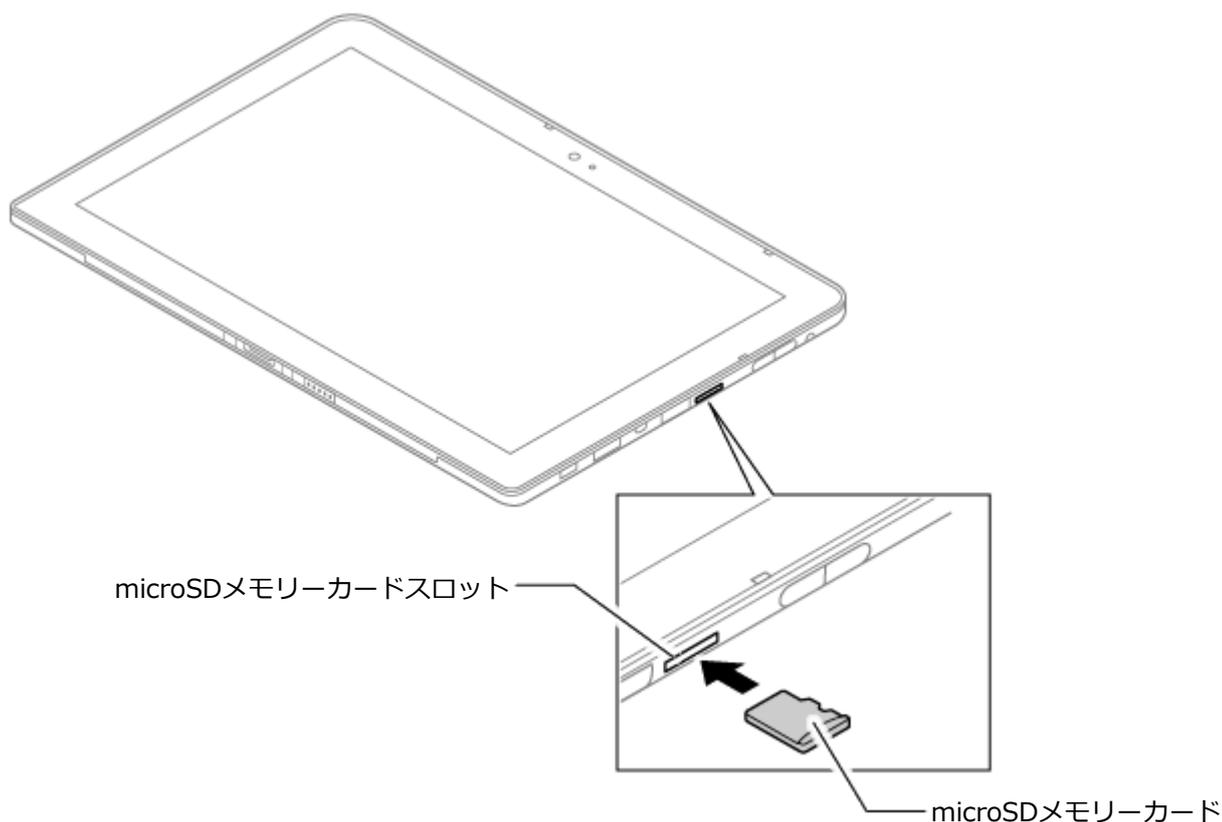


### チェック

- ダミーカードがセットされている場合は、セットをする前に「取り出し方」をご覧ください。ダミーカードを取り出してください。
- microSDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理やり差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、microSDメモリーカードに添付のマニュアルをご覧ください。

## 1 microSDメモリーカードを向きに注意して、microSDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。



### チェック

左側にあるスロットへ挿入しないようにしてください。破損の原因となります。

## 取り外し方

**1** タスクバーの通知領域の  をクリックし、 または  をクリック

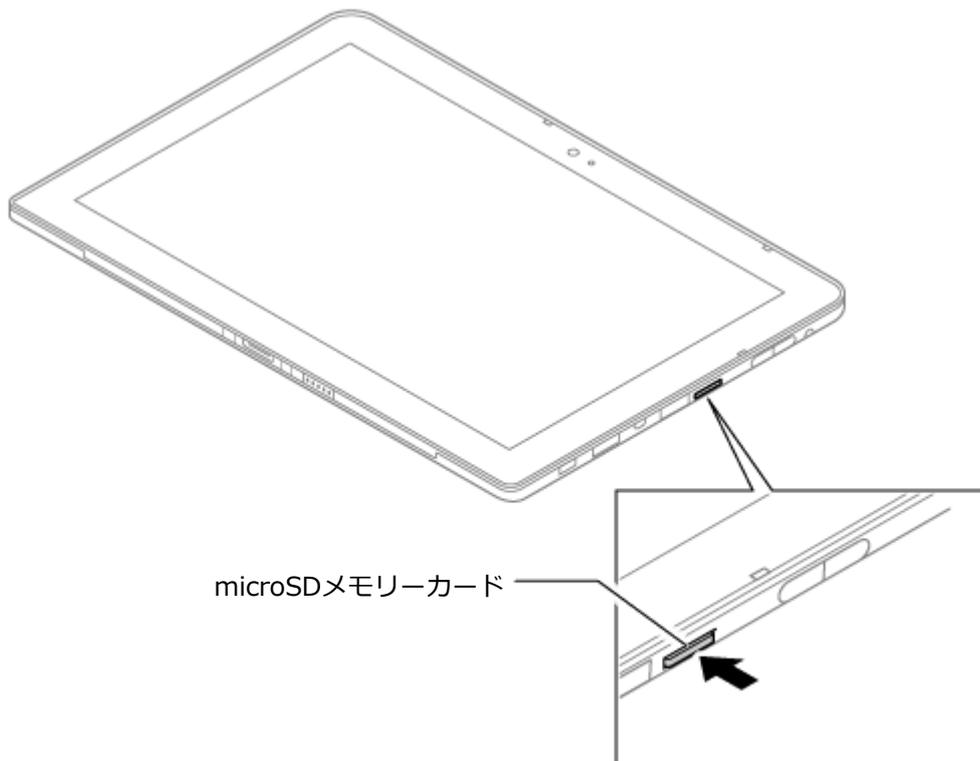
**2** 表示される「××××の取り出し」から、取り外す周辺機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示される「××××の取り出し」に取り外す周辺機器がない場合は手順3に進んでください

**3** microSDメモリーカードを押す

microSDメモリーカードが飛び出します。



**4** microSDメモリーカードを水平に引き抜く

本機の音量の調節について説明しています。

▶ 音量の調節.....	110
▶ マイクの設定.....	112

## 音量ミキサーを使う

Windowsの「音量ミキサー」で音量を調節することができます。

**1** タスク バーの通知領域の  (音量) をクリック

**2** 表示されたウィンドウから「ミキサー」をクリック

「音量ミキサー」が表示されます。

**3** 調節したいデバイスやアプリケーションのスライドで音量を調節する



参照

音量ミキサーについて  
Windowsのヘルプ

## 音量調整ボタンで調節する

+を押すと音量を大きく、-を押すと音量を小さく調節することができます。

## キーボードで調節する (デタッチャブルキーボード使用時のみ)

【Fn】 + 【F3】 を押すと音量を大きく、【Fn】 + 【F2】 を押すと音量を小さく調節することができます。

## 音声のオン/オフ (ミュート機能)

【Fn】 + 【F1】 を押すと、音声のオン/オフを切り替えることができます。



参照

【Fn】 について  
「キーボード」の「キーの使い方 (P. 75)」

## 録音音量の調節

本機で録音音量を調節する場合は次の手順で行ってください。

**1** タスク バーの通知領域の  (音量) を右クリックし、表示されたメニューから「録音デバイス」をクリック

「サウンド」が表示されます。

ヘッドホンマイクなどの録音機器を使用する場合は、接続してください。

## 2 使用する録音デバイスをクリックし、「プロパティ」ボタンをクリック



### チェック

- 使用する録音デバイスが表示されていない場合は「次のオーディオ録音デバイスがインストールされています」の枠内を右クリックし、「無効なデバイスの表示」にチェックを入れ、表示されたデバイスを有効にしてください。
- 録音デバイスが複数ある場合は、使用するデバイスをクリックし、「既定値に設定」ボタンをクリックしてください。

## 3 「レベル」タブをクリックし、表示される画面で録音音量を調節する

## 4 「OK」ボタンをクリック

## 5 「OK」ボタンをクリック



### チェック

「マイクのプロパティ」の「聴く」タブで「このデバイスを聴く」にチェックを入れないでください。チェックを入れると、常時ハウリングが発生します。

## ヘッドホンマイクのオン/オフ

【Fn】 + 【F4】 を押すと、ヘッドホンマイクのオン/オフを切り替えることができます。



### 参照

#### 【Fn】について

「キーボード」の「キーの使い方 (P. 75)」

## ■ 「Realtek オーディオマネージャ」で設定する

「Realtek オーディオマネージャ」でマイクの設定を行うことができます。マイクの設定では、音響エコーキャンセル、ボイストラッキング、音声認識、遠距離音場での音声収録、ノイズ抑制の設定などが行えます。マイクの設定は、次の手順で行ってください。

**1** アプリ画面 (P. 10)を開き、アプリの一覧で「Realtek Audio Manager」をクリック

---

**2** 「音声録音」をクリック

---

**3** 設定する機能ををクリック

---

**4** 右上の×ボタンをクリックして、設定画面を閉じる

---

以上でマイクの設定は完了です。

本機のLAN（ローカルエリアネットワーク）機能を使用する際の注意や設定などについて説明しています。

➤ 本機を安全にネットワークに接続するために.....	114
➤ 使用上の注意.....	116
➤ LANへの接続.....	117
➤ LAN機能の設定.....	120
➤ ネットワークブート機能（PXE機能）.....	122

# 本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



## チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



## メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクションセンター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

## セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 236)」

## ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

## Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



### チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

## 使用上の注意

[021802-28]

LANに接続して本機を使用するときは、次の点に注意してください。

- システム運用中は、LANケーブルを外さないでください。ネットワークが切断されます。ネットワーク接続中にLANケーブルが外れたときは、すぐに接続することで復旧し、使用できる場合もありますが、使用できない場合は、Windows を再起動してください。
- LAN回線を接続してネットワーク通信をする場合は、本機にACアダプタを接続して使用するようにしてください。バッテリーのみで使用すると、使用時間が短くなります。
- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ネットワークの通信中にはスリープ状態または休止状態にしないでください。
- ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。  
あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認のうえ、スリープ状態または休止状態を使用してください。
- 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tシステムの保守については、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

### ユニバーサル管理アドレスについて

ユニバーサル管理アドレスは、IEEE（米国電気電子技術者協会）で管理されているアドレスで、主に他のネットワークに接続するときなどに使用します。次のコマンドを入力することで、LANまたは無線LANのユニバーサル管理アドレスを確認することができます。

コマンド プロンプトで次のいずれかのコマンドを入力し、【Enter】を押してください。

コマンド	確認方法
net config workstation	アダプタがアクティブな場合、「アクティブなネットワーク（ワークステーション）」という項目の（ ）内に表示されます。
ipconfig /all	アダプタごとに「物理アドレス」として表示されます。

## LANの設置

初めてネットワークシステムを設置するためには、配線工事などが必要ですので、ご購入元または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。また、本機に接続するケーブル類やハブなどは、当社製品を使用してください。他社製品を使用し、システムに異常が発生した場合の責任は負いかねますので、ご了承ください。

## 接続方法

本機を有線ネットワークに接続するには、ご購入時に選択した場合に添付されるUSB-LAN変換アダプタ（または拡張クレードル）と別売のLANケーブルが必要です。LANケーブルは、10BASE-Tで接続するにはカテゴリ3以上、100BASE-TXで接続するにはカテゴリ5以上、1000BASE-Tで接続するにはエンハンストカテゴリ5以上のLANケーブルを使用してください。また、ネットワーク側のコネクタに空きがない場合、ハブやスイッチでコネクタを増やす必要があります。LANケーブルの接続は次の手順で行います。



### チェック

- USB-LAN変換アダプタや拡張クレードルは、ご購入時に選択した場合に添付されますが、別途購入することもできます。
- USB-LAN変換アダプタは、本機のUSBポートに直接接続してください。USBハブでは使用できません。
- 本機を稼働中のLANに接続するには、システム管理者またはネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定とLANケーブルの接続を行ってください。
- 搭載されているLANアダプタは、接続先の機器との通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）を自動検出して最適な通信モードで接続するオートネゴシエーション機能をサポートしています。なお、セットアップが完了したときに、オートネゴシエーション機能は有効に設定されています。接続先の機器がオートネゴシエーション機能をサポートしていない場合は、「ネットワークのプロパティ」で通信モードを接続先の機器の設定に合わせるか、接続先の機器の通信モードを半二重に設定してください。
- オートネゴシエーションのみサポートしているネットワーク機器でリンク速度を固定して接続する場合、「速度とデュプレックス/スピードと二重」の設定は「ハーフデュプレックス/半二重」に設定してください。「フルデュプレックス/全二重」に設定すると、通信速度が異常に遅かったり、通信ができないなどの問題が発生します。

## USB-LAN変換アダプタを使用する

1

本機の電源を切る

2

本機のUSBコネクタにUSB-LAN変換アダプタを接続する



### チェック

USB-LAN変換アダプタは、USBコネクタにしっかりと取り付けてください。



参照

### USBコネクタの位置

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」

## 3 LANケーブルをUSB-LAN変換アダプタに接続する



チェック

LANケーブルは、USB-LAN変換アダプタにしっかりと取り付けてください。

## 4 ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

## 5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

## 拡張クレードルを使用する

## 1 本機の電源を切る

## 2 本機を拡張クレードルに接続する



チェック

拡張クレードルにACアダプタを取り付けてACコンセントに接続した状態で使用してください。



参照

### 拡張クレードルについて

「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

## 3 LANケーブルを拡張クレードルのLANコネクタに接続する



チェック

LANケーブルは、拡張クレードルのLANコネクタにしっかりと取り付けてください。

## 4 ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続する

## 5 本機の電源を入れる

ネットワーク側の接続や設定については、接続するネットワーク側の機器のマニュアルをご覧ください。

ここでは、LANに接続するために必要なネットワークのセットアップ方法を簡単に説明します。



## 参照

### 必要な構成要素の詳細について

Windowsのヘルプの中にあるネットワーク関連の項目

## ネットワーク接続のセットアップ



## チェック

工場出荷時は、ネットワークプロトコル（TCP/IP）が設定されています。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック
- 3 左のメニューから「アダプターの設定の変更」をクリック
- 4 「イーサネット」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック
- 5 「ネットワーク」タブで必要な構成要素の設定をする



## メモ

必要な構成要素がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

- 6 「OK」ボタンをクリック
- 7  をクリック
- 8  をクリック

以上でネットワーク接続のセットアップは完了です。  
続いて、コンピュータ名などの設定を行います。

## 接続するネットワークとコンピュータ名の設定

接続するネットワークに関する設定と、ネットワークで表示されるコンピュータ名を設定します。

**1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する**

**2 「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリック**

**3 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」欄の「設定の変更」をクリック**

**4 「コンピューター名」タブの「変更」ボタンをクリック**

**5 「コンピューター名」、「ワークグループ」または「ドメイン」に必要な情報を入力する**



メモ

入力する情報がわからない場合は、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

**6 「OK」ボタンをクリック**

「ワークグループ」を変更した場合は「xxx (xxxは設定したワークグループ名) ワークグループへようこそ。」と表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

確認のメッセージが表示されます。

**7 「OK」ボタンをクリック**

**8 「閉じる」ボタンをクリック**

**9 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「今すぐ再起動する」ボタンをクリック**

本機が再起動します。

以上でLANの設定は完了です。

# ネットワークブート機能（PXE機能）

[021806-28]

ネットワークから起動して管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- OSインストール
- BIOSフラッシュ（BIOS ROMの書き換え）
- BIOS設定変更



## チェック

お使いのパソコンはUEFI機能をもつため、ネットワークブートを行う場合はネットワークブート用のサーバをUEFI用に変更する必要があります。

ネットワークブートを使用する場合は、BIOSセットアップユーティリティで設定を行ってください。

## 1 電源を入れ、すぐに音量調整ボタン（+）を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



## チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに音量調整ボタン（+）を数回押してください。



## 参照

### BIOSセットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」

## 2 「Startup」メニューの「Boot」で、「Network Adapter」をドラッグして一番上にする

## 3 「Restart」メニューの「Exit Saving Changes」をタップする

確認の画面が表示されます。

## 4 「Yes」をタップする

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上でネットワークブートを使用するための設定は完了です。

本機の無線LAN機能の概要について説明しています。

➤ 概要. . . . .	124
➤ 本機を安全にネットワークに接続するために. . . . .	126
➤ 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. . . . .	128
➤ 使用上の注意. . . . .	130
➤ 無線LAN機能のオン/オフ. . . . .	132
➤ 無線LANの設定と接続. . . . .	134
➤ 無線LANに関する用語一覧. . . . .	140

## 無線LAN機能でできること

無線LAN機能を使用することで、次のようなことができます。

### 無線LAN対応周辺機器との無線接続

本機と無線LANに対応した別売の周辺機器を使用すると、ケーブルで接続せずにLANを利用できます。例えば、無線LANに対応したルータやターミナルアダプタなどを利用してインターネットに接続できます。

### 他の無線LAN対応コンピュータとの無線通信

本機と無線LANに対応した他のコンピュータとの間で、ケーブル接続やメモリーカードなどの媒体を使用せずに、ファイルのコピーなどが行えます。



#### チェック

- 無線LAN機能は、周囲にあるIEEE802.11a (5GHz)、IEEE802.11b (2.4GHz)、IEEE802.11g (2.4GHz)、IEEE802.11n (2.4/5GHz) に対応した無線LAN機器を検出し、このうち1台を選択して接続できます。
- 40MHz、80MHzの帯域幅を利用した無線LAN通信を行うには、接続先の無線LAN機器もそれらの帯域幅に対応している必要があります。
- IEEE802.11n (2.4/5GHz) 規格による無線通信を行う際は、暗号化方式をAESに設定してください。それ以外の方式に設定した場合、これらの規格が利用できません。
- WPA - エンタープライズ、WPA2 - エンタープライズまたは認証機能 (IEEE802.1X) を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

## 無線LAN機能使用上の注意

- 通信速度・通信距離は、無線LAN対応機器や電波環境・障害物・設置環境などの周囲条件によって異なります。
- 電波の性質上、通信距離が離れるに従って通信速度が低下する傾向があります。より快適にお使いいただくために、無線LAN対応機器同士は近い距離で使用することをおすすめします。
- 2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）を同時に使用した場合、2.4GHz無線LAN対応機器の通信速度、通信距離が低下する場合があります。2.4GHz無線LAN対応機器と2.4GHz周波数帯を利用する機器（電子レンジなど）は離して使用することをおすすめします。
- Bluetooth機能と無線LAN機能を同時に使用した場合、それぞれの通信速度や通信距離が低下する場合があります。
- 2.4GHz無線LAN対応機器とBluetooth機器など、同じ周波数帯を利用する機器を同時に使用した場合、それぞれの機器の通信速度や通信距離が低下する場合があります。同じ周波数帯を利用する機器はいずれかをオフにするか、離して使用することをおすすめします。
- ネットワークへの接続には、別売の無線LANアクセスポイントなどが必要です。
- 医療機関で使用する場合には、医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか無線LAN機能をオフにしてください。

- スリープ状態または休止状態では、ネットワーク機能がいったん停止しますので、ファイルコピーなどの通信動作が終了してからスリープ状態または休止状態にしてください。また、使用するアプリケーションによっては、スリープ状態または休止状態から復帰した際にデータが失われることがあります。ネットワークを使用するアプリケーションを使う場合には、あらかじめお使いのアプリケーションについてシステム管理者に確認の上、スリープ状態または休止状態を使用してください。



#### 参照

無線LAN機能のオン/オフについて  
「無線LAN機能のオン/オフ (P. 132)」

## 無線LAN対応製品との接続

### 無線LAN対応製品

本製品と接続できる無線LAN対応製品には、無線LAN内蔵コンピュータ、無線LANアクセスポイント、無線LAN周辺機器などがあります。

無線LAN機器同士の接続互換性については、業界団体Wi-Fi Alliance による「Wi-Fi®」認定を取得している、同じ規格の製品をご購入されることをおすすめします。

# 本機を安全にネットワークに接続するために

[021801-28]

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。

本機のLAN機能や無線LAN機能を使用して、安全にネットワークに接続するために、次の対策を行うことを強くおすすめします。



## チェック

稼働中のネットワークに接続する場合は、接続先のネットワークの管理者の指示に従って接続を行ってください。



## メモ

Windowsのセキュリティ機能（アクションセンター）では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネットセキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定などの、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

## セキュリティ対策アプリケーションの利用

コンピュータウイルスから本機を守るために、セキュリティ対策アプリケーションをインストールすることをおすすめします。

本機を利用する環境で、使用するセキュリティ対策アプリケーションが定められている場合は、そのアプリケーションを使用してください。

また、本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーションとしてマカフィー リブセーフが添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 236)」

## ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスによっては、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されています。このようなコンピュータウイルスから本機を守るためにファイアウォール（パーソナルファイアウォール）を利用することをおすすめします。

本機を利用する環境で、ファイアウォールの利用についての規則などがある場合は、そちらの規則に従ってください。また、本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

## Windows® Update、またはMicrosoft® Update

最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。

Windowsを最新の状態に保つため、ネットワークに接続後、定期的にWindows® Update、またはMicrosoft® Updateを実施してください。



### チェック

- PCの安定動作およびセキュリティ向上のため、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを可能な限りOSのセットアップ直後に実施してください。アップデートの前にInternet Explorerのダウングレードなど、必要な作業項目がある場合は、各手順に従って対応してください。
- 本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

# 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

[021902-28]

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータ等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

## ● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者によって、電波を故意に傍受され、

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

## ● 不正に侵入される

悪意ある第三者によって、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

## ■ 本機で設定できるセキュリティ

### 盗聴（傍受）を防ぐ

WEP機能を使用して暗号キーを設定すると、同じ暗号キーを使用している通信機器間の無線LAN通信データを暗号化できるので、通信の盗聴や、関係のないコンピュータや機器からの接続を防ぐことができます。WEP機能には64bitWEP対応、128bitWEP対応、152bitWEP対応のものがあり、本機の無線LAN機能は、64bitWEPと128bitWEPに対応しています。ただし、暗号キーを設定していても、暗号キー自体を第三者に知られたり、暗号解読技術によって暗号を解読されたりする可能性があるため、設定した暗号キーは定期的に変更することをおすすめします。



### チェック

WEP機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器もWEP機能に対応している必要があります。

## 不正アクセスを防ぐ

- 無線LANアクセスポイントに任意のネットワーク名（SSID）を設定することで、同じSSIDを設定していない通信機器からの接続を回避できます。ただし、同じSSIDを設定していない機器でも、そのネットワークがどんなSSIDを使用しているかは検出できてしまうため、SSIDを設定しただけではセキュリティを保てません。これを回避するには、無線LANアクセスポイント側でSSIDを通知しないようにSSIDの隠ぺいの設定をする必要があります。
- 接続するコンピュータなどのMACアドレス（ネットワークカードが持っている固有の番号）を無線LANアクセスポイントに登録することで、登録した機器以外は無線LANアクセスポイントに接続できなくなります（MACアドレスフィルタリング）。

## より高度なセキュリティ設定を行う

Wi-Fi Allianceが提唱するWPA（Wi-Fi Protected Access）やWPA2機能を利用します。IEEE802.1X/EAP（Extensible Authentication Protocol）規格によるユーザー認証、WEP機能に比べて大幅に暗号解読が困難とされる暗号化方式TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）やAES（Advanced Encryption Standard）を使用することで、より高度なセキュリティ設定が行えます。



### チェック

WPA機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA機能をサポートしている必要があります。WPA2機能を利用するには、接続する無線LAN対応機器とネットワーク環境がWPA2機能をサポートしている必要があります。

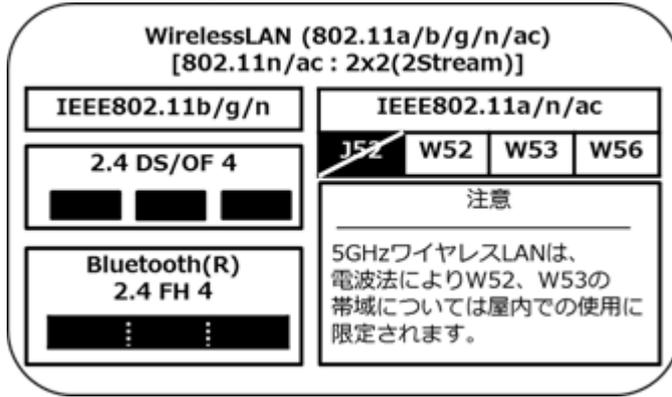
## 使用上の注意

[021903-28]

- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式とOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 本製品には、5GHz帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
  - W52 : Ch36 (5180MHz) ,Ch40 (5200MHz) ,Ch44 (5220MHz) ,Ch48 (5240MHz)
  - W53 : Ch52 (5260MHz) ,Ch56 (5280MHz) ,Ch60 (5300MHz) ,Ch64 (5320MHz)
  - W56 : Ch100 (5500MHz) ,Ch104 (5520MHz) ,Ch108 (5540MHz) ,Ch112 (5560MHz) ,Ch116 (5580MHz) ,Ch120 (5600MHz) ,Ch124 (5620MHz) ,Ch128 (5640MHz) ,Ch132 (5660MHz) ,Ch136 (5680MHz) ,Ch140 (5700MHz)
- W52、W53無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。  
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。  
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。  
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

## ■ ワイヤレス注意ラベル（本体底面）

- IEEE802.11a/b/g/n/acに対応していて、かつBluetoothにも対応している場合



# 無線LAN機能のオン/オフ

[021904-28]

無線LAN機能のオン/オフを切り替えるには、次の方法があります。

- すべてのワイヤレス デバイスを切り替える. . . . . 132
- 無線LAN機能のみを切り替える. . . . . 133



## メモ

- オン/オフの設定は、電源を切った後も保存されます。
- 外付け接続した無線LANモジュールの無線LAN機能のオン/オフにも対応します。



## チェック

- 無線LAN機能のオン/オフを行う場合は、切り替えが完了したのを確認してから行うようにしてください。
- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能をオフにすることをおすすめします。
- BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスそのものを無効にしている場合、これらの方法で無線LAN機能を有効にすることはできません。BIOSセットアップユーティリティでワイヤレスデバイスを有効に設定してから操作を行ってください。
- 無線LAN機能のオン/オフは、次の手順で確認できます。

**1** タスク バーの通知領域のネットワークアイコン (  ) をクリック

**2** 「Wi-Fi」を確認する



## 参照

BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について  
『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」 および「設定項目一覧」

## すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

無線LAN機能を含むすべてのワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。

## 「機内モード」で切り替える

Windows標準の機能を使って、ワイヤレス機能のオン/オフを切り替えることができます。



## チェック

機内モード中でも、無線LAN機能を個別にオンにしておくことができます。

### ●ワイヤレス機能をオフにする場合

1 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオンにする

### ●ワイヤレス機能をオンにする場合

1 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「機内モード」をオフにする

## 無線LAN機能のみを切り替える

無線LAN機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

### 無線LAN機能のみを切り替える

Windows標準の機能を使って、無線LAN機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

### ●無線LAN機能をオフにする場合

1 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」をオフにする

### ●無線LAN機能をオンにする場合

1 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン () をクリック

2 「Wi-Fi」をオンにする

# 無線LANの設定と接続

[021905-28]

➤ 無線LANの設定をする.....	134
➤ セキュリティとデータの暗号化について.....	137
➤ 設定済みの接続先に接続する.....	138
➤ 接続を切断する.....	139



## メモ

- セキュリティ設定や周囲の無線環境によっては、接続までに時間がかかる場合や、通信速度が低下する場合があります。
- WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線LANアクセスポイントと接続する場合、PINの入力や、ルーターのボタンを押すことを要求する画面が表示されることがあります。  
これらの操作でも無線LANアクセスポイントと接続できますが、機器の組み合わせによっては接続に失敗することもありますので、その場合はセキュリティ キーを入力して接続を行ってください。
- WPSで接続する場合は、セキュリティが自動的に設定されます。  
設定されたセキュリティについては、無線LANアクセスポイントの設定画面かマニュアルなどで確認してください。
- PINの記載箇所については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- 「電源の管理」タブの設定は変更しないでください。
- IEEE802.11n規格による無線LAN通信を行う場合、工場出荷時の設定では、2.4GHz帯は40MHz幅で接続されます。
- 無線LANユーティリティを使用することで、Windows標準の無線LAN機能でサポートしていない認証機能 (LEAPなど) をご利用いただけます。  
無線LANユーティリティは、NECの「ビジネスPC」サイト (<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>) より提供予定です。次の手順でダウンロードしてください。

**1** NECの「ビジネスPC」サイト (<http://jpn.nec.com/products/bizpc/>) で「サポート情報 (ダウンロード)」をクリック

**2** 「ご使用中のお客様」欄の「ドライバ・ソフトウェア」をクリック  
「モジュール、ドライバ」欄で該当するユーティリティをダウンロードしてください。

## 無線LANの設定をする

接続する機器によって、設定手順が異なります。お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

### ネットワーク名 (SSID) を通知する無線LANアクセスポイントに接続する場合

**1** 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください、無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



#### 参照

無線LAN機能のオン/オフについて  
「無線LAN機能のオン/オフ (P. 132)」

## 2 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン ( ) をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



#### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

## 3 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



#### チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「ネットワーク名 (SSID) を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合 (P. 136)」の手順で設定を行ってください。

## 4 「自動的に接続する」にチェックが付いていることを確認して、「接続」ボタンをクリック



#### メモ

自動的に接続する設定は、後から変更できます。

## 5 「セキュリティ キー」の入力を要求する画面が表示された場合は、接続先に設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力して、「次へ」ボタンをクリック

これ以降は画面の指示に従って操作してください。



#### チェック

「閉じる」ボタンが表示された場合は、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

これで設定は完了です。

## ネットワーク名（SSID）を通知しない無線LANアクセスポイントに接続する場合

### 1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



#### 参照

無線LAN機能のオン/オフについて

「無線LAN機能のオン/オフ (P. 132)」

### 2 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

### 3 「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリック

### 4 「ネットワーク設定の変更」欄の「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

### 5 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ワイヤレス ネットワークの情報を入力する画面が表示されます。

### 6 「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを付ける

### 7 接続先の無線LANアクセスポイントにあわせて設定を行う

- 「ネットワーク名」  
接続先の無線LANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）を入力します。
- 「セキュリティの種類」、 「暗号化の種類」  
接続先の無線LANアクセスポイントの設定にあわせて選択します。  
セキュリティと暗号化の種類については、「セキュリティとデータの暗号化について (P. 137)」をご覧ください。
- 「セキュリティ キー」  
接続先の無線LANアクセスポイントに設定されているものと同じネットワーク セキュリティ キーを入力します。
- 「この接続を自動的に開始します」  
チェックを付けると、接続先が通信可能範囲にある場合、自動で接続するように設定されます。

### 8 「次へ」ボタンをクリック

### 9 「正常に <ネットワーク名 (SSID) > を追加しました」と表示されたら、次の手順を行う

- 設定を変更しない場合  
手順10に進んでください。

## ● 設定を変更する場合

「接続の設定を変更します」をクリックし、表示される画面で設定を行ってください。  
設定が完了したら「OK」ボタンをクリックし、手順10へ進んでください。



### チェック

接続先の無線LANアクセスポイントにWEPキーが設定されており、暗号化キー番号（キーインデックス）が「1」以外に設定されている場合は、ここで設定を変更する必要があります。「接続の設定を変更します」をクリックし、「セキュリティ」タブの「キー インデックス」で設定を行ってください。

## 10 「閉じる」ボタンをクリック

これで設定は完了です。

手順7で「この接続を自動的に開始します」にチェックを付けなかった場合は、「[設定済みの接続先に接続する \(P. 138\)](#)」をご覧ください、手動で接続を行ってください。

## セキュリティとデータの暗号化について

セキュリティと暗号化の方式は、無線LANアクセスポイントの設定にあわせる必要があります。  
本機の無線LAN機能で設定できる、セキュリティと暗号化の方式は次の通りです。

### 選択できるセキュリティと暗号化の方式

セキュリティの種類	暗号化の種類
認証なし（オープン システム）	なし、WEP
WPA2 - パーソナル	TKIP、AES
WPA - パーソナル	
WPA2 - エンタープライズ	
WPA - エンタープライズ	
802.1X	WEP



### メモ

- セキュリティは設定することを強く推奨します。セキュリティの設定を行わない場合は、「[無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 \(P. 128\)](#)」の内容をご確認の上、使用してください。
- WPA2 - エンタープライズ、WPA - エンタープライズ、および認証機能（IEEE802.1X）を使用した接続を行う場合は、各項目の設定内容をネットワークの管理者にお問い合わせください。

## ネットワーク セキュリティ キー

データの暗号化を行う場合、ネットワーク セキュリティ キーを設定します。

ネットワーク セキュリティ キーは、通信を行う無線LANアクセスポイントと同じ設定にします。

暗号化の方式と、ネットワークセキュリティキーとして使用できる文字種と文字数は以下の通りです。

### ●WEPの場合

キーの長さが高い (bit数が大きい) ほど、通信内容の解読がされにくくなり、安全性が高くなります。

入力形式	長さ	キーに使用する文字	説明
ASCIIテキスト	64bit	半角英数字で5文字	相手の機器が64bit暗号キーに対応している場合に使えます。64bitのうち40bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数 (0~9、A~Fの半角英数字) で10文字	
ASCIIテキスト	128bit	半角英数字で13文字	相手の機器が128bit暗号キーに対応している場合に使えます。128bitのうち104bitをユーザーが指定し、24bitはシステムが設定します。
16進数		16進数 (0~9、A~Fの半角英数字) で26文字	

### ●WPA - パーソナル (TKIP、AES) またはWPA2 - パーソナル (TKIP、AES) の場合

入力されたネットワークセキュリティキーを元にして、一定時間ごとにキー自体が自動更新されるため、WEPよりも安全性が高くなります。

入力形式	キーに使用する文字
ASCIIテキスト	半角英数字で8文字以上63文字以下
16進数	16進数 (0~9、A~Fの半角英数字) で64文字



#### チェック

WPA - パーソナルやWPA2 - パーソナルによる暗号化を使用するには、接続する相手の機器も同じセキュリティ機能に対応している必要があります。

## ■設定済みの接続先に接続する

設定済みの接続先に接続するには、次の手順で行います。

### 1 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

「無線LAN機能のオン/オフ」をご覧ください。無線LAN機能がオフになっている場合は、無線LAN機能をオンにしてください。



#### 参照

無線LAN機能のオン/オフについて  
「無線LAN機能のオン/オフ (P. 132)」

### 2 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン (📶) をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

## 3 接続先をクリックし、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

## 接続を切断する

接続中のネットワーク接続を切断するには、次の手順で行います。

### 1 タスク バーの通知領域のネットワークアイコン ( ) をクリック

ネットワーク名 (SSID) と信号状態の一覧が表示されます。



### チェック

表示されるアイコンは、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

## 2 切断する接続先をクリックし、「切断」ボタンをクリック



### メモ

現在接続中の接続先には「接続済み」と表示されています。



### チェック

接続の状態の表示は、接続しているネットワークや接続状況により変化します。

以上で切断は完了です。

# 無線LANに関する用語一覧

[021913-28]

ここでは無線LANに関する用語について説明します。無線LANの設定をするときにご覧になると便利です。

用語	説明
<b>AES</b>	Advanced Encryption Standardの略。 米国政府内での情報処理用に採用された「次世代標準暗号化方式」のこと。規定の基準（暗号強度、処理速度など）を満足しており、その仕様も公開されていることから、広い分野での利用が行われている。IEEE802.11iの暗号化方式の1つに採用されている。
<b>ANYプローブ応答禁止</b>	SSIDの問い合わせを拒否する設定。
<b>ANY接続拒否</b>	SSIDを「ANY」にセットした無線LAN端末もしくはSSIDに任意の文字列を入れた端末からの接続を拒否する設定。
<b>EAP</b>	Extensible Authentication Protocolの略。 任意の認証機能を用いるための仕様。ダイヤルアップで用いられるPPP（Point-to-Point Protocol）の拡張として開発された。 ユーザー名・パスワード以外にもスマートカード（ICカード）やデジタル証明書などさまざまな認証方式をサポートできる。EAP-TLS、EAP-TTLSなどがある。
<b>EAP-TLS</b>	Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、利用にはクライアント証明書とサーバ証明書が必要となる。
<b>EAP-TTLS</b>	Tunneled Transport Layer Security の略。 EAP方式の認証プロトコルの1つで、EAP-TLSとは異なり、クライアント証明書は必要とせず、代わりにユーザー名・パスワードが用いられる。
<b>IEEE802.11a</b>	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
<b>IEEE802.11b</b>	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大11Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
<b>IEEE802.11g</b>	IEEEが標準化した2.4GHz帯の電波を使い最大54Mbpsの転送速度の無線LANの物理層の規格。
<b>IEEE802.11i</b>	IEEEが標準化を進めている「無線LAN用セキュリティ規格」認証方式や暗号化方式、暗号化キーの取り扱いなどについて規定している。
<b>IEEE802.11n</b>	IEEEが標準化した2.4GHz、5GHz帯のいずれかの電波を使い最大600Mbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
<b>IEEE802.11ac</b>	IEEEが標準化した5GHz帯の電波を使い最大6.93Gbps（理論値）の転送速度の無線LANの物理層の規格。
<b>IEEE802.1X</b>	無線LAN上で認証と動的なキーの生成と配送を行う仕組み。 IEEE標準。有線LANでポートアクセス管理を行うためにも用いられる。EAPとRADIUSを用いる。

<b>MACアドレスフィルタリング</b>	無線LAN端末固有のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに設定することで、無線LAN端末を無線LANアクセスポイントに接続するかどうかを制御するセキュリティ方式。													
<b>PSK</b>	Pre-Shared Keyの略。 暗号化キーを生成するために用いられる共有（秘密）鍵のこと。この鍵を用いて直接暗号化を行うものではなく、暗号鍵を生成するためのものであることから“事前共有鍵”と呼ばれる。PSKとは、事前共有鍵を用いる認証方式を表す場合がある。													
<b>RADIUS</b>	Remote Authentication Dial-in User Serviceの略。 ネットワークアクセス全般に対する認証、アクセス承認、課金管理を行うプロトコル。													
<b>SSID</b>	Service Set Identifierの略。 無線LANを構成する無線LANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のこと。無線LANをグループ化するために用いられる。 無線LANアクセスポイントと端末に同じSSIDが設定されていないと通信できない。無線LANアクセスポイントを中心とした1つのグループであるBSS（Basic Service Set）が、802.11による無線LANのインフラストラクチャ通信の最小単位となるが、複数の無線LANアクセスポイントにまたがった際のローミングを考慮し、BSSを複数束ねたESS（Extended Service Set）が定義されている。このため、SSIDはESSIDと呼ばれることもある。 無線LAN接続ツールによっては、ネットワーク名と記載している場合もある。													
<b>SSIDの隠ぺい</b>	SSIDを無線LANアクセスポイントにより定期的に送信されるビーコン中に含まないように設定すること。													
<b>TKIP</b>	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号化方式の一種で、WPAの暗号化方式として採用されている。 PSKと呼ばれる“事前共有鍵”を元に暗号化キーを一定のデータ量また時間ごとに生成し、暗号化を行う。													
<b>WEPキー</b>	WEP暗号化方式で用いられる“暗号化キー”のこと。種類は共有（秘密）鍵である。													
<b>WPA</b>	① Wi-Fi Protected Accessの略。 Wi-Fi Alliance が規格化した、新しいセキュリティ規格のこと。 WEP方式よりセキュリティ強度が強化されている。暗号化方式と認証プロトコルにより、以下の4つに分類できる。 <table border="1" data-bbox="528 1467 1482 1704"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="2">認証</th> </tr> <tr> <th>PSK</th> <th>EAP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">暗号</th> <th>TKIP</th> <td>(1)</td> <td>(2)</td> </tr> <tr> <th>AES</th> <td>(3)</td> <td>(4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※WPA仕様書では、暗号プロトコル「AES」は必須ではないため、WPAをサポートしていても、AESをサポートしていない場合がある。</p> <p>② WPAにて認証に外部サーバを用いる方式を表す。上記表内の（2）または（4）の方式。</p>			認証		PSK	EAP	暗号	TKIP	(1)	(2)	AES	(3)	(4)
				認証										
		PSK	EAP											
暗号	TKIP	(1)	(2)											
	AES	(3)	(4)											
<b>WPA - パーソナル</b>	WPAにて認証に外部サーバも用いない方式を表す。上記表内の（1）または（3）の方式。													
<b>暗号化キー</b>	暗号化を行う鍵のことで、暗号化方式により、公開鍵と共有（秘密）鍵の2種類ある。													

<b>インフラストラクチャ通信</b>	無線LAN端末と無線LANアクセスポイントを利用した形態の通信。
<b>オープンシステム認証</b>	無線LANの認証方式の1つ。無線LAN端末からは資格情報なしに無線LANアクセスポイントに認証依頼を行い、無線LANアクセスポイントは依頼された認証をそのまま受け入れる。そのため、ネットワークキーによる認証は行われていない（サーバ認証とは別）。
<b>キーインデックス</b>	WEP暗号化方式では、仕様上4つのWEPキーを切り替えることができる。WEP暗号化方式では、無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の両方のキーインデックスを同じにしなければならない。製品によってはキーインデックスの値が「0～3」のものや「1～4」のものがあり、設定に注意しなければならない。
<b>キー更新間隔</b>	暗号化キーを生成するデータ量間隔または時間間隔のこと。
<b>共有キー認証</b>	無線LANの認証方式の1つ。無線LANアクセスポイントと端末はネットワークキーを用いたチャレンジレスポンス認証を行う。
<b>ネットワークキー</b>	共有キー認証の「認証キー」と暗号化機能の「暗号化キー」または「PSK」の両方に用いられる「キー」のこと。
<b>ネットワーク認証</b>	無線LANの認証方式の総称。オープンシステム認証、共有キー認証、WPA、WPA - パーソナル、WPA2、WPA2 - パーソナルなどがある。
<b>無線LANアクセスポイント</b>	ネットワークに無線LAN端末を接続する機器であり、一般的には有線LANのHUBに相当する機能を持つ。

# モバイルブロードバンド

---

[022800-28]

本機のモバイルブロードバンドについて説明しています。モバイルブロードバンドモデルをお使いの場合のみご覧ください。

➤ 概要.....	144
➤ 使用上の注意.....	145
➤ モバイルブロードバンドを使用する準備.....	147
➤ モバイルブロードバンドのオン/オフ.....	151
➤ 接続とセキュリティ.....	153

## モバイルブロードバンドについて

モバイルブロードバンドとは、本機を携帯電話、LAN（Local Area Network）や無線LANアクセスポイントに接続することなく、インターネットなどのデータ通信を行う機能です。

本機はLTE通信に対応したモバイルブロードバンドが搭載されています。



### チェック

LTE通信のためには、各キャリアとの回線契約が必要です。  
対応周波数帯およびバンドは以下の通りです。

- LTE Band 1 (2100MHz), 3 (1800MHz), 19 (800MHz), 21 (1500MHz)
- 3G Band 1 (2100MHz), 6 (800MHz), 19 (800MHz)

## 使用上の注意

[022802-28]

- モバイルブロードバンドをお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- ネットワークとの通信中は、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- ネットワーク通信をすると、バッテリーのみで使用可能な時間が短くなります。長時間使用するときは、本機にACアダプタを接続し、コンセントからの電源を使用してください。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品には、日本の電波法に基づき工事設計認証された無線設備が内蔵されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにモバイルブロードバンドをオフにしてください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 心臓ペースメーカー装着部位から30センチ以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切るか、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。また、医療機関側が本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源を切るか、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。
- トンネル・地下・建物の中や陰などで電波が届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、および通信キャリアのサービスエリア圏外では、モバイルブロードバンドを使用できません。
- ビルの高層階など見晴らしの良い場所であっても、モバイルブロードバンドを使用できない場合があります。
- 電波が強い場所で移動せずに使用している場合でも、通信が切れてしまう場合があります。
- 航空機内ではモバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。機体の制御機器などに影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。
- 分解や修理・改造をしないでください。本機内部に触ると感電の原因になります。
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能をオフにしてください。爆発や火災が発生するおそれがあります。
- スリープ状態、休止状態に移行する際、通信の切断処理が行われます。データ通信中に状態の移行が行われた場合は、通信中のデータを失うことがあります。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元、またはNECまでご相談ください。
- 本製品（タイプVT）は、Body SARの対象となる無線通信機（モジュールを含む）※1を搭載しており、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
- モバイルブロードバンド搭載モデルは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※2ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）が支持するガイドラインと同等のものとなっており、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率（約50倍の安全率）となっています。
- 国の法律および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）で定めており、モバイルブロードバンド搭載モデルに対する局所SARの許容値は2.0W/kg（手のひらを除く手足は4W/Kg）です。

※1 2014年4月1日現在、対象となる無線通信機（モジュール含む）は、携帯電話、衛星携帯電話およびWiMAX。

※2 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Body SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

**総務省 電波利用ホームページ：**

<http://www.tele.soumu.go.jp/>

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/pr/>



#### 参照

- **モバイルブロードバンドのオン/オフ**  
「モバイルブロードバンドのオン/オフ (P. 151)」
- **NECのお問い合わせ先について**  
『保証規定 & 修理に関するご案内』

# モバイルブロードバンドを使用する準備

[022803-28]

## microSIMカードの取り付け／取り外し

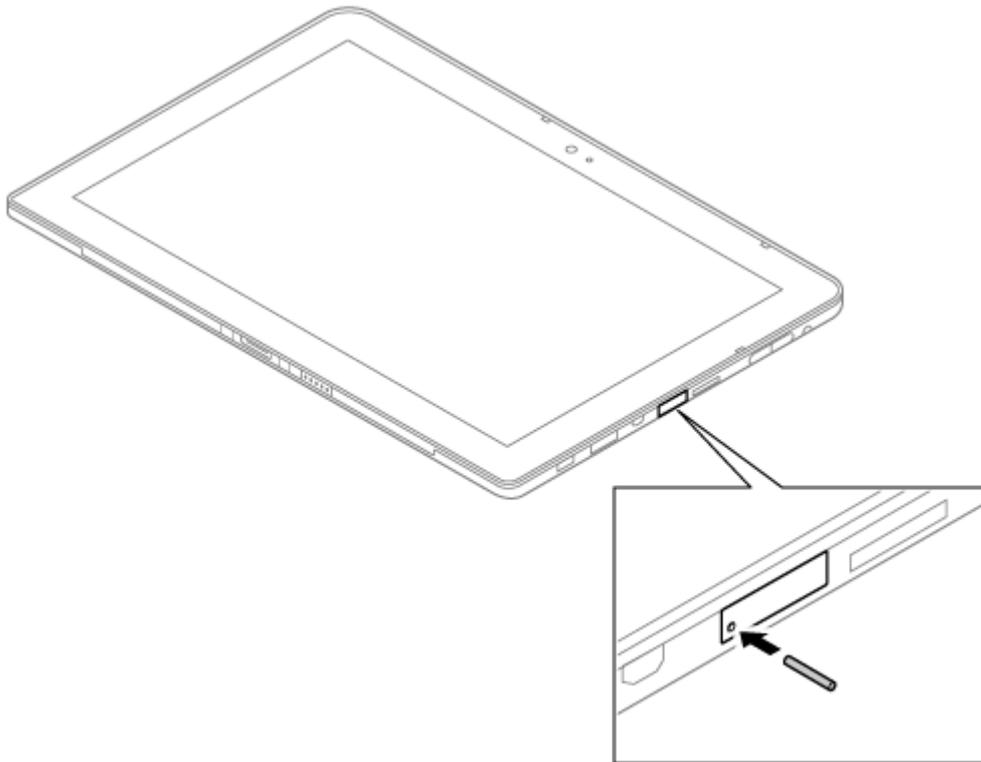
### microSIMカードの取り付け

本機へのmicroSIMカードの取り付けは、次の手順で行います。

- 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 太さ0.8mmの針金をmicroSIMカードトレイの穴に差し込む

針金はペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

microSIMカードトレイが少し出てきます。

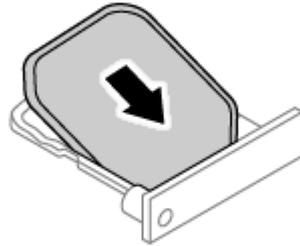


#### チェック

太さ0.8mmより太い針金は使用しないでください。無理に差し込むとmicroSIMカードトレイの破損の原因となります。

#### 4 microSIMカードトレイをゆっくり引き出す

#### 5 microSIMカードの向きに注意してmicroSIMカードトレイに取り付ける



#### チェック

- 右側にあるmicroSDカードスロットへ挿入しないようにしてください。破損の原因となります。
- microSIMカードの向きに注意して正しく取り付けてください。誤った向きに取り付けると、故障の原因となります。

#### 6 microSIMカードトレイを挿入し、ACアダプタを取り付ける

### microSIMカードの取り外し

長期間、モバイルブロードバンドを使用しない場合などは、microSIMカードを本機から取り外してください。microSIMカードの取り外しは、次の手順で行います。

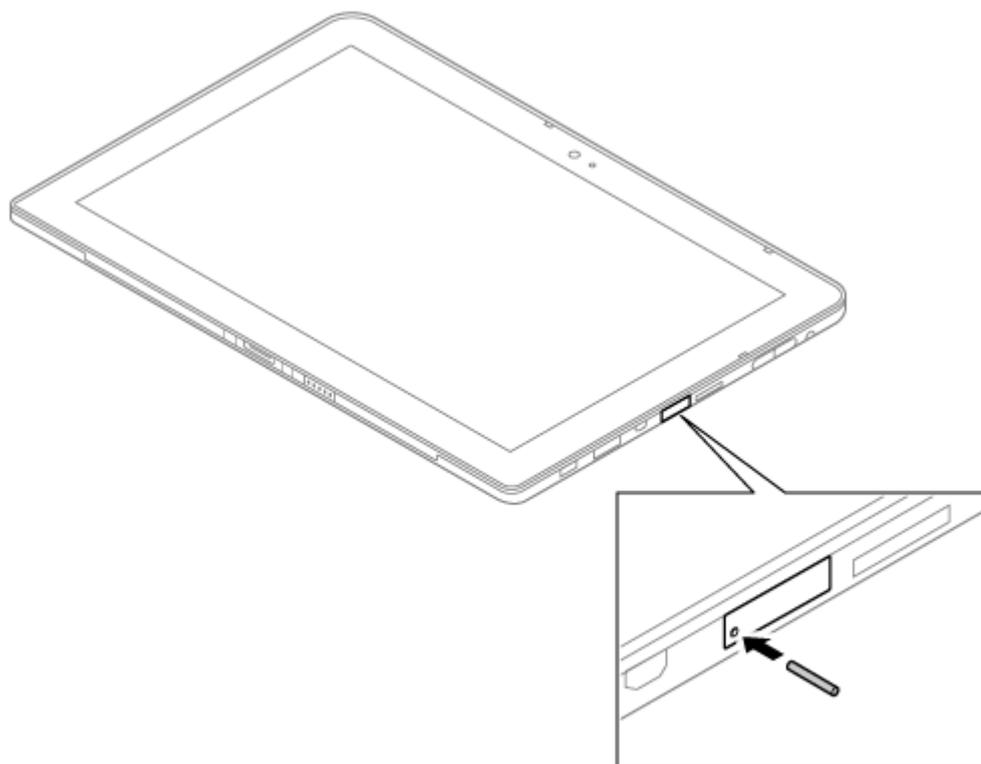
#### 1 本機を使用中の場合は、本機の電源を切る

#### 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す

#### 3 太さ0.8mmの針金をmicroSIMカードトレイの穴に差し込む

針金はペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

microSIMカードトレイが少し出てきます。



#### チェック

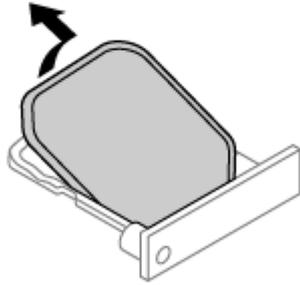
太さ0.8mmより太い針金は使用しないでください。無理に差し込むとmicroSIMカードトレイの破損の原因となります。

---

**4** microSIMカードトレイをゆっくり引き出す

---

**5** microSIMカードを取り外す



---

**6** microSIMカードトレイを挿入し、ACアダプタを取り付ける

---

# モバイルブロードバンドのオン/オフ

[022804-28]

モバイルブロードバンドのみオン/オフを切り替えることができます。



## メモ

モバイルブロードバンドのオン/オフの設定は、電源を切った後も保存されます。



## チェック

- 他の機器に影響を与える場合やモバイルブロードバンドを使用しない場合、モバイルブロードバンドが使用できない環境で本機を使用する場合は、モバイルブロードバンドをオフにしてください。
- BIOSセットアップユーティリティでモバイルブロードバンドそのものを無効にしている場合、モバイルブロードバンドを有効にすることはできません。BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューで「I/O Port Access」の「Wireless WAN」を「On」に設定してから操作を行ってください。
- モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能のオン/オフは、チャームバーの「設定」や、タスクバーの通知領域に表示されるネットワークアイコンにより確認できます。

チャームバーのアイコン	タスクバーのアイコン	状態
 利用可能		ワイヤレス機能：オン。接続先を設定すればネットワーク通信できます。
 利用不可		ワイヤレス機能：オフ。ワイヤレス機能がオフになっています。
 NTT DOCOMO		ワイヤレス機能：オン（接続中）。アンテナの本数で現在の受信感度の強さを表示しています。
 機内モード		ワイヤレス機能：機内モード。モバイルブロードバンドを含むすべてのワイヤレス機能がオフになっています。

## 「ワイヤレス デバイス」で切り替える

Windows標準の機能を使って、モバイルブロードバンドのオン/オフを切り替えることができます。

### モバイルブロードバンドをオフにする場合

**1** チャームバーを表示し、「設定」をクリック

**2** 「PC 設定の変更」をクリック

**3** 「ネットワーク」をクリック

---

**4** 「機内モード」をクリック

---

**5** 「ワイヤレス デバイス」の「モバイルブロードバンド 2」をオフにする

---

### モバイルブロードバンドをオンにする場合

---

**1** チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

---

**2** 「PC 設定の変更」をクリック

---

**3** 「ネットワーク」をクリック

---

**4** 「機内モード」をクリック

---

**5** 「ワイヤレス デバイス」の「モバイルブロードバンド 2」をオンにする

---

## インターネットへの接続／切断

ここでは、本機のモバイルブロードバンドを使用して、インターネットへ接続、または切断する方法について説明します。



### チェック

本機は海外でのモバイルブロードバンドの使用をサポートしておりません。しかし、契約によっては、国際ローミングにより接続できる場合があります。

その際、データ通信料が非常に高額になる場合がありますので、ご利用の際は十分ご注意ください。

## インターネットへの接続

インターネットへの接続は以下の手順で行います。

### 1 microSIMカードを本体にセットする



#### 参照

microSIMカードの取り付けについて

「microSIMカードの取り付け／取り外し (P. 147)」

### 2 本機の電源を入れる

### 3 タスク バーの通知領域やチャーム バーのネットワークアイコンで、モバイルブロードバンドを含むワイヤレス機能がオンになっていることを確認する

オフになっている場合は、「モバイルブロードバンドのオン／オフ (P. 151)」をご覧ください、ワイヤレス機能をオンにしてください。

### 4 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

### 5 「ネットワーク」をクリック

利用可能なネットワークの一覧が表示されます。

### 6 「モバイルブロードバンド」に表示されているネットワーク（「NTT DOCOMO」など）をクリック

6



メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。  
(例：NTT DOCOMO)

## 7 「接続」をクリック

「モバイルブロードバンド」に詳細情報が表示されます。

以上でインターネットへの接続は完了です。

## インターネットからの切断

インターネットからの切断は以下の手順で行います。

### 1 タスクバーの通知領域のネットワークアイコン ( または ) をクリック

ネットワーク名の一覧が表示されます。



メモ

チャームバーを表示し、「設定」→ネットワークアイコン (  または  ) をクリックしても、ネットワーク名の一覧を表示することができます。

### 2 「モバイルブロードバンド」に表示されているネットワーク (「NTT DOCOMO」など) をクリック



メモ

ネットワーク名には、ネットワークから取得した文字列を表示します。固定ではありません。

### 3 「切断」をクリック



以上でインターネットからの切断は完了です。

## セキュリティの設定

microSIMカードには、第三者による無断使用を防ぐために4～8桁で設定できる暗証番号「PIN」が存在します。ここでは「PIN」の設定、利用方法について説明します。



### チェック

セキュリティの設定にてPINの認証処理が実行されますが、許容回数以上連続で認証に失敗すると、SIMがブロックされます。

SIMのブロックを解除しない限りインターネットへの接続は行えません。

## セキュリティを有効にする

セキュリティを有効にする場合は次の手順で行います。

**1** チャームバーを表示し、「設定」をクリック

**2** 「PC設定の変更」をクリック

**3** 「ネットワーク」をクリック

#### 4 「モバイルブロードバンド」に表示されているネットワーク（「NTT DOCOMO」など）をクリック



##### メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。  
(例：NTT DOCOMO)

#### 5 「セキュリティ」から「PINの使用」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPINを入力します。

PIN認証に成功すると、次回以降はネットワークへの接続時にPIN認証によるロック解除が必要となります。

### セキュリティを無効にする

セキュリティを無効にする場合は次の手順で行います。

#### 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

#### 2 「PC 設定の変更」をクリック

#### 3 「ネットワーク」をクリック

#### 4 「モバイルブロードバンド」に表示されているネットワーク（「NTT DOCOMO」など）をクリック



##### メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。  
(例：NTT DOCOMO)

#### 5 「セキュリティ」から「PINの使用をやめる」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPINを入力します。

PIN認証に成功すると、次回以降はネットワークへの接続時にPIN認証によるロック解除が不要となります。

### PINの変更

PINを変更する場合は次の手順で行います。

#### 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

#### 2 「PC 設定の変更」をクリック

#### 3 「ネットワーク」をクリック

## 4 「モバイルブロードバンド」に表示されているネットワーク（「NTT DOCOMO」など）をクリック



### メモ

ネットワーク名は、ネットワークから取得した情報を表示します。固定文字列ではありません。  
(例：NTT DOCOMO)

## 5 「セキュリティ」から「PINの変更」をクリック

PINの入力を求められるので、現在のPIN、新しいPINを入力します。  
PIN認証に成功すると、PINが変更されます。



### チェック

- 新しいPINを現在のPINと同じ文字列に設定することはできません。
- PINの変更を行うには「PINの使用」によりPINが有効である必要があります。

# USBコネクタ

---

[022000-28]

➤ 使用上の注意.....	159
➤ USB機器の取り付け／取り外し.....	161

## 使用上の注意

[022001-28]

- 本機のUSBコネクタには、USB 1.1対応機器、USB 2.0対応機器、USB 3.0対応機器が取り付け可能です。拡張クレードルのUSBコネクタには、USB 1.1対応機器、USB 2.0対応機器、USB 3.0対応機器が取り付け可能です。ただし、対応する規格の異なるUSBコネクタにUSB機器を取り付けたときの、動作規格（転送速度）については次の表をご覧ください。

		本体側コネクタ	拡張クレードル側コネクタ
		USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS  )	USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS  ) 
取り付ける機器	USB 1.1対応機器	USB 1.1 (12Mbps <sup>※1</sup> )	
	USB 2.0対応機器	USB 2.0 <sup>※2</sup> (480Mbps <sup>※1</sup> )	
	USB 3.0対応機器	USB 3.0 <sup>※3</sup> (5Gbps <sup>※1</sup> )	

※1 記載の速度は理論値（最大）です。

※2 USBハブ、USBケーブルもUSB 2.0に対応したものを使用する必要があります。

※3 USBハブ、USBケーブルもUSB 3.0に対応したものを使用する必要があります。

- USB機器の取り付け／取り外しを行うときは、3秒以上の間隔をおいて行ってください。
- USBコネクタにプラグをすばやく抜き差ししたり斜めに差したり半差しにしたりすると、正常に認識されないことがあります。その場合はプラグをUSBコネクタから抜いて、正しく差しなおしてください。
- 初めてUSB機器を取り付けたときに、画面に何も表示されない場合は、USBコネクタにプラグを正しく差し込めていない可能性があります。いったんプラグを抜き、再度差し込んでみてください。
- スリープ状態に移行する前にUSB機器（マウスまたはキーボード以外）を取り外してください。USB機器を取り付けた状態ではスリープ状態に移行または復帰できない場合があります。
- 省電力状態（スリープ状態や休止状態）の時や、省電力状態への移行中、省電力状態からの復帰中は、USB機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 省電力状態への移行中は、取り付けているUSB機器を操作しないでください。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、USBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。USB機器を取り付けた状態でUSBハブを本機に取り付けると、USB機器が正常に認識されないことがあります。
- USB機器の有無にかかわらず「デバイス マネージャー」にある「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」は削除、無効にしないでください。
- 印刷中にプリンタが停止し、「印刷キュー」に印刷中のドキュメントが残っている場合は、すべてのドキュメントを一度キャンセルし、プリンタに取り付けているUSBケーブルを抜き差ししてから再度印刷してください。なお、印刷中ドキュメントのキャンセルには時間がかかる場合があります。



## メモ

- 本機でのUSB機器の動作確認情報については、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。各機器の発売元にお問い合わせください。なお、NEC製のUSB対応機器の情報は、NECの「ビジネスPC」サイト (<http://jpn.nec.com/bpc/>) から、次の手順で確認してください。

### 1 「サポート情報（ダウンロード）」をクリック

### 2 「ご使用中のお客様」にある「製品型番検索」にお使いのモデル型番を入力し、「検索」をクリック

お使いのモデルの型番で検索し、取り付け可能なUSB対応機器を確認してください。

- 取り付ける機器によっては、接続ケーブルが必要な場合があります。

## USB機器を制限する

本機では、BIOSセットアップユーティリティのI/O制限で、USBコネクタの有効/無効を設定して、USB機器の使用を制限することができます。

また、添付のDeviceLockでも、取り付けているUSB機器単位で読み込みや書き込みを制限することができます。



## 参照

- **I/O制限について**  
「セキュリティ機能」の「I/O制限 (P. 184)」
- **DeviceLockについて**  
「セキュリティ機能」の「DeviceLock Lite (P. 197)」

# USB機器の取り付け／取り外し

[022002-28]

## 取り付けの前に

機器によっては、使用するためにドライバやアプリケーションのインストール、設定の変更などが必要になる場合があります。

USB機器に添付のマニュアルなどをご覧になり、必要な準備を行ってください。



### メモ

- 取り付けてすぐ使うことができるUSB機器がありますが、そのままではいくつかの機能が制限される可能性があります。必ず添付のマニュアルをよく読んでください。
- USB機器は、本機の電源を入れたままの状態でも取り付けることができます。取り付け前に電源を切る必要はありません。
- 外付けUSBハブ経由でUSB機器を使用する場合は、はじめにUSBハブを本機に取り付けてから、USBハブにUSB機器を取り付けるようにしてください。

## USB機器の取り付け

### 1 USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS⇄またはSS+) にプラグを差し込む

プラグの向きに注意して、止まるまで軽く押し込んでください。

取り付けしたUSB機器が正しく本機に認識されたかどうかを確認してください。確認する方法は、機器の種類によって異なります。機器によっては、取り付けた後で別の設定作業が必要になる場合があります。詳しくは、各USB機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

## USB機器の取り外し

### 1 タスク バーの通知領域の をクリックし、 または をクリック

このアイコンが表示されていない場合は手順3に進んでください。

### 2 表示された「××××の取り出し」から、取り外したいUSB機器をクリック

安全に取り外しができるという内容のメッセージが表示されます。

表示された「××××の取り出し」に取り外したいUSB機器がない場合は手順3に進んでください。

### 3 USB機器を取り外す

以上でUSB機器の取り外しは完了です。

本機のBluetooth機能について説明しています。

▶ 概要.....	163
▶ セキュリティに関するご注意.....	165
▶ 使用上の注意.....	166
▶ Bluetooth機能の設定と接続.....	168
▶ Bluetooth機能のオン/オフ.....	172

## Bluetooth機能について

Bluetooth（ワイヤレステクノロジー）機能は、Bluetoothワイヤレステクノロジーが搭載された機器とデータ通信を行うBluetooth Special Interest Group（SIG）が策定した世界標準の通信規格です。

## Bluetooth機能でできること

次のような、Bluetooth機器とワイヤレスで接続することができます。

- マウスやキーボード
- 携帯電話、タブレット
- ヘッドセット、ヘッドフォン

など

最大で7台のBluetooth機器を同時に接続できます。



### チェック

- Bluetooth機能をお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。
- 同時に利用するBluetooth機器の台数が多い場合、通信負荷が大きくなり動作に影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth機器によっては、複数同時に使用できない仕様のものがあります。
- 同じ種類のBluetooth機器でも機能差がある場合があります。
- Bluetooth機能は、すべてのBluetooth機器に対して動作を保証するものではありません。Bluetooth機器の動作環境と接続の可否を確認してください。

## 接続できる機器

本機のBluetooth機能は、Ver.1.1以降でVer.4.0までのいずれかの規格に対応した機器（マウスやキーボードなど）と接続できます。ただし、接続する機器が、Bluetoothプロファイルに対応している必要があります。また、使用する機器やソフトによっては接続できないことがあります。機器をご購入する前に製造元や販売店に確認してください。

対応しているBluetoothプロファイルについては、電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

シンプルペアリング機能（Ver.2.1以降）に対応した機器と接続する場合は、パスコード（PINコード）を入力することなく機器同士をペアリングすることができます。

また、次の機能が強化されています。

- **省電力機能 (Ver.2.1以降)**

Ver.2.0+EDRよりも省電力が強化され、マウスやキーボードなどのバッテリー駆動時間の延長に効果があります。

- **ペアリング機能**

第三者の介入によって情報が傍受される可能性を排除する防御機能が搭載されています。

- **Enhanced Data Rate (EDR) 機能**

従来の規格の約3倍（理論上）の速度で通信を行えます。

- **Advanced Frequency Hopping (AFH) 機能**

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) など、他の2.4GHz帯域を利用する無線機器が利用している周波数を避けて干渉の可能性を低減させます。



### チェック

- 回避できる周波数帯域が確保できない場合は、この機能の効果が得られないことがあります。
- 2.4GHz帯域の中でも無線LAN (IEEE802.11n) はより強い干渉を受ける場合があります。

- **Low Energy機能 (Ver.4.0以降)**

従来の機器に比べて低消費電力のBluetooth Smart機器（マウスなど）と接続することが可能です。

## 通信距離と速度

### 通信できる距離

本機は、相手の機器間と見通して約10mの範囲まで通信できます。ただし、10m以内でもデータ通信タイミングを必要とする音楽データ通信などは音とびが発生する場合があります。

### 通信速度

実際の通信速度は、各通信モードの規格値の半分程度を目安にしてください。

Enhanced Data Rate (EDR) 規格に対応した機器同士の最大通信速度は3Mbps（規格値）です。

前述のHSおよびEDRに対応していない機器の場合（Basic Rate:BR）は、最大通信速度（非同期）は1Mbps（規格値）です。



### チェック

接続する機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のソフト、およびOSなどによって、通信速度や距離は大きく変化します。

# セキュリティに関するご注意

---

[023102-28]

Bluetooth機能では、セキュリティを確保するため、機器ごとに割り振られた固有のIDで機器の識別をしています。さらにパスコード（PINコード）を設定して接続認証を行ったり、通信データを暗号化することで通信を傍受された場合にもデータの内容を守ることができます。また、通信中に使用する周波数帯域を接続単位ごとにランダムに変更しながら通信することで通信傍受されにくくなっています。



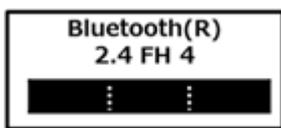
## チェック

- これらの設定は危険性をより低くするための手段であり、安全性を100%保証するものではありません。
- 身に覚えのない接続を要求された場合は、無視するか受付をしないでください。

## 使用上の注意

[023103-28]

- 接続相手と通信中（ファイル転送中やプリンタで印刷中、オーディオ機器で音楽再生中など）に、本機を休止状態やスリープ状態にしないでください。
- 本製品に標準内蔵以外のBluetooth® ワイヤレステクノロジー機器をセットアップして使用しないでください。
- Bluetooth対応オーディオ機器をご使用になる場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。本機を用いて著作権保護されたデータのコピーを作成することは違法となる場合があります。
- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人 電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機等、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気システムのコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。
- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。詳しくは、ご使用場所の管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。
- 本製品は、Bluetooth® パスコード（PINコード）や暗号化機能等を使用することにより、無線ネットワークでの不正アクセスを防止することが可能ですが、日頃からの接続デバイスの管理をされることをおすすめします。

- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁止されている区域では使用しないでください。機器の電子回路に影響を与え、誤作動や事故の原因になるおそれがあります。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備されているかたは、本商品をペースメーカー装置部から30cm以上離して使用してください。
- その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NECまたはご購入元にお問い合わせください。



## メモ

安定した通信のため、次の点にご注意ください。

- 本機と接続するBluetooth機器との距離は、できるだけ近くする
- 接続するBluetooth機器との間に障害物を置かないようにする
- 金属製のパソコンラックなどで本機を使用しない
- 通信中は近くで同じ周波数帯域を使用する電子レンジや他の無線機器を使用しない

## Bluetooth機器の接続

Bluetooth機器を接続するときは、機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

### 1 接続するBluetooth機器を接続可能な状態にする

### 2 タスクバーの通知領域の をクリックして表示される (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの追加」をクリック



## メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 172)」をご覧ください。

「Bluetooth デバイスの管理」画面が表示され、Bluetooth機器が検索され一覧に表示されます。  
「PC 設定」画面が表示される場合は、左のメニューから「PC とデバイス」をクリックし、「Bluetooth」をクリックしてください。

### 3 接続するBluetooth機器を選択し、「ペアリング」ボタンをクリック



## チェック

デバイスの追加で認証エラーが発生し自動で接続できない場合には「閉じる」をクリックし、デバイスを選んで「ペアリング」をクリックします。「XXXXX のパスコードを入力してください」の画面が表示されたら、デバイスのマニュアルに記載のデバイスのパスコードを入力するか、もしくはパスコードを使用しないで接続を繰り返してみてください。



## メモ

登録済みのデバイスを確認する場合は、タスクバーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、「Bluetooth デバイスの表示」をクリックして一覧を開いて確認してください。



## チェック

- Bluetoothキーボードを接続するときにパスコード（PINコード）の入力を求められたときは、画面に表示されたコードを入力して最後に【Enter】を押してください。その他の機器でパスコード（PINコード）の入力を求められたときは、その製品に添付のマニュアルなどをご確認ください。
- ドライバのインストール中に本機の動作が遅くなる場合があります。
- ドライバによっては再起動を求められる場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器を使用する場合は、SCMS-T方式の著作権保護機能をサポートした機器をおすすめします。
- Bluetooth機器によってサポートしている機能に差分があったりアプリケーションソフトが対応できなかったりする場合がありますので、ご購入前にサポート機能の確認を行ってください。



## メモ

- Bluetooth対応オーディオ機器（ステレオヘッドフォンなど）を接続していて音が切れる（音飛びする）場合は、一度切断して本機のBluetooth側から再接続することをおすすめします。これはオーディオ機器によるホスト処理の負荷が高いため、遅れが出る場合があるからです。解決しない場合は、本機と接続機器の距離を近くするか、バッテリー駆動の機器の場合はバッテリー容量の残量を確認してください。
- 無線LANを使用していない（アクセスポイントに接続していない）ときに、接続しているBluetooth機器の動作が不安定（オーディオ機器のノイズ、マウスのカクツキなど）な場合は、無線LAN機能のみをオフにしてください。システム処理の負荷を軽減することができます。



## 参照

### 無線LAN機能のオン/オフについて

「無線LAN機能」の「無線LAN機能のオン/オフ (P. 132)」

## Bluetooth機能の設定を変更する

必要に応じてBluetooth機能の設定を変更することができます。設定の変更は次の手順で行ってください。

- 1 タスクバーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



## メモ

-  (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 172)」をご覧ください。



## チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

## Bluetooth接続でのファイルの送受信

Bluetooth機器間で一時的に小さなファイルを簡単にやりとりすることができます。

## ファイルの送信

ファイルの送信は次の手順で行います。

- 1 送信するファイルを右クリックし、表示されたメニューから「送る」→「Bluetooth デバイス」をクリック



### チェック

複数のファイルをまとめて送信したい場合でも、フォルダの送信はできません。ファイルを送信してください。

- 2 リストに表示される送信先のデバイスを選択し、「次へ」ボタンをクリック

- 3 受信側（送信先）でファイルの受け取りを承諾する



### メモ

受信側のBluetooth機器でのファイル受信については、機器により異なるので受信側の機器のマニュアルをご覧ください。

受信側で受信を許可すると、「Bluetooth ファイル転送」上でファイルの送信が開始されます。「ファイルが正しく転送されました」と表示されれば送信終了です。

- 4 「完了」ボタンをクリック

## ファイルの受信



### チェック

接続したBluetooth機器の設定変更の方法は、機器に添付のマニュアルを参照ください。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「設定を開く」をクリック



### メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 172)」をご覧ください。

- 2 「オプション」タブの「検出」の「Bluetooth デバイスによるこの PC の検出を許可する」にチェックを付ける

- 3 「OK」をクリック

- 4 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「ファイルの受信」をクリック

「Bluetooth ファイル転送」画面が表示されます。

- 5 送信側で送信する

「デバイスの追加」が表示された場合は、クリックし手順にしたがってください。

- 6 「受信したファイルの保存」でファイルの保存先を選択し、「完了」をクリックする

## Bluetooth機器の接続の切断

接続先のデバイスのマニュアルを参照し、切断してください。

## Bluetooth機器の登録削除

使用しないBluetooth機器の登録を削除する場合は、次の手順で行います。

- 1 タスク バーの通知領域の  をクリックして表示される  (Bluetooth デバイス) をクリックし、表示されたメニューから「Bluetooth デバイスの表示」をクリック



メモ

 (Bluetooth デバイス) がない場合は、「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 172)」をご覧ください、Bluetooth機能をオンにしてください。

Bluetooth機器の一覧が表示されます。

- 2 登録を削除したいBluetooth機器のアイコンをクリックし、「デバイスの削除」ボタンをクリック

- 3 「このデバイスを削除しますか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリック

# Bluetooth機能のオン/オフ

[023105-28]

Bluetooth機能のオン/オフは、「PC 設定の変更」で切り替えることができます。



## チェック

他の機器に影響を与える場合やBluetooth機能を使用しない場合、Bluetooth機能が使用できない環境で本機を使用する場合は、Bluetooth機能をオフにしてください。

Bluetooth機能の状態については、タスクバーの通知領域の  をクリックして表示されるアイコンで確認できます。

アイコン	Bluetooth機能の状態
	スタンバイ/動作中
アイコン無し	オフ

## 「PC 設定の変更」で切り替える

Bluetooth機能をオフにしたい場合は、「PC 設定の変更」でBluetooth機能をオフにしてください。

「PC 設定の変更」でのBluetooth機能のオン/オフの切り替えは、次の手順で行います。



## チェック

この方法で切り替えるには、Bluetooth機能がオンになっている必要があります。Bluetooth機能がオフになっている場合は、BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューで「I/O Port Access」の「Bluetooth」を「On」に設定して、Bluetooth機能をオンにしてください。



## 参照

### BIOSセットアップユーティリティおよび設定項目について

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」および「設定項目一覧」

## オンにする

**1** チャームバーを表示し、「設定」→「PC 設定の変更」→「PC とデバイス」→「Bluetooth」をクリック

**2** 「Bluetooth」をオンにする

## オフにする

**1** チャームバーを表示し、「設定」→「PC 設定の変更」→「PC とデバイス」→「Bluetooth」をクリック

## 2 「Bluetooth」をオフにする

---

拡張クレードルの各部の名称と役割や、拡張クレードルを使うときの設定方法について説明しています。拡張クレードルをお使いの場合のみご覧ください。

本機の接続によって、以下の動作が可能になります。

- 本体の立てかけスタンドとしての利用
- USB3.0対応機器への接続
- 本体のバッテリー充電
- 有線LANへの接続
- スピーカーなどへの接続
  
- 使用上の注意. . . . . 175
- 各部の名称と役割. . . . . 176
- 拡張クレードルの取り付けと取り外し. . . . . 178

## 使用上の注意

---

[023803-28]

- 水平な場所に設置してご使用ください。
- 拡張クレードルのヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック、USBコネクタ、HDMIコネクタ、LANコネクタは、拡張クレードルに添付のACアダプタを接続しないと機能しません。
- 拡張クレードルをオプション選択した場合は、本体に拡張クレードルを取り付けることができます。

# 各部の名称と役割

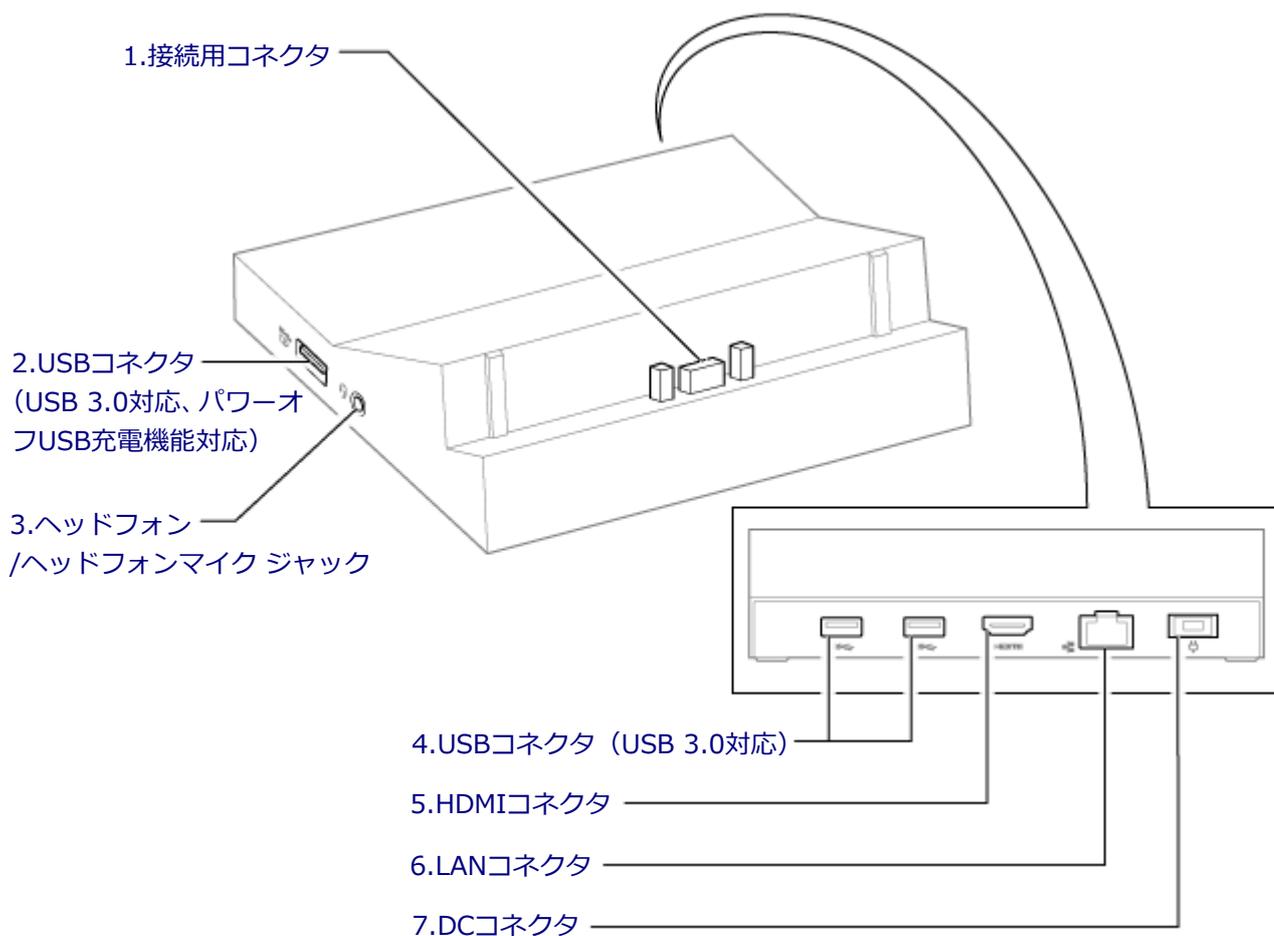
[023801-28]



## チェック

拡張クレードル (PC-VP-TS14) は購入時に選択した場合に添付されます。また、別途購入することもできます。

## 各部の名称



## 各部の説明

### 1. 接続用コネクタ

本体と接続するための端子です。本体の接続用コネクタを接続します。  
→「拡張クレードルの取り付けと取り外し (P. 178)」

### 2. USBコネクタ (USB 3.0対応、パワーオフUSB充電機能対応)

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0の転送速度を出すために

は、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 158)」

またこのUSBコネクタは、パワーオフUSB充電機能に対応しています。USBケーブルを使って充電できる機器を充電するとき、このUSBコネクタでは電源が切れた状態でも充電できます。

### 3.ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック (🎧)

ヘッドフォンやヘッドフォンマイク (4極ミニプラグ)、または外付けスピーカーやオーディオ機器を接続し、音声信号を出力、入力するための端子です。

→「サウンド機能 (P. 109)」



#### チェック

入力機能としてはヘッドフォンマイク (4極ミニプラグ) のみ使用できます。市販のステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

### 4.USBコネクタ (USB 3.0対応) (SS🔌)

USB機器を接続するコネクタです。このUSBコネクタは、USB 3.0、USB 2.0およびUSB 1.1の機器に対応しています。USB 2.0の転送速度を出すためには、USB 2.0対応の機器を接続する必要があります。USB 3.0の転送速度を出すためには、USB 3.0対応の機器を接続する必要があります。

→「USBコネクタ (P. 158)」

### 5.HDMIコネクタ (HDMI)

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタです。

→「外部ディスプレイ (P. 89)」

### 6.LANコネクタ (🌐)

LAN (ローカルエリアネットワーク) に接続するための端子です。

→「LAN機能 (P. 113)」

### 7.DCコネクタ (🔌)

拡張クレードルに添付のACアダプタを接続するための端子です。

# 拡張クレードルの取り付けと取り外し

[023802-28]

- ▶ 拡張クレードルの設置. . . . . 178
- ▶ 拡張クレードルに本体を取り付ける. . . . . 179
- ▶ 拡張クレードルから本体を取り外す. . . . . 180

## 拡張クレードルの設置



### チェック

拡張クレードルは水平な場所に設置してください。不安定な場所に拡張クレードルを設置すると、本体や拡張クレードルの故障や破損の原因となります。

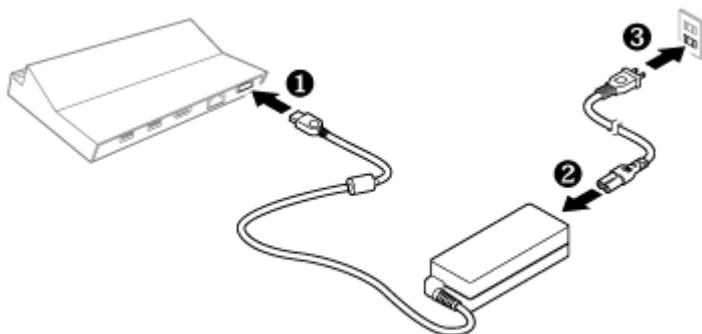
## ACアダプタの取り付け

次の手順で、ACアダプタを拡張クレードルに取り付けます。

### 1 拡張クレードルとACアダプタを接続する

### 2 ACアダプタに電源コードを接続する

### 3 電源コードを電源プラグに差し込む



以上でACアダプタの取り付けは完了です。

## 設定の確認

拡張クレードルを初めて使用する場合は、BIOSセットアップユーティリティから「Ethernet LAN」と「USB Port」が「On」になっているか、設定を確認してください。



### チェック

「Off」にしたまま本機と接続した場合、本機の機能が制限されてしまいます。  
また、パソコンの起動が非常に遅くなってしまう場合がありますので、必ず「On」に設定してください。

## 1 電源を入れ、すぐに音量調整ボタン (+) を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



### 参照

#### BIOSセットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」

## 2 「Security」メニューの「I/O Port Access」を選択する

## 3 「Tablet Dock」の「Ethernet LAN」を「On」に設定する

## 4 「Tablet Dock」の「USB Port」を「On」に設定する



### チェック

「USB Port」は、本体向けと拡張クレードル向けに、2つの設定項目が存在します。本体側の「USB Port」の設定を変更しないでください。

## 5 「Restart」メニューの「Exit Saving Changes」を選択する

確認の画面が表示されます。

## 6 「Yes」を選択する

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了します。

以上で設定の確認は完了です。

## 拡張クレードルに本体を取り付ける

拡張クレードルに本体を取り付けます。



### チェック

- 取り付けるときは、必要以上の力を加えないでください。破損する恐れがあります。
- Windowsのセットアップが終わってから、拡張クレードルに本体を接続してください。

## 1 本体底面にある接続用コネクタを、拡張クレードルの接続用コネクタ接続する



#### 参照

- **本体の接続用コネクタについて**  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」
- **拡張クレードルの接続用コネクタについて**  
「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

以上で取り付けは完了です。

## ■ 拡張クレードルから本体を取り外す

次の手順で拡張クレードルから本体を取り外します。

### 1 拡張コネクタの角度に注意して、拡張クレードルから本体を静かに取り外す



#### 参照

- **本体の接続用コネクタについて**  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」
- **拡張クレードルの接続用コネクタについて**  
「拡張クレードル」の「各部の名称と役割 (P. 176)」

以上で取り外しは完了です。

# セキュリティ機能

[022500-28]

本機で利用可能なセキュリティ機能について説明しています。

➤ セキュリティ機能について.....	182
➤ スーパーバイザパスワード.....	183
➤ I/O制限.....	184
➤ 指紋認証機能.....	185
➤ 盗難防止用ロック.....	189
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	190
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS) .....	191
➤ ウイルス検出・駆除.....	192
➤ NFCポート.....	193
➤ DeviceLock Lite.....	197

# セキュリティ機能について

[022501-28]

本機には、機密データの漏えいや改ざんを防止したり、コンピュータウイルスの侵入を防ぐために、次のようなセキュリティ機能があります。



## チェック

- お使いのモデルによっては使用できない場合があります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。
- 本機の各種セキュリティ機能は、完全なセキュリティを保証するものではありません。セキュリティ機能を使用している場合でも、重要なデータなどの管理や取り扱いには十分注意してください。

➤ スーパーバイザパスワード.....	183
➤ I/O制限.....	184
➤ 指紋認証機能.....	185
➤ 盗難防止用ロック.....	189
➤ DEP (Data Execution Prevention) 機能.....	190
➤ 暗号化ファイルシステム (EFS).....	191
➤ ウイルス検出・駆除.....	192
➤ NFCポート.....	193
➤ DeviceLock Lite.....	197

# スーパーバイザパスワード

[022502-28]

スーパーバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティの起動や設定を制限するためのパスワードです。

## BIOSセットアップユーティリティの使用者の制限

スーパーバイザパスワードを設定すると、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力画面が表示されます。スーパーバイザパスワードを入力しない限り、BIOSセットアップユーティリティは起動できません。

BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューの「Password」でスーパーバイザパスワードを設定してください。



### チェック

- NECに本機の修理を依頼される際は、設定してあるパスワードは解除しておいてください。
- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。



### 参照

#### BIOSセットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」

# I/O制限

---

[022504-28]

本機では、BIOSセットアップユーティリティで、各種デバイスのI/O（データの入出力）を制限することができます。この機能を利用することで、部外者のデータアクセスや、システムに影響を及ぼすアプリケーションのインストールを制限することができます。



## 参照

### I/O制限について

『システム設定』の「システム設定」 - 「設定項目一覧」 - 「Security」メニュー」



## チェック

- 「指紋認証機能」は内蔵指紋センサ（ライン型）モデルのみ使用できます。
- DeviceLockで指紋センサの機能を制限しないでください。機能を制限すると、指紋認証機能が使用できません。
- BIOSセットアップユーティリティの「Security」メニューの「I/O Port Access」で「Fingerprint Reader」が「Off」に設定されている場合は、指紋認証を使用することができません。

指紋認証機能とはパスワード入力の代わりに、内蔵指紋センサ（ライン型）を使用して指紋による認証を行うシステムです。



## 参照

### DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 219)」

## 使用上の注意

### 指紋の登録時

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

- 汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
- 極端に乾いている
- 指紋が小さすぎる
- 指紋が大きすぎる
- 指紋が渦を巻いていない
- 手が荒れている
- 摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善されます。また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。

### 指紋の読み取り時

次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

- 夏期など、汗や脂が多い場合
- 冬期など、極端に乾いている場合
- 手が荒れたり、けがをした場合
- 急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。

## 指紋の登録方法

- 1 チャームバーを表示し「設定」をクリック
- 2 「PC 設定の変更」をクリック
- 3 「アカウント」をクリック
- 4 「サインイン オプション」を選択し「指紋認証」の「追加」をクリック
- 5 「このアカウントへの指紋の追加」画面が表示されたら、選択したユーザーのパスワードを入力し「OK」をクリック
- 6 指紋の読み取りを数回行う



### チェック

指紋の読み取りは、必ず同じ指で行ってください。

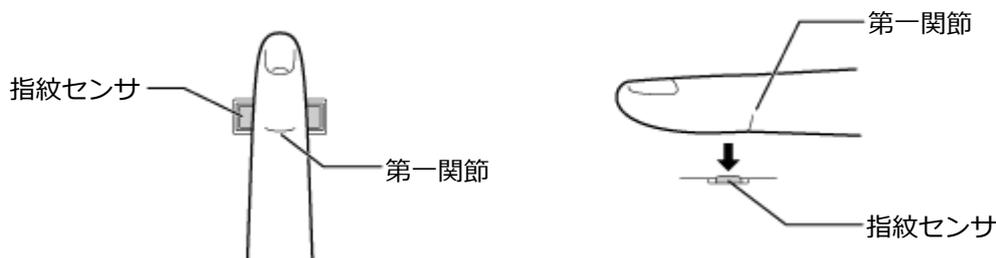
指紋の読み取り方については、「[指紋の読み取り方 \(P. 186\)](#)」をご覧ください。

- 7 「完了」をクリック

## 指紋の読み取り方

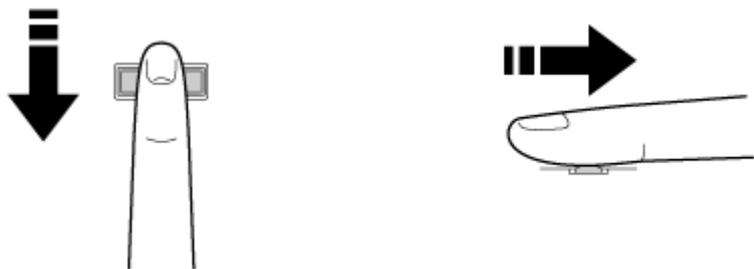
指紋センサの高い照合精度を維持するために、「正しい指の動かし方」でご使用ください。図は、多少異なることがあります。

- 1 読み取る指の第一関節の少し先あたりをセンサに密着させる



- 2 指をセンサに密着させながら、なぞるようにゆっくり引く

指先まで指がセンサから浮かないように引いてください。



### メモ

- 指が乾燥しているかたは、センサに指を少し強くあてながら引くと、読み取れる場合があります。
- 何度も読み取りに失敗する場合は、再度指紋を登録し直してください。



### チェック

- 指が汚れたり、汗や脂などで濡れている場合は、ハンカチなどで指先を拭いてから指紋の読み取りを行ってください。
- センサは直接指で触れるため、指の汚れが付着します。常にセンサをきれいにしてください。

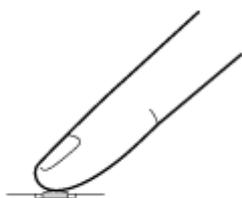


### 参照

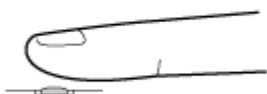
指紋センサ（ライン型）のお手入れについて  
『メンテナンスとアフターケアについて』

## 間違った指紋の読み取り方

- 指先しか触れていない（指を立て過ぎている）。



- 途中でセンサから指が浮く。



- 指が斜めに傾いている。



- センサに対して指を横に引く。
- 指を前に押し出す。
- 指をジグザグに動かす。
- 指先まで引かずに途中で指を止める。

## 指紋センサ（ライン型）のお手入れ



### 参照

指紋センサ（ライン型）のお手入れについて  
『メンテナンスとアフターケアについて』

# 盗難防止用ロック

---

[022505-28]

別売のセキュリティーケーブル（PC-VP-WS17）を利用することで、本機を机などに繋ぐことができ、本機の盗難防止に効果的です。



## チェック

当社製セキュリティーケーブル（PK-SC/CA01、PC-VP-WS15/PC-VP-WS16）は、本機では使用できません。ご注意ください。



## 参照

### 盗難防止用ロックについて

「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」

## DEP (Data Execution Prevention) 機能

---

[022507-28]

不正なプログラムやデータの実行をハードウェア的に防止する機能です。コンピュータウイルスが不正にプログラムコードを書き込んだり、実行しないようにすることができます。

# 暗号化ファイルシステム（EFS）

---

[022510-28]

EFS（Encrypting File System）は、Windows 8.1の標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザー以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

# ウイルス検出・駆除

---

[022508-28]



## チェック

マカフィー リブセーフは、工場出荷時にはインストールされていません。

コンピュータウイルスの検出、識別、および駆除を行うためのアプリケーションとして「マカフィー リブセーフ」が添付されています。



## 参照

### マカフィー リブセーフについて

「便利な機能とアプリケーション」の「マカフィー リブセーフ (P. 236)」

概要	193
NFC対応カード、またはNFC対応機器を使う	193
NFC機能のオン/オフ	194

## 概要



### チェック

「NFCポート」はNFC対応モデルのみ使用できます。

NFCとは、近距離無線通信の技術です。



### メモ

このマニュアルで使用しているイラストは、NFC対応カードを使用している場合のものです。

## 使用上の注意

- 「NFCポート」は、無線機器の一種です。取り扱いの注意事項について、『安全にお使いいただくために』もご覧ください。
- 本製品は、日本国内での電波法に基づく形式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。本製品を分解、改造したり、型式番号を消したりすると法律により罰せられる事があります。
- 心臓ペースメーカー装着部分から30センチ以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの作動に影響をあたえる場合があります。
- 医療機関側が本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源を切ってください。
- NFCは、完全なセキュリティを保証するものではありません。
- NFC機能オンの状態で使用してください。NFC機能オフ、または機内モードオンの状態では使用できません。



### 参照

**NFC機能のオン/オフについて**  
「NFC機能のオン/オフ (P. 194)」

## NFC対応カード、またはNFC対応機器を使う

### NFC対応カード、またはNFC対応機器のかざし方

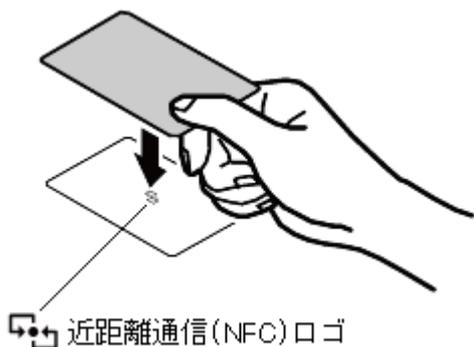
NFC対応カードを使用する場合は、カードの中心を、「NFCポート」の「近距離通信（NFC）ロゴ」に合わせて置いてください。NFC対応カードは裏表どちらでも読み取れます。

NFC対応機器を使う場合は、NFC対応機器に付いている近距離通信（NFC）ロゴの面を下に向けてかざしてください。



## チェック

- NFC対応カード、またはNFC対応機器を複数かざすと、正しく読み取れません。NFC対応カード、またはNFC対応機器は、必ず一つずつかざしてください。
- 「NFCポート」からはみ出す位置でかざしたり、NFC対応カード、またはNFC対応機器を傾けた状態でかざしたりすると、正しく読み取れないことがあります。



## 参照

「NFCポート」の位置について  
「各部の名称」の「各部の名称と説明 (P. 28)」

## NFC機能のオン/オフ

NFC機能のオン/オフを切り替えるには、次の方法があります。



## メモ

NFC機能のオン/オフの設定は、電源を切った後も保存されます。



## チェック

- 他の機器に影響を与える場合やワイヤレス機能およびNFC機能を使用しない場合は、ワイヤレス機能およびNFC機能をオフにすることをおすすめします。
- NFC機能のオン/オフは、「ネットワーク」から確認できます。

- 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
- 2 「PC 設定の変更」をクリック
- 3 「ネットワーク」をクリック
- 4 「機内モード」をクリック
- 5 「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を確認する

## すべてのワイヤレス デバイスを切り替える

ワイヤレス機能およびNFC機能のオン/オフを切り替えることができます。

### 「機内モード」で切り替える

Windows標準の機能を使って、ワイヤレス機能およびNFC機能のオン/オフを切り替えることができます。

- ワイヤレス機能およびNFC機能をオンにする場合

- 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
- 2 「PC 設定の変更」をクリック
- 3 「ネットワーク」をクリック
- 4 「機内モード」をクリック
- 5 「機内モード」を「オフ」にする

- ワイヤレス機能およびNFC機能をオフにする場合

- 1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
- 2 「PC 設定の変更」をクリック

**3** 「ネットワーク」をクリック

---

**4** 「機内モード」をクリック

---

**5** 「機内モード」を「オン」にする

---

## NFC機能のみを切り替える

---

NFC機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

### 「ワイヤレスデバイス」で切り替える

Windows標準の機能を使って、NFC機能のみのオン/オフを切り替えることができます。

- NFC機能をオンにする場合

**1** チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

---

**2** 「PC 設定の変更」をクリック

---

**3** 「ネットワーク」をクリック

---

**4** 「機内モード」をクリック

---

**5** 「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を「オン」にする

---

- NFC機能をオフにする場合

**1** チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

---

**2** 「PC 設定の変更」をクリック

---

**3** 「ネットワーク」をクリック

---

**4** 「機内モード」をクリック

---

**5** 「ワイヤレスデバイス」の「NFC」を「オフ」にする

---



## チェック

DeviceLock Liteは、工場出荷時にはインストールされていません。

DeviceLock Lite（以下、DeviceLock）は、各種周辺機器の使用を制限することができるアプリケーションです。



## 参照

### DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「[DeviceLock Lite \(P. 219\)](#)」

# マネジメント機能

---

[022600-28]

本機で利用可能なマネジメント機能について説明しています。

▶ マネジメント機能について.....	199
▶ ネットワークブート機能 (PXE機能) .....	200

# マネジメント機能について

---

[022601-28]

本機には、システム管理者のパソコンからネットワークに接続された他のパソコンの電源やシステムを遠隔操作して管理するために、次のようなマネジメント機能があります。

- ④ ネットワークブート機能（PXE機能） . . . . . 200

# ネットワークブート機能（PXE機能）

[021806-28]

ネットワークから起動して管理者パソコンと接続し、次の操作を行うことができます。

- OSインストール
- BIOSフラッシュ（BIOS ROMの書き換え）
- BIOS設定変更



## チェック

お使いのパソコンはUEFI機能をもつため、ネットワークブートを行う場合はネットワークブート用のサーバをUEFI用に変更する必要があります。

ネットワークブートを使用する場合は、BIOSセットアップユーティリティで設定を行ってください。

## 1 電源を入れ、すぐに音量調整ボタン（+）を数回押す

BIOSセットアップユーティリティが表示されます。



## チェック

BIOS セットアップユーティリティが表示されない場合は、いったん本機を再起動して、すぐに音量調整ボタン（+）を数回押してください。



## 参照

### BIOSセットアップユーティリティについて

『システム設定』の「システム設定」 - 「BIOSセットアップユーティリティについて」

## 2 「Startup」メニューの「Boot」で、「Network Adapter」をドラッグして一番上にする

## 3 「Restart」メニューの「Exit Saving Changes」をタップする

確認の画面が表示されます。

## 4 「Yes」をタップする

設定値が保存され、BIOSセットアップユーティリティが終了し、本機が再起動します。

以上でネットワークブートを使用するための設定は完了です。

# 便利な機能とアプリケーション

---

[060000-28]

➤ アプリケーションの種類と機能. . . . .	202
➤ アプリケーションのインストール/アンインストールについて. . . . .	204
➤ Office Home & Business 2016. . . . .	208
➤ Office Home & Business Premium. . . . .	211
➤ Access Connections. . . . .	214
➤ DeviceLock Lite. . . . .	219
➤ Acrobat Reader DC. . . . .	221
➤ 画面表示設定切替ツール. . . . .	224
➤ mazec for Windows日本語版. . . . .	227
➤ フリック入力補助ツール. . . . .	229
➤ 拡張ディスプレイ操作ツール. . . . .	231
➤ ペンバッテリー残量通知ツール. . . . .	234
➤ マカフィー リブセーフ. . . . .	236
➤ OneNote. . . . .	241

# アプリケーションの種類と機能

[060100-28]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

## 標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機能
Access Connections	ネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートをする
Acrobat Reader DC	PDF形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
DeviceLock Lite	周辺機器の使用を制限する
画面表示設定切替ツール	利用シーンに応じたPC画面最適化
バッテリー診断ツール※2	バッテリーの性能診断
ハードディスクデータ消去ツール※4	内蔵フラッシュメモリのデータを消去する
mazec for Windows日本語版	手書き入力文字のテキスト変換
フリック入力補助ツール	フリック機能を使ってショートカットキーイベントを操作する
拡張ディスプレイ操作ツール	アプリケーションを外部ディスプレイへ移動したり、操作したりする
ペンバッテリー残量通知ツール	デジタイザペンのバッテリー残量を通知する
マカフィー リブセーフ	ウイルス対策とマルウェア対策などを行う包括的で高速なセキュリティソフトウェア
OneNote	メモを自由に書き込み保存する

※2 機能の詳細、使用方法については「本機の機能」の「バッテリー」-「[バッテリー診断ツール \(P. 54\)](#)」をご覧ください。

※4 再セットアップ用メディアが必要です。機能の詳細、使用方法については『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

## モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

### ◆Office Home & Business 2016モデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する

PowerPoint 2016	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2016	電子ノートブック機能

◆Office Home & Business Premiumモデル

アプリケーション	機能
Word 2016	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2016	表計算をする
Outlook 2016	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2016	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2016	電子ノートブック機能

# アプリケーションのインストール/アンインストールについて

[060200-28]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。

インストールやアンインストールをする場合、Windowsおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

## インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。



### チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 再セットアップ、PCリセットおよびPCリフレッシュの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ずWindowsの再起動後に行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらインストールの操作をすることができます。詳しくは、「画面やアプリを切り替える (P. 20)」をご覧ください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。



### メモ

「管理者」とはAdministrator権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。ユーザーアカウントに関する詳細についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

## アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。アプリケーションには「デスクトップアプリ」と「Windowsストアアプリ」があり、アンインストール方法が異なります。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。



## チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をクリックした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。  
その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。  
また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。  
その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧になり、インストールの操作を行ってください。  
復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。  
アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。  
インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧になり、アンインストールを行ってください。
- 本マニュアルを表示しながらアンインストールの操作をすることができます。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。

## スタート画面からアンインストールする

スタート画面に表示されているアプリケーションをアンインストールできます。  
次の手順で行います。



### メモ

スタート画面にピン止めしているデスクトップアプリもアンインストールできます。

### 1 デスクトップにある「スタート」ボタン ( ) をクリック

### 2 アンインストールしたいアプリケーションを右クリックし、表示されたメニューから「アンインストール」をクリック

### 3 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## アプリ画面からアンインストールする

アプリ画面からアンインストールできます。デスクトップアプリとWindowsストアアプリの両方をアンインストールできます。

次の手順で行います。

## 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

## 2 アンインストールしたいアプリケーションを右クリックし、表示されたメニューから「アンインストール」をクリック

## 3 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## コントロールパネルからアンインストールする

コントロールパネルからアンインストールできます。デスクトップアプリのみアンインストールできます。次の手順で行います。

## 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

## 2 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をクリック

## 3 一覧から、アンインストールしたいアプリケーションをクリック

## 4 「アンインストール」、「変更」、「アンインストールと変更」のいずれかをクリック



### メモ

アプリケーションによってクリックするボタン名が異なります。必要に応じて読み替えてください。

## 5 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

以上でアンインストールは完了です。

## チャームバーの「設定」からアンインストールする

チャームバーの「設定」からアンインストールできます。Windowsストアアプリのみアンインストールできます。次の手順で行います。

## 1 デスクトップでチャームバーを表示し、「設定」をクリック

## 2 「PC 設定の変更」をクリック

## 3 「検索とアプリ」をクリック

**4** 「アプリのサイズ」をクリック

---

**5** 一覧から、アンインストールしたいアプリケーションをクリック

---

**6** 「アンインストール」をクリック

---

**7** 画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を進める

---

以上でアンインストールは完了です。

# Office Home & Business 2016

[063600-08]

▶ 概要.....	208
▶ 初回起動手順.....	208
▶ 使用上の注意.....	209
▶ インストール.....	209
▶ アンインストール.....	210

## 概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016、PowerPoint 2016、OneNote 2016が同梱されています。  
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

各Office アプリケーションのヘルプ

### ●Office Home & Business 2016の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



#### チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 初回起動手順

Office Home & Business 2016モデルでは、工場出荷時の状態で、Office Home & Business 2016の各アプリがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。



#### チェック

- ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から5日間試用することができます。5日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。
- ライセンス認証が完了すると、ほかのOfficeアプリで再度行う必要はありません。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、画面の手順に従って入力してください。

**1** アプリ画面 (P. 10)からWord2016、Excel2016などOfficeアプリのいずれかをクリック

**2** 「開始する」画面が表示されたら、「ライセンス認証」をクリック

**3** プロダクトキーの入力とサインインの選択画面で、「プロダクト キーの入力」をクリック

**4** 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクトキーを入力し、「インストール」をクリック



**チェック**

プロダクト キーはOfficeカード自体に記載されています。

ライセンス認証が正常に完了すると、「Office 2016 へようこそ」画面が表示されます。

**5** 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

**6** 「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX (Office アプリ名) の使用を開始」をクリック

Officeアプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

## ■ 使用上の注意

### Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的実施してください。



**チェック**

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 208)」を済ませてから実施してください。

## ■ インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。



## チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

## Office Home & Business 2016のインストール

---

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスして、再インストールを行ってください。

## ■ アンインストール

Office Home & Business 2016をアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# Office Home & Business Premium

[060700-08]

概要	211
初回起動手順	211
使用上の注意	212
インストール	213
アンインストール	213

## 概要

Word 2016、Excel 2016、Outlook 2016、PowerPoint 2016、OneNote 2016が同梱されています。  
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

各Office アプリケーションのヘルプ

### ●Office Home & Business Premiumの最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



#### チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 初回起動手順

Office Home & Business Premiumモデルでは、工場出荷時の状態で、Office Home & Business Premiumの各アプリがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。



#### チェック

- ライセンス認証が完了していない場合、アプリ起動時に認証画面が表示されます。初回起動した日から5日間試用することができます。5日間を経過すると機能が制限され、認証が完了するまで閲覧専用となります。
- ライセンス認証をするには、インターネットへの接続とMicrosoft アカウントが必要です。
- ライセンス認証が完了すると、ほかのOfficeアプリで再度行う必要はありません。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
- 初回起動手順は、マイクロソフト社によるアップデートなどで変更される場合があります。その場合は、画面の手順に従って入力してください。

**1** アプリ画面 (P. 10)からWord2016、Excel2016などOfficeアプリのいずれかをクリック

**2** 「こんにちは。始める前に…」と表示されたら、「はじめに」をクリック

**3** 「プロダクト キーの入力」画面でプロダクトキーを入力し、「次へ」をクリック



**チェック**

プロダクト キーはOfficeカード自体に記載されています。

**4** 「Microsoft アカウントでサインイン」画面が表示されたら、「サインイン」をクリック

**5** 「サインイン」画面で、Microsoft アカウントとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

**6** 「最新情報をお知らせします」画面が表示されたら、情報を受け取るかどうかを選択し、「次へ」をクリック

ライセンス認証が完了すると、「Office 2016へようこそ」の画面が表示されます。

**7** 「最初に行う設定です。」画面が表示されたら、「同意する」をクリック

「使用許諾契約書」の内容を確認後、「OK」ボタンをクリックし、また「同意する」をクリックしてください。

**8** 「Office 2016 へようこそ」画面に戻り、「XXXX (Office アプリ名) の使用を開始」をクリック

Officeアプリの画面に戻ります。

以上で初回起動手順は終了です。

## 使用上の注意

### Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的の実施してください。



**チェック**

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 211)」を済ませてから実施してください。

## ■ インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。



### チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

## Office Home & Business Premiumのインストール

---

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスして、再インストールを行ってください。

## ■ アンインストール

Office Home & Business Premiumをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# Access Connections

[061100-28]

▶ 概要. . . . .	214
▶ 使用上の注意. . . . .	215
▶ Access Connectionsでの無線LANの設定と接続. . . . .	216
▶ Access Connectionsでの有線LANの設定と接続. . . . .	217
▶ インストール. . . . .	217
▶ アンインストール. . . . .	217

## 概要

Access Connectionsはネットワークの設定、接続、切り替えおよびロケーション・プロファイルのインポートとエクスポートができます。

機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。



### チェック

Access Connectionsは、工場出荷時にはインストールされていません。



### メモ

Windows標準の無線LAN機能を使用して無線LANのオン/オフや設定、接続をする場合は、「本機の機能」の「無線LAN機能 (P. 123)」をご覧ください。

## ●機能の詳細や操作方法

Access Connectionsのヘルプ (Access Connectionsを起動し、 ボタンをクリック→「Access Connections ヘルプ」をクリック)



### チェック

ヘルプに記載されている機能は、実際に利用できる機能と多少異なる場合があります。

## 起動方法

1

アプリ画面 (P. 10)を表示する

2

アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

Access Connectionsのメインウィンドウが表示されます。



## チェック

Access Connectionsは複数のユーザーで同時に使用することはできません。  
 複数のユーザーがログオンしている環境で他のユーザーがAccess Connectionsのメインウィンドウを起動すると「Access Connectionsは、別のユーザーによって使用されています。別のユーザーをログオフし、もう一度実行してください。」と表示され、Access Connectionsを使用することができません。  
 ユーザーの切り替えを行う場合、Access Connectionsのメインウィンドウを閉じてからユーザーを切り替えてください。

## 使用上の注意

- 本アプリケーションを使用する前に、「本機の機能」の「無線LAN機能」に記載している以下の内容をあわせてご覧ください。
  - ▶ 概要..... 124
  - ▶ 本機を安全にネットワークに接続するために..... 126
  - ▶ 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意..... 128
  - ▶ 使用上の注意..... 130
- ネットワークの切断について  
 ネットワークの切断を行うと無線LAN機能が自動的にオフに変更されます。無線LAN機能がオフになった場合、下記の手順で無線LAN機能をオンにしてください。

### 1 タスク バーの通知領域にある アイコンをクリック

### 2 Wi-Fiをオンにする

- カスタムテキストサイズの設定について  
 カスタムテキストサイズの設定（DPI）を既定値以上に変更した場合、Access Connectionsが画面からはみ出る場合があります。その場合は、カスタムテキストサイズの設定（DPI）を変更してご使用ください。

### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

### 2 「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」をクリック

### 3 「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する」にチェックを付けてから、既定値を選択し、「適用」ボタンをクリック

### 4 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります」と表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

Windowsからサインアウトします。  
 サインイン画面が表示されたら、サインインしなおしてください。

## Access Connectionsでの無線LANの設定と接続

### 無線LANの設定をする

**1** 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

**2** アプリ画面 (P. 10)を表示する

**3** アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

**4** 「インターネットに接続」タブをクリック

ネットワーク名 (SSID) の一覧が表示されます。

**5** 接続する無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をクリック



#### チェック

- 選択した無線LANアクセスポイントに間違いがないか、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。
- ネットワーク名 (SSID) の一覧に接続するネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、「再検索」ボタンをクリックしてください。それでもネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、無線LANアクセスポイントがネットワーク名 (SSID) を通知しない設定になっている場合があります。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。無線LANアクセスポイントの設定を確認し、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

**6** 「接続」ボタンをクリック

**7** 「ネットワークにはネットワーク・キーが必要です。」と表示されたら、「パスワード」を入力して「接続」ボタンをクリック

**8** 「この接続をロケーションの1つとして保存しますか？」と表示されたら、「ロケーション名」を入力して「保存」ボタンをクリック

以上で設定は完了です。

### 設定済みの接続先に接続する

**1** 無線LAN機能がオンになっていることを確認する

**2** アプリ画面 (P. 10)を表示する

**3** アプリの一覧で「Access Connections」をクリック

**4** 「ロケーション」にある接続先から接続するロケーション プロファイルを選択し、「接続」ボタンをクリック

以上で接続は完了です。

## Access Connectionsでの有線LANの設定と接続

Access Connectionsで有線LANの設定や接続をする場合は、「Access Connections ヘルプ」をご覧ください。

## インストール

### Access Connectionsのインストール

**1** Windowsを起動する

**2** アプリ画面 (P. 10)を表示する

**3** アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

**4** 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥Nxsetup.exe

**5** 「Access Connections」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**6** 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

**7** 再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

以上でAccess Connectionsのインストールは終了です。

## アンインストール

Access Connectionsをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 204)」を参照してください。



## チェック

- 「ユーザー アカウント制御」画面にある「発行元」が「不明」と表示されますが問題ありません。
- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストール中に「Access Connections プロファイルを続けてご利用になりますか？」と表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

# DeviceLock Lite

[061200-28]

概要	219
使用上の注意	219
インストール	219
アンインストール	220

## 概要

DeviceLock Lite (以下、DeviceLock) は、外部デバイスへのデータ漏えいを防止する情報漏えい対策ソフトウェアです。機能の詳細や操作方法、制限事項については、以下をご覧ください。



### チェック

DeviceLock Liteは、工場出荷時にはインストールされていません。

### ●機能の詳細や操作方法、制限事項

DeviceLock User Manual (「C:¥MAVP¥DeviceLock¥DeviceLock User Manual.chm」)

## 使用上の注意

### Bluetoothの制御をする場合の注意

Bluetoothの制御機能は、マウス、キーボードのみ使用禁止にできます。携帯電話等とのファイル送受信については使用禁止にできません。

## インストール

### DeviceLockのインストール

- 1 Windowsを起動する**
- 2 アプリ画面 (P. 10)を開き、アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック**
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック**  
C:¥MAVP¥Nxsetup.exe
- 4 「DeviceLock」を選択し、「インストール」ボタンをクリック**  
これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

## 5 インストールが終了したら、Windowsを再起動する

---

---

以上でDeviceLockのインストールは終了です。

### ■ アンインストール

DeviceLockをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# Acrobat Reader DC

[061300-08]

概要	221
使用上の注意	222
インストール	222
アンインストール	223

## 概要

Acrobat Reader DCはPDF（Portable Document Format）形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

ヘルプ（Acrobat Reader DCを起動し、「ヘルプ」→「オンラインサポート」をクリック）



#### チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

### ●Acrobat Reader DCの最新の情報

<http://www.adobe.com/jp/index.html>



#### チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 起動方法

1

アプリ画面 (P. 10)を表示する

2

アプリの一覧で「Acrobat Reader DC」をクリック



#### チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Acrobat Reader DC - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認し「同意する」ボタンをクリックしてください。

Acrobat Reader DCの主な機能を紹介する画面が表示されたら、それぞれ画面の内容を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスに接続」画面で「完了」ボタンをクリックしてください。

Mobile Linkをオンにする場合は、「サインインして Mobile Link をオンにする」ボタンをクリックしてください。

Acrobat Reader DCの画面が表示されます。

## 使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Windows 8.1ではPDF形式のファイルを表示するビューアが標準に搭載されております。Acrobat Reader DCを使用してPDF形式のファイルを表示する場合は下記の手順を行ってください。

### 1 PDF形式のファイルを右クリック

### 2 「プログラムから開く」をクリックして「Adobe Acrobat Reader DC」をクリック

## インストール



### チェック

- 「C:¥MAVP¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe」をダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますが、「はい」をクリックして進んでください。

## Acrobat Reader DCのインストール

### 1 Windowsを起動する

### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥AdobeAcrobatReaderDC¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

### 5 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAcrobat Reader DCのインストールは終了です。

## アンインストール

Acrobat Reader DCをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# 画面表示設定切替ツール

[062100-28]

▶ 概要.....	224
▶ 使用上の注意.....	225
▶ インストール.....	225
▶ アンインストール.....	226

## 概要

画面表示設定切替ツールは、タッチパネルモデルご利用時のタッチパネル操作や高解像度モデルご利用時の操作・閲覧を快適にするために、Windowsの表示設定を切り替える設定ツールです。

利用シーンに応じて設定を3種類まで保存し、表示設定をかんたんに切り替えることができます。

機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

画面表示設定切替ツールのヘルプ（[アプリ画面 \(P. 10\)](#)）→「画面表示設定切替ツール」→「画面表示設定切替ツール ヘルプ」)



#### チェック

画面表示設定切替ツールは、工場出荷状態でインストールされています。

## モードの切り替え方法



#### チェック

- モードの切り替えを行った後、Windowsのサインアウトが必要な場合があります。
- モードの切り替えを行う前にデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。
- なお、サインアウト確認画面が表示されなかった場合には、Windowsのサインアウトは必要ありません。

1

### デスクトップの「画面表示設定切替ツール」をダブルクリック

画面表示設定切替ツール画面が表示されます。

2

### 切り替えたい設定をクリック

3

### サインアウトを促すメッセージが表示されたら、「今すぐサインアウト」ボタンをクリック

## ■ 使用上の注意

- 画面表示設定切替ツールは、表示の切り替えを行うたびに以下の項目に対してWindowsの設定を変更します。このため、お客さまが「コントロール パネル」等で個々に変更された設定値は保持されず、切り替え時に画面表示設定切替ツールによって変更されてしまいますので、ご注意ください。
  - テキストやその他の項目のサイズ (DPI)
  - デスクトップのアイコンサイズ
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューのサイズ/フォントのサイズ
  - マウスのポインタ
  - 文字入力時のカーソルのサイズ
  - 文字入力時のカーソルの点滅速度
- 「コントロール パネル」等から「テキストやその他の項目の大きさの変更(DPI)」の変更を行ったり、個人設定でテーマを変更すると、画面表示設定切替ツールで変更した以下の項目はWindowsによって再設定されてしまいます。この場合は、再度画面表示設定切替ツールにて表示の切り替えを行ってください。
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューバーのサイズ/フォントのサイズ
- 「メニューのサイズ、および メニューのフォントサイズ」や「タイトルバーのサイズとフォントサイズ、タイトルのボタンのサイズ」を「大」に設定すると、Windowsの仕様により、エクスプローラの左下に表示されるプロパティなどの文字列が途切れたり、重なったりする場合があります。

## ■ インストール

### 画面表示設定切替ツールのインストール

**1** Windowsを起動する

**2** アプリ画面 (P. 10)を表示する

**3** アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

**4** 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥Nxsetup.exe

**5** 「画面表示設定切替ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**6** 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリック

## 7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリック

---

---

以上で画面表示設定切替ツールのインストールは終了です。

## ■ アンインストール

画面表示設定切替ツールをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# mazec for Windows日本語版

[062300-08]

概要	227
使用上の注意	227
インストール	227
アンインストール	228

## 概要

mazec for Windows日本語版はタッチパネル上で手書きした文字をテキストに変換して入力するアプリケーションです。



### チェック

mazec for Windows日本語版は、工場出荷時にはインストールされていません。

### ●機能の詳細や操作方法

mazec for Windows日本語版のヘルプ（mazec for Windows日本語版を起動し、画面右上の「?」ボタンをタップ）

## 起動方法

### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 2 アプリの一覧で「MetaMoJi Corp」→「mazec」をタップ

mazec for Windows日本語版の画面が表示されます。

## 使用上の注意

- アプリケーションによっては文字を入力できない場合があります。そのようなアプリケーションでは他の入力手段をご使用ください。
- 使用可能期間は、インストールから1年間です。  
引き続きお使いになる場合は、mazec for Windows日本語版の更新手続（有償）が必要です。

## インストール

### mazec for Windows日本語版のインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをタップ

C:¥MAVP¥mazec¥mazecsetup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

### 5 「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをタップ

### 6 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でmazec for Windows日本語版のインストールは終了です。

## アンインストール

mazec for Windows日本語版をアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。



#### チェック

- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

# フリック入力補助ツール

[062800-28]

概要	229
使用上の注意	230
インストール	230
アンインストール	230

## 概要

フリック入力補助ツールは、フリック機能を使ってコントロールキーやWindowsキーを使ったショートカットキーイベントを操作するツールです。

mazec for Windows日本語版やタッチキーボードと併用して操作することができます。

また、「フリック入力補助ツール設定」で設定変更することによって、組み合わせ操作するキーを並び替えることができます。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。



### チェック

フリック入力補助ツールは、工場出荷時にはインストールされていません。

## ●機能の詳細や操作方法

フリック入力補助ツールのヘルプ（「フリック入力補助ツール設定」を起動し、「ショートカットの割り当て」右にある「？」ボタンをクリック）

## 起動方法

### ●フリック入力補助ツールの起動

#### 1 タスクバーにあるアイコンをクリック



### チェック

タスクバーにアイコンが表示されない場合は、サインインし直してください。

### ●「フリック入力補助ツール設定」の起動



### チェック

「フリック入力補助ツール」をお使いになった上で、設定キーの変更が必要な場合に起動してください。設定キーはユーザアカウントごとに登録することができます。

#### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

## 2 アプリの一覧で「フリック入力補助ツール」→「フリック入力補助ツール設定」をクリック

「フリック入力補助ツール設定」の画面が表示されます。

## 使用上の注意

本ツールは、タッチペンによる操作はできません。必ず指で操作してください。

## インストール

### フリック入力補助ツールのインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

#### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

#### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥Nxsetup.exe

#### 5 「フリック入力補助ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

#### 6 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上でフリック入力補助ツールのインストールは終了です。

## アンインストール

フリック入力補助ツールをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。



### チェック

- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

# 拡張ディスプレイ操作ツール

[062900-28]

概要	231
使用上の注意	231
インストール	232
アンインストール	232

## 概要

拡張ディスプレイ操作ツールは、アプリケーションを外部ディスプレイ側へ移動したり、操作したりできるツールです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。



### チェック

拡張ディスプレイ操作ツールは、工場出荷時にはインストールされていません。

### ●機能の詳細や操作方法

デスクトップやエクスプローラから、外部ディスプレイへ移動したいアプリケーションやファイルのアイコンを、「拡張ディスプレイ操作ツール」のウィンドウへドラッグ&ドロップします。

アプリケーションが、外部ディスプレイ側に表示されます。

## 起動方法

### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 2 アプリの一覧で「拡張ディスプレイ操作ツール」をクリック

## 使用上の注意

- 本ツールは、デスクトップ画面上で動作するアプリケーションです。OfficeやInternet Explorer、Windows Media Player、Adobe Readerなどが対象です。使用するアプリケーションによっては正常に移動、操作できないものがあります。
- 評価版、試用期間の情報ダイアログが表示されるようなアプリケーションを外部ディスプレイに表示しようとする時、操作しているパソコンのディスプレイにダイアログ表示されます。このため、アプリケーションが外部ディスプレイに表示できないことがあります。あらかじめご注意ください。
- 本ツールを管理者として実行すると、ドラッグ&ドロップが動作しなくなるためランチャー機能は使えません。
- ツール内に表示される疑似タッチパッドを使うと、外部ディスプレイに移動したアプリケーション上でタッチ機能が利用できます。ただし、一部の操作は利用できないことがあります。
- 本ツールは、タッチペンによる操作はできません。必ず指で操作してください。
- 操作中は外部ディスプレイに表示されているマウスカーソルが点滅します。
- 本ツールは、スタート画面とストアアプリはサポートしません。デスクトップ画面のみを対象とします。
- 以下の場合、外部ディスプレイに表示されたマウスカーソルが消えます。

- タッチパッド以外の部分进行操作した場合。
- Windows 8.1のエッジ機能进行操作した場合。
- 本ツールは、Windows画面が回転した状態での動作をサポートしません。
- アプリの種類や状態により、ドラッグ&ドロップ時に外部ディスプレイに表示できない場合があります。
- 本ツールで、外部ディスプレイ側でのチャーム操作は行えません。
- 本ツールを起動した後に、他の「常に最前面に表示される」アプリを起動すると、本ツールは背面に隠れて見えなくなります。本ツールを表示させる場合は起動したアプリの「最小化」ボタンを押して最小化するか、または「閉じる」ボタンを押して終了してください。
- 本ツールを起動したままユーザを切替えると操作できない場合があります。この場合はツールを再起動する必要があります。

## インストール

### 拡張ディスプレイ操作ツールのインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

#### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

#### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥Nxsetup.exe

#### 5 「拡張ディスプレイ操作ツール」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

#### 6 「InstallShield ウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上で拡張ディスプレイ操作ツールのインストールは終了です。

## アンインストール

拡張ディスプレイ操作ツールをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 204)」を参照してください。



## チェック

- アンインストール中に「システムの実行中に更新できないファイルまたはサービスを、セットアップで更新する必要があります。続行する場合は、セットアップを完了するために再起動が必要となります。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。
- アンインストールが完了したら、Windowsを再起動してください。

# ペンバッテリー残量通知ツール

[064700-28]

概要	234
インストール	234
アンインストール	235

## 概要

デジタルペンのバッテリー残量を通知するツールです。



### チェック

ペンバッテリー残量通知ツールは、工場出荷時にはインストールされていません。

## 起動方法

### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 2 アプリの一覧で「ペンバッテリー残量通知ツール」をクリック

「NEC Active Stylus Pen - 電池状況と設定」の画面が表示されます。

## インストール

### ペンバッテリー残量通知ツールのインストール



### チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

### 1 Windowsを起動する

### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:\¥MAVP¥PenBatteryNotifier¥setup.exe

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

## **5** 「ペンバッテリー残量通知ツール セットアップウィザードの完了」と表示されたら、「すぐに再起動」を選択して、「完了」ボタンをクリック

Windowsが再起動します。

---

以上でペンバッテリー残量通知ツールのインストールは終了です。

## **アンインストール**

ペンバッテリー残量通知ツールをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# マカフィー リブセーフ

[063000-28]

概要	236
使用上の注意	237
インストール	240
アンインストール	240

## 概要

マカフィー リブセーフは、リアルタイムのウイルス対策とマルウェア対策、迷惑メール対策、双方向ファイアウォールの脆弱性対策、保護者機能などを搭載した包括的なセキュリティソフトウェアです。機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

マカフィー リブセーフのヘルプとサポート（マカフィー リブセーフを起動して、ホーム画面の右上にある「ヘルプ」ボタンをクリック）

定期的にウイルスを検索するスケジュール スキャン、ネットワークや外付けドライブを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。



#### チェック

マカフィー リブセーフのヘルプやサポート情報などを確認するには、インターネットに接続して行います。

### ●動作環境、制限事項に関する情報

試用期間は、初めてマカフィー リブセーフをセットアップした時点から60日間になります。60日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとウイルス定義ファイル(DAT)、ウイルス検索エンジンを含む製品のアップデートを行なうことができなくなります。

マカフィー リブセーフのすべての機能を引き続きご利用になる場合は、マカフィー リブセーフを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mcafee.com>



#### チェック

試用期間の終了後もウイルス定義ファイル・ウイルス検索エンジンによる本体でのウイルス検索は、引き続き行なうことができます。ただし、試用期間の終了後に発見されたウイルスに対して検出・駆除が実施されませんのでご注意ください。

### ●マカフィー リブセーフの最新の情報

<http://www.mcafee.com>



### チェック

- マカフィー リブセーフに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、マカフィーのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、『メンテナンスとアフターケアについて』をご覧ください。

## 起動方法



### チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Intel Security 使用許諾契約」画面が表示されます。内容を確認し「承諾」ボタンをクリックしてください。再び起動すると、機能を紹介する「クイックツアー」の画面が表示されます。

## 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

## 2 アプリの一覧で「マカフィーリブセーフ - インターネットセキュリティ」をクリック

マカフィー リブセーフの画面が表示されます。

## 使用上の注意

### マカフィー リブセーフについて

パソコンのデータとWeb閲覧を保護するために、マカフィーセキュリティ対策の最新の更新をインストールしてください。

新しいウイルス、ハッカーの攻撃など、パソコンやデータはオンライン脅威に常にさらされています。セキュリティ対策の更新により、新しいウイルス、スパイウェアなどの脅威を阻止するだけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールすることができます。



### チェック

- マカフィー リブセーフの更新やクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネットに接続して行います。インターネットに接続のために必要なインターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

## アップデートについて

新たに発生する脅威からパソコンを保護するために、マカフィーソフトウェアを常に最新の状態にしてください。



## チェック

- マカフィーソフトウェアを購入して登録すると、更新が自動的に確認され、インストールされます。
- マカフィー リブセーフの更新は、インターネットに接続して行います。

### ◆更新の確認

自動更新が有効になっている場合でも、更新を確認することができます。更新を確認するときは、次の手順で行います。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

#### 2 「更新の確認」をクリック



## メモ

通知領域にあるマカフィーのアイコンを右クリックして「更新の確認」を選択しても、更新を確認することができます。

### ◆更新オプションの選択

自動更新では、新しいウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する保護機能だけでなく、マカフィーソフトウェアの機能強化もインストールされます。また、更新の方法を手動で変更することができます。更新オプションを選択するときは、次の手順で行います。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

#### 2 「更新の設定」をクリック

#### 3 自動更新の取得方法を選択する

- 「更新を自動的にダウンロードしてインストールする。」
- 「更新をダウンロードするが、インストール前に通知する。」
- 「更新が使用可能になったら通知する。」

#### 4 「適用」をクリック

### ◆自動更新の有効/無効の設定

自動更新は、次の手順で有効または無効にすることができます。



## チェック

更新を受信することで、新たに発生する脅威からパソコンを保護することができるため、自動更新を無効にしないことをおすすめします。

#### 1 「セキュリティを管理する」→「マカフィー 更新」をクリック

**2** 「更新の設定」をクリック

**3** 「有効にする」または「無効にする」をクリック

## スケジュール スキャンについて

スケジュール スキャンを設定すると、パソコンを定期的にスキャンし、ウイルス、スパイウェアなどの脅威を確認することができます。

次の手順で、スケジュール スキャンを設定してください。

**1** 「セキュリティを管理する」→「ウイルスおよびスパイウェア対策」をクリック

**2** 「スケジュール スキャン」をクリック

**3** 「スケジュール スキャン」で、ステータスが「無効」の場合は「有効にする」をクリック

**4** 「スキャン スケジュールの設定」をクリックし、スキャンのスケジュールを選択する



### チェック

独自のスキャンスケジュールを設定する場合は、「独自のスキャン スケジュールを作成する」を選択し、スキャンを開始する時刻と、月/週/日のいずれかを設定してください。

**5** スキャン中のパソコンのリソース消費を最小限にするには、「最小限のコンピューターリソースを使用してスキャンを実行する」にチェックを付ける

**6** パソコンのバッテリー消費を最小限にするには、「電源プラグ使用時にのみスキャンを開始する」にチェックを付ける

**7** 「適用」をクリック

以上でスケジュール スキャンの設定は終了です。

## ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、マカフィー リブセーフのヘルプをご覧ください。スキャン対象外に設定してください。

## ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。

警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。

## インストール



### チェック

- デスクトップにある「LiveSafe」アイコンをダブルクリックすることで簡単にインストールできます。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますが、「はい」をクリックして進んでください。
- 本機を再セットアップした場合は、デスクトップに「LiveSafe」アイコンは表示されません。

## マカフィー リブセーフのインストール

本機を再セットアップした場合は、次の手順に従ってマカフィー リブセーフをインストールしてください。

### 1 Windowsを起動する

### 2 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をクリック

### 4 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥MAVP¥Nxsetup.exe

### 5 「マカフィー リブセーフ」を選択し、「インストール」ボタンをクリック

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

### 6 「インストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

以上でマカフィー リブセーフのインストールは終了です。

## アンインストール

マカフィー リブセーフをアンインストールする場合は、「アンインストールについて (P. 204)」を参照してください。

概要.....	241
インストール.....	241
アンインストール.....	242

## 概要

メモを自由に書き込んで保存できる電子ノートのWindows ストア アプリです。

機能の詳細、操作方法については、以下をご覧ください。

## 起動方法

### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示する

### 2 アプリの一覧で「OneNote」をクリック

「OneNote」の画面が表示されます。

## インストール

OneNoteは工場出荷時にプリインストールされています。改めてインストールしたい場合は、次の手順に従ってOneNoteをインストールしてください。



### チェック

- パソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- アプリをインストールするにはMicrosoft アカウントが必要です。

## OneNoteのインストール

### 1 アプリ画面 (P. 10)を表示し、「ストア」をクリック

### 2 「ストア」の検索欄で「OneNote」を入力して検索する

### 3 「OneNote」ページで「インストール」ボタンをクリックしてインストールする

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

以上でOneNoteのインストールは終了です。

## アンインストール

OneNoteをアンインストールする場合は、「[アンインストールについて \(P. 204\)](#)」を参照してください。

# トラブル解決Q&A

---

[100000-28]

▶ 電源.....	244
▶ バッテリ.....	247
▶ タッチパネル.....	249
▶ 表示.....	251
▶ LAN機能.....	254
▶ 無線LAN機能.....	257
▶ サウンド.....	259
▶ 印刷.....	262
▶ 内蔵フラッシュメモリ.....	264
▶ 周辺機器.....	266
▶ Bluetooth機能.....	268
▶ NFCポート.....	271
▶ アプリケーション.....	273
▶ 再セットアップ.....	280
▶ その他.....	283

[100100-28]

- 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された..... 245
- ネットワークブートができない..... 246

Q : 「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示された

---

[100106-28]

**A : キャップスロックの状態を確認し、もう一度パスワードを入力してください。**

キャップスロックの状態によって、入力される文字が異なり、パスワードを正しく入力できない場合があります。キャップスロックでキャップスロックのオン/オフを切り替えて、もう一度パスワードを入力してください。

キャップスロックのオン/オフはデタッチャブルキーボードの【Shift】 + 【Caps Lock】で切り替えることができます。

**A : ユーザー名を確認し、もう一度パスワードを入力してください。**

選択したユーザー名を確認し、選択したユーザーのパスワードをもう一度正しく入力してください。

## Q : ネットワークブートができない

---

[100903-20]

**A : ネットワークブート機能（PXE機能）が有効になっているかを確認してください。**

ネットワークブートを使用するには、ネットワークブート機能（PXE機能）を有効にする必要があります。



参照

ネットワークブート機能（PXE機能）の設定について  
「ネットワークブート機能（PXE機能）（P. 122）」

[100300-28]

- タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない..... 248

## Q : タスク バーの通知領域に電源アイコンが表示されない

[100302-08]

A : 次の手順で設定してください。

- 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「タスク バーとナビゲーション」をクリック
- 3 「タスク バー」タブをクリックし、「通知領域」の「カスタマイズ」ボタンをクリック
- 4 「電源」の動作欄で「アイコンと通知を表示」を選択する
- 5 「OK」ボタンをクリック
- 6 「OK」ボタンをクリック

## Q&A : タッチパネル

---

[102800-28]

- タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある..... 250

## Q：タッチした位置と反応する位置がずれる、タッチパネルに反応しない領域がある

[102802-28]

### A：タッチパネルの設定をリセットしてみてください。

タッチパネルの設定をリセットし、ご購入時の状態に戻してみてください。

タッチパネルの設定をリセットしても、問題が解決しない場合は、本機の故障が考えられます。ご購入元に相談するか、NECにご相談ください。



#### 参照

- **タッチパネルの設定のリセットについて**  
「本機の機能」の「タッチパネル」 - 「タッチパネルの設定」 - 「タッチパネル操作時の表示、画面の回転に関する設定をする (P. 60)」
- **NECのお問い合わせ先について**  
『保証規定 & 修理に関するご案内』

[100600-28]

- ▶ 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される. . . . . 252
- ▶ デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう. . . . . 253

## Q : 外部ディスプレイで画面が流れるように表示される

---

[100611-28]

**A : お使いのディスプレイのディスプレイ情報ファイルを最新のものに更新してください。**

---

一部のDDC対応ディスプレイにおいて、ディスプレイ情報ファイルがないためにディスプレイの同期がとれず、画面が流れるように表示される場合があります。

この場合には、ディスプレイ製造元より最新のディスプレイ情報ファイルを入手し、セットアップしてください。

## Q : デスクトップ上のアイコンの名前が隠れてしまう

---

[100621-08]

### A : 「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

---

画面の解像度やアイコンサイズを変更した場合、デスクトップ上のアイコンの名前が一部隠れてしまうことがあります。そのような場合は、次の手順で「アイコンの自動整列」を有効にしてください。

#### **1** デスクトップの何も無い場所を右クリック

---

#### **2** 「表示」の「アイコンの自動整列」を有効にする

---

[100900-28]

- ネットワークブートができない. . . . . 255
- 動作が不安定になった. . . . . 256

## Q : ネットワークブートができない

---

[100903-20]

**A : ネットワークブート機能（PXE機能）が有効になっているかを確認してください。**

ネットワークブートを使用するには、ネットワークブート機能（PXE機能）を有効にする必要があります。



参照

ネットワークブート機能（PXE機能）の設定について

「ネットワークブート機能（PXE機能）（P. 122）」

## Q : 動作が不安定になった

---

[100904-08]

**A : LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなる可能性があります。**

---

LANに接続して通信中にスリープ状態や休止状態にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスリープ状態や休止状態にしないでください。

Windowsの電源プランで自動的にスリープ状態になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

[101000-28]

- ▶ 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない. . . . . 258

Q : 「ネットワーク」上のコンピュータのアイコンをダブルクリックしても内容が表示されない

---

[101004-20]

A : 相手のコンピュータに共有しているフォルダやプリンタなどが無い可能性があります。

---

相手のコンピュータ上で共有化したいフォルダやプリンタを共有する設定にしてください。

[101200-28]

- ▶ HDMI接続した機器から音声が出力されない..... 260

## Q : HDMI接続した機器から音声が出力されない

[101209-28]

### A : HDMIの映像が正しく表示されているか確認してください。

映像が正しく表示されていない場合は、テレビや外部ディスプレイとの接続、設定を確認してください。

### A : 接続している機器が、HDMIの音声出力のサンプリングレートに対応しているか確認してください。

次の手順で確認してください。

#### 1 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

#### 2 「ハードウェアとサウンド」をクリック

#### 3 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。



#### チェック

「Intel SST Audio Device (WDM)」にチェックが付いていない場合は、チェックを付けて「既定値に設定」をクリックしてください。

#### 4 「再生」タブをクリック

#### 5 「Intel SST Audio Device (WDM)」(または「Tablet Dock USB Audio」) をクリックし、「プロパティ」をクリック

#### 6 「詳細」タブをクリック

#### 7 「既定の形式」欄の設定が接続先の機器に対応していることを確認する



#### 参照

対応しているサンプリングレートについて  
接続している機器のマニュアル

## A : 音声の出力設定を確認してください。

---

音声を、本機のスピーカやヘッドフォン/ヘッドフォンマイク ジャック（本機または拡張クレードル）から出力する設定になっている場合、HDMI接続で音声は出力されません。

HDMI接続で音声を出力するには、次の手順で出力先を設定してください。

**1** 「コントロール パネル (P. 10)」を表示する

---

**2** 「ハードウェアとサウンド」をクリック

---

**3** 「サウンド」をクリック

「サウンド」が表示されます。

---

**4** 「再生」タブをクリック

---

**5** 「Intel SST Audio Device (WDM)」(または「Tablet Dock USB Audio」) をクリックし、「既定値に設定」をクリック

---

**6** 手順5で選択した項目にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリック

---

[101300-28]

- ▶ PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない. . . . . 263

## Q : PDF形式のマニュアルがうまく印刷できない

---

[101302-00]

**A : 白抜きの文字やグラデーション、図形などがうまく印刷できない場合は次の対処方法を試してみてください。**

- Acrobat Reader DCの「印刷」ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリックして、「画像として印刷」にチェックを付けるか、プリンタのプロパティの中から「きれい」、「高品位」などを選択する
- プリンタドライバを最新のものにする
- プリンタが複数ある場合は、印刷先を別のプリンタに切り替え、同様に試してみる

## Q&A : 内蔵フラッシュメモリ

---

[101600-28]

- 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない. . . . . 265

## Q : 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

---

[101604-28]

### A : 計算方法の違いによるもので、故障ではありません。

---

カタログなどに記載されている内蔵フラッシュメモリの容量は、1MB=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、内蔵フラッシュメモリを領域作成するときには、1MB=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているため、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

GB（ギガバイト）についても、同様の記述となっています。

### A : 内蔵フラッシュメモリに、システム復旧時に必要なデータなどを格納する領域があるためです。

---

本機の内蔵フラッシュメモリには、Windowsの起動に必要なファイルや「再セットアップ用データ」などを格納するための領域として約13GBの領域が確保されています。そのため、使用可能な容量が、その領域の分だけ少なくなります。この領域を削除することはできません。

[101800-28]

- ▶ はじめに確認してください..... 267

# はじめに確認してください

[101803-28]

## お使いの周辺機器が、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。

周辺機器によっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別途Windows 8.1に対応したドライバーが必要なものがあります。

## 周辺機器が正しく接続されているか確認してください。

コネクタやネジが緩んだり外れたりしていないか、接続が正しく行われているか確認してください。



### 参照

#### 周辺機器の接続について

周辺機器に添付のマニュアル

## 周辺機器の取り付け／取り外し時には、「高速スタートアップ」の機能を無効にしてください。

周辺機器によっては、周辺機器の取り付け／取り外し時に「高速スタートアップ」の機能を無効にする必要があります。工場出荷時の設定では「高速スタートアップ」の機能が有効になっています。



### 参照

#### 「高速スタートアップ」の機能を無効にする

「本機の機能」の「電源の入れ方と切り方」 - 「高速スタートアップ」について (P. 35)」

## DeviceLockで無効に設定していないか確認してください。

DeviceLockは周辺機器の使用を制限するアプリケーションです。

DeviceLockをインストールしている場合は、DeviceLock管理コンソールを表示し、該当する周辺機器を無効に設定していないか確認してください。



### 参照

#### DeviceLockについて

「便利な機能とアプリケーション」の「DeviceLock Lite (P. 219)」

[102600-28]

- ▶ はじめに確認してください..... 269

# はじめに確認してください

[102601-28]

## Bluetooth機能がオンになっていることを確認してください。



### 参照

#### Bluetooth機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「Bluetooth機能」 - 「Bluetooth機能のオン/オフ (P. 172)」

Bluetooth機能を「デバイス マネージャー」でオンにしているにも関わらず、Bluetooth機能が使用できない場合（「デバイス マネージャー」でBluetoothに「！」が付くなど）は、BIOSセットアップユーティリティでBluetooth機能をオフにして、再度オンにしてみてください。

## Bluetooth機能を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、「電源の管理」の設定を変更してください。

Bluetooth機器を一定時間使用していない場合、通信が切れて動作しなくなることがあります。

Bluetooth機器を一定時間使用していなくても通信が切れないようにするには、次の手順に従って「電源の管理」の設定を変更してください。

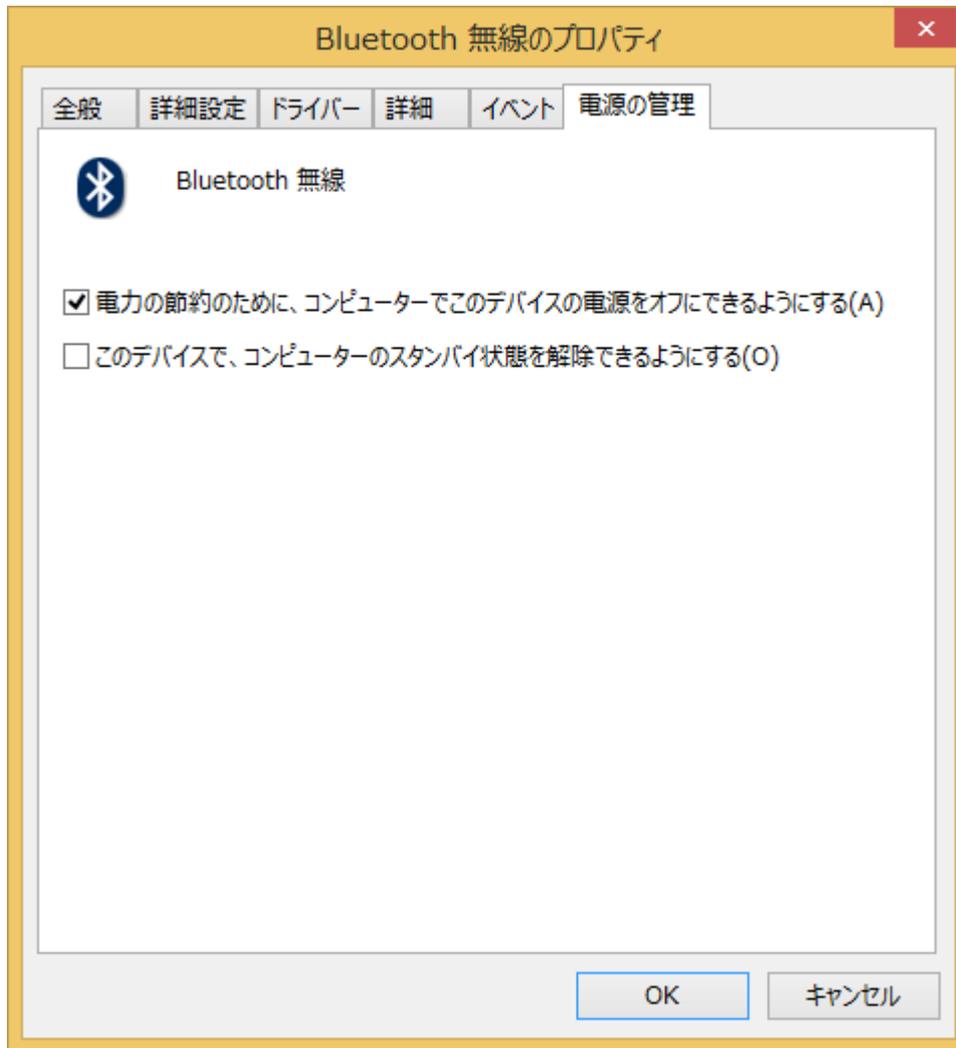
**1** 「デバイス マネージャー (P. 10)」を開く

**2** 「Bluetooth」をダブルクリック

**3** 「Bluetooth 無線」をダブルクリック

**4** 「電源の管理」タブをクリック

**5** 「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外す



#### メモ

画面はモデルによって異なります。

## 6 「OK」 ボタンをクリック

[102700-28]

- NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない..... 272

Q : NFC対応カード、またはNFC対応機器をかざしても何も反応しない、データを読み取れない

---

[102701-28]

A : NFC機能がオンになっていることを確認してください。



参照

NFC機能のオン/オフについて

「本機の機能」の「NFCポート」 - 「NFC機能のオン/オフ (P. 194)」

A : カードを正しくかざしているか確認してください。

「NFC対応カード、またはNFC対応機器のかざし方 (P. 193)」をご覧ください。また、カードの向きを変えて何度か試してください。

A : お使いのカードが本機の「NFCポート」に対応しているか確認してください。

お使いのカードの発行元に確認してください。

## Q&A : アプリケーション

---

[101900-28]

- ▶ はじめに確認してください. . . . . 274
- ▶ アプリケーションをインストールできない. . . . . 275
- ▶ アプリケーションを強制的に終了させたい. . . . . 276
- ▶ アプリケーションが本機で使用できるか知りたい. . . . . 277
- ▶ 使用しているWindowsへの対応が明記されていないWindows用アプリケーションを使用したい. . . . . 278
- ▶ Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい. . . . . 279

## はじめに確認してください

---

[101902-28]

**お使いのアプリケーションが、本機やWindows 8.1に対応しているか確認してください。**

---

アプリケーションによっては、本機やWindows 8.1で動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

**お使いのアプリケーションが、使用しているWindows 8.1に対応しているか確認してください。**

---

Windows 8.1 64ビットでは、32ビット版のアプリケーションも使用可能ですが、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

アプリケーションのマニュアルで確認してください。

## Q : アプリケーションをインストールできない

[101908-08]

### A : 権限を制限されたユーザーでサインインしていないか確認してください。

本機を複数の人で使用している場合は、管理者によってユーザーの設定できる項目に制限がかけられている場合があります。

このような場合は、管理者に依頼して制限を解除してもらるか、または管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーでサインインしてアプリケーションのインストールを行う必要があります。

### A : ユーザー名に環境依存文字を使用していないか確認してください。

ユーザー名に環境依存文字を使用していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。

### A : アプリケーションのインストール先が内蔵フラッシュメモリ以外のドライブになっていないか確認してください。

内蔵フラッシュメモリにインストールして使用するアプリケーションのインストール先が内蔵フラッシュメモリ以外のドライブになっていた場合は、インストール先を内蔵フラッシュメモリに変えて、インストールしなおしてください。

### A : アプリケーションを新しくインストールするときに、内蔵フラッシュメモリに一定の空き領域が必要な場合があります。

アプリケーションを新しくインストールするときに、内蔵フラッシュメモリに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、内蔵フラッシュメモリに必要な空き領域を確認してください。内蔵フラッシュメモリの空き領域が足りない場合は、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。



#### メモ

アプリケーションによっては、必要最低限の機能だけをインストールしたり、使用する機能だけを選択してインストールすることで、必要な空き容量を減らせる場合があります。

## Q : アプリケーションを強制的に終了させたい

[101909-28]

**A :** アプリケーションがフリーズするなどの異常を起こしていて、電源が切れないなどの問題が起きている場合、次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してください。



### チェック

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまうことがあります。

**1** Windowsボタンを押しながら電源スイッチを押す、または、デタッチャブルキーボードで【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】を1回押す

**2** 「タスク マネージャー」をクリック

**3** 「詳細」をクリック

**4** 「状態」のところに「応答なし」と表示されているタスク（アプリケーション）をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリック

この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方」の手順で電源を切ってください。



### 参照

#### 正しい電源の入れ方と切り方

「本機の機能」の「電源」 - 「電源の入れ方と切り方 (P. 34)」

## Q : アプリケーションが本機で使用できるか知りたい

---

[101910-00]

**A : アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境を確認するか、製造元に確認してください。**

---

アプリケーションが必要とする動作環境は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションのカタログなどで必要な動作環境について確認するか、アプリケーションの製造元に確認してください。

## Q : 使用しているWindowsへの対応が明記されていない Windows用アプリケーションを使用したい

---

[101911-08]

### A : アプリケーションの製造元に確認してください。

---

Windows 8.1への対応が明記されていない、Windows用アプリケーションが使用できるかどうかは、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションの製造元に確認してください。アプリケーションの使用についての情報や、使用に必要なアップデートプログラムなどが入手できる場合があります。

## Q : Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

---

[101913-08]

**A : Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の手順で調べることができます。**

---

**1** インターネットに接続する

---

**2** Internet Explorerを表示し、ウィンドウの最上部を右クリック

---

**3** 「メニュー バー」をクリック

メニュー バーが表示されます。

---

**4** 表示されたメニューバーの「ヘルプ」 → 「Internet Explorer ヘルプ」をクリック

---

Microsoft社のサポートページが表示されます。この後は、そのページの説明に従って操作してください。

## Q&A : 再セットアップ

---

[102000-28]

- 「再セットアップをすることはできません。」と表示される. . . . . 281
- 再セットアップが終了しない. . . . . 282

Q : 「再セットアップをすることはできません。」 と表示される

---

[102001-08]

A : 本機の機種情報が書き換わっている可能性があります。

---

ご購入元、またはNECにお問い合わせください。



参照

NECのお問い合わせ先について  
『保証規定&修理に関するご案内』

## Q : 再セットアップが終了しない

---

[102003-28]

**A : 工場出荷時の状態に戻す方法では、処理に時間がかかる場合があります。**

---

ドライブの領域を変更すると、本機の使用状況により、処理に時間がかかる場合があります。

[102100-28]

- ▶ クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった..... 284

## Q : クリップなどの異物が本体内部に入ってしまった

---

[102102-20]

A : 異物が入り込んでしまった場合は、すぐに電源を切ってACアダプタを取り外し、ご購入元にお問い合わせください。

---



### チェック

そのままお使いになると、発煙、発火や故障の原因になります。

# 仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

---

[130000-00]

▶ 仕様一覧（タイプ別仕様詳細） .....	286
------------------------	-----

# 仕様一覧（タイプ別仕様詳細）

---

[130100-00]

本機の仕様に関する詳細情報は、タイプ別仕様詳細に記載しております。



## メモ

タイプ別仕様詳細をご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

電子マニュアルビューアでお使いの機種種の「タイプ別仕様詳細」をご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm>

## 活用ガイド

### タイプVT

---

初版 2016年 5月

©NEC Personal Computers, Ltd. 2016

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

---